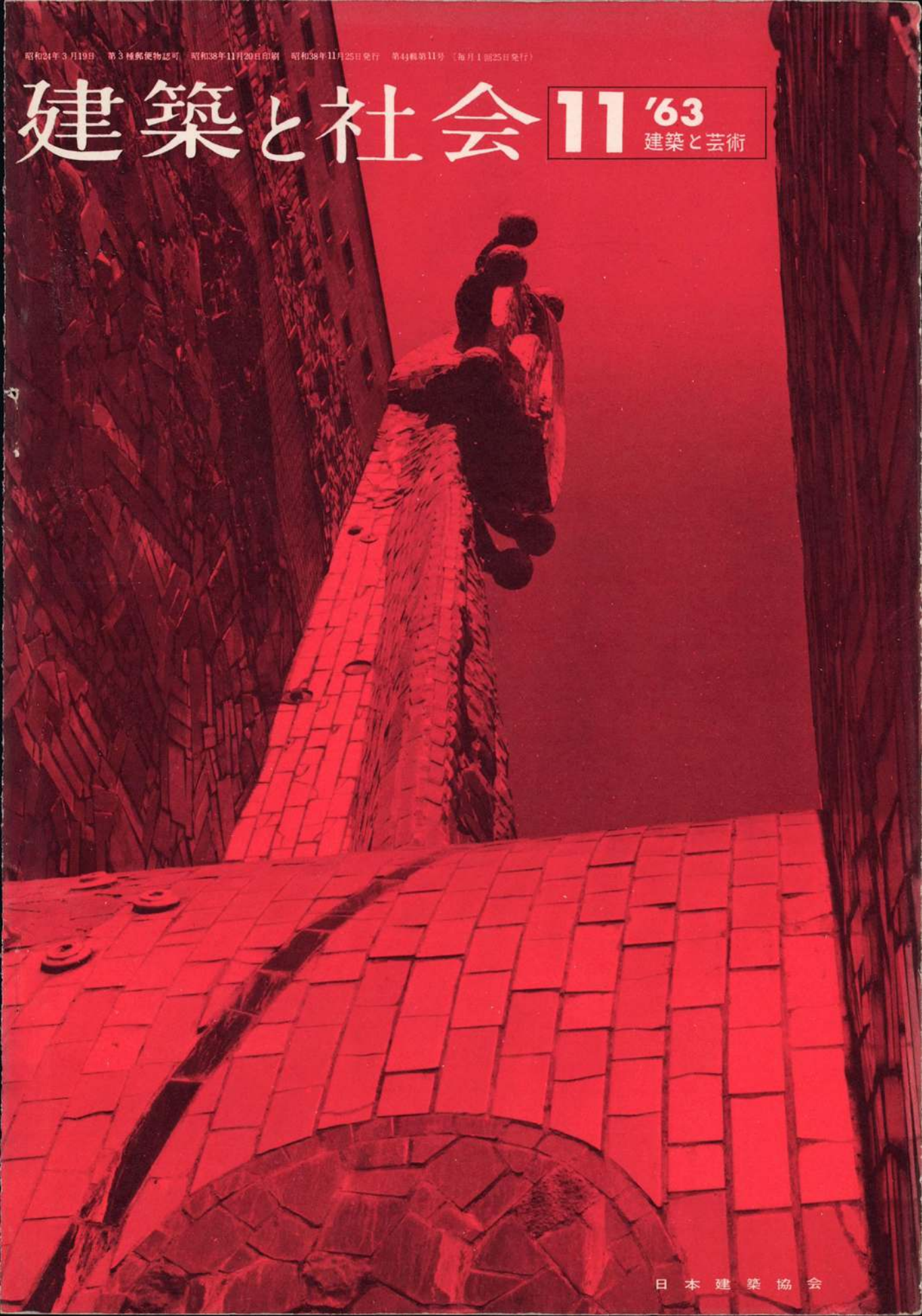
昭和24年3月19日　第3種郵便物認可　昭和38年11月20日印刷　昭和38年11月25日発行　第44輯第11号（毎月1回25日発行）

建築と社会

11 '63
建築と芸術



日本建築協会



15日間の
テストの答えは
秀
床材Pタイルです

300時間・紫外線にさらす老化試験＋120時間・4～8％の飽和吸水量の石の上におく耐湿試験＋24時間・皮や固いブラシで摩擦を続ける耐摩耗試験＋90kgの重量をハイヒールの踵の面積に長時間押し圧するへこみ試験＋シーグラー式滑り試験etc…365日の変化を人工的につくりだし　Pタイル一枚にたえずテストを続けています。日本独特の〔湿気の多い〕気候にも適応した製品で　さらに米国連邦規格をはるかにりょうがしています。「Pタイルなら安心」とその道のベテランがいう言葉にはこのような連続したテストの成績と世界的水準を上まわる品質とで裏付けされています。床材は**プラスタイルP！**床材の代名詞としてつかわれています。

三星プラスタイルP

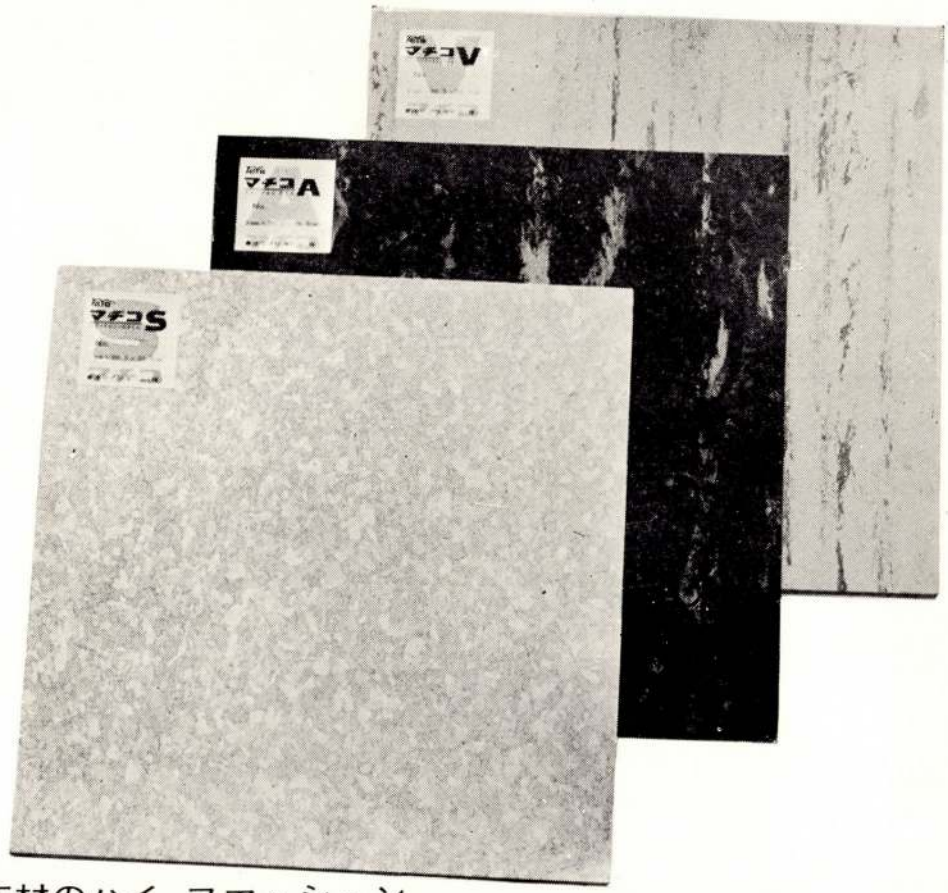
田島応用化工KK

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL（866）代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL（441）代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL（57）2732
広　島／広島市鉄砲町108　TEL（2）2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL（2）2807

新鋭厚木工場完成！

完全自動化による品質管理のゆきとどいた工場で造られる弾性床タイルは　**マチコV**(ビニールアスベストスタイル) **マチコA**(アスファルトタイル)　**マチコS**(ソリッドビニールタイル)の3種リノリューム・リノタイルを造ってきました東洋リノリユームが米国ルベロイド社(MATICO)と技術提携。品質も色柄も全く新しい床材を生み出しました。ビルから住宅まであらゆる床仕上げに**マチコタイル**をお試し下さい。

〈カタログ進呈〉



床材のハイ　フアッション

新発売 **マチコ®** MATICO タイル

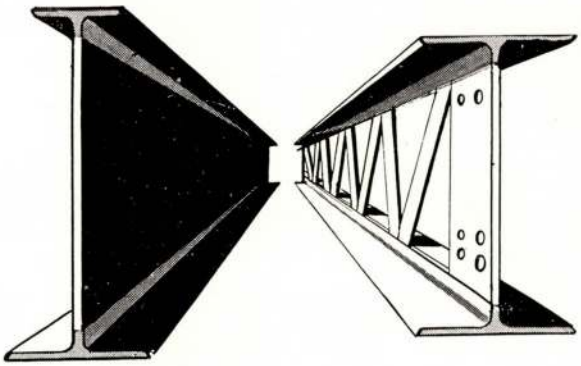
美しい床材をつくって45年

東洋リノリューム(株)

大阪市南区順慶町通4の25	三和ビル	TEL大　阪252－2921代
東京都中央区銀座4の1	三和ビル	TEL東　京561－1701
名古屋市中区菅原町2の11	名古屋センタービル	TEL名古屋 23－5380
福岡市今泉町4丁目126の2		TEL福　岡 75－2150
広島市東観音町1の2067		TEL広　島 31－6139

新時代の建設には新時代の形鋼

NKK-T形鋼



用途
- ■ 各種I，H，T形鋼用
- ■ 各種オープンウエブ材用
- ■ 非対称断面形鋼用

特長
- ■ 溶接が容易
- ■ サイズが豊富

NKK

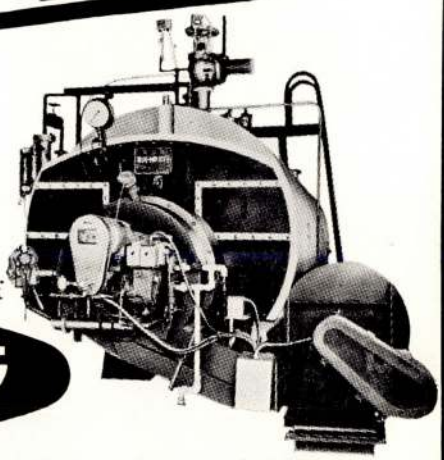
日本鋼管

本社　東京都千代田区大手町
大阪営業所　大阪市東区今橋5の23　TEL(202)6251代表

……繁栄を招く……

……よい製品……

驚異的蒸発量！



37年度に紫綬褒章受賞

MPボイラ

株式会社平川鉄工所

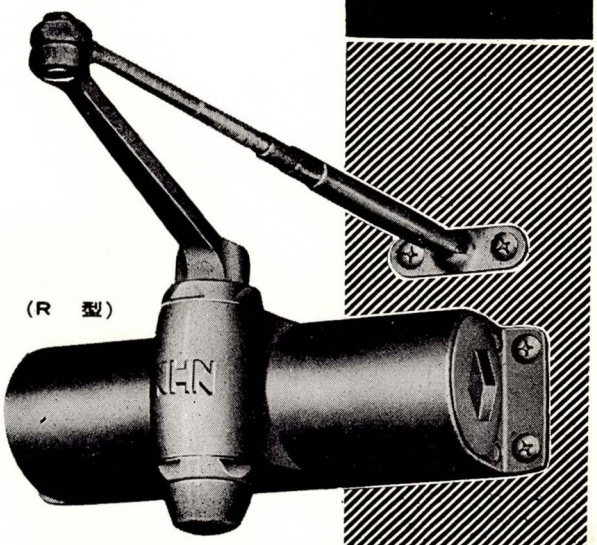
本社・工場　大阪市大淀区大仁西2の1　TEL (458) 3631(代)～5
東京営業所　東京都中央区八重洲6の7　TEL (272) 2721 (代)
九州出張所　北九州市小倉区富野545　TEL (52) 4862
滋賀工場　滋賀県野洲郡野洲町三上　TEL 野洲局 405

あなたの忠実な…

ドアーボーイ！

＊紫綬褒章に輝く＊

NHN



ニッカナ
ドアーチエック

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

型状優美
故障絶無



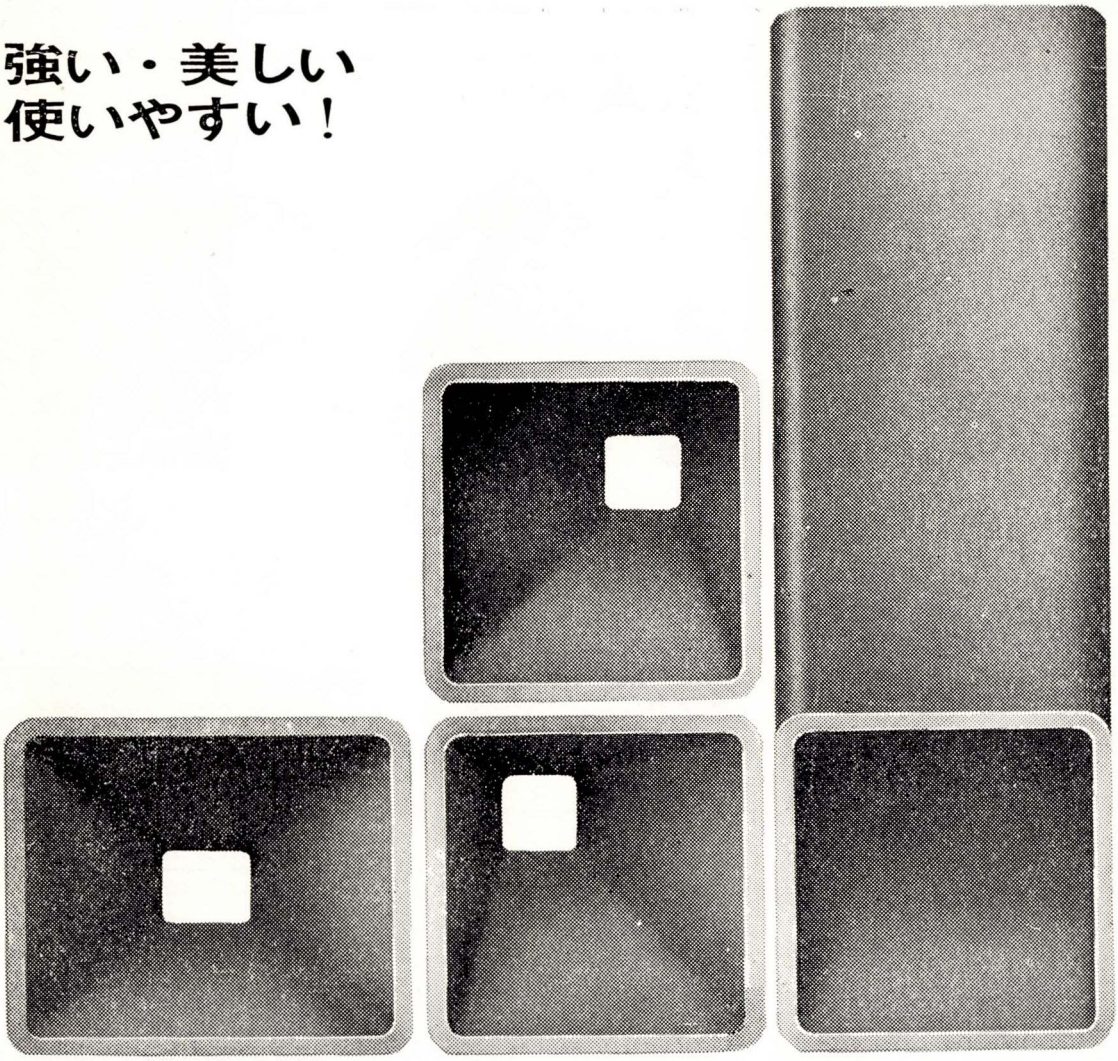
古い信用と
新しい技術

各種金庫扉
各種鋼製家具

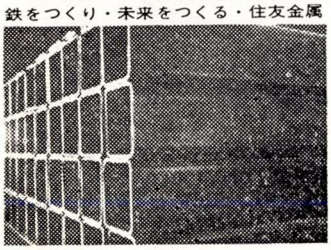
株式会社 寺西金庫工業所

大阪市北区北森町30番地　電話(231)　5888・4938・(361)6484

強い・美しい
使いやすい！



鉄をつくり・未来をつくる・住友金属



住友の 角形鋼管

住友金属

住友金属工業株式会社
本社／大阪市東区北浜5の15（新住友ビル）
支社／東京／営業所／福岡・広島・名古屋・仙台・札幌

燃えない都市づくりのため
角形鋼管が　注目をあびてきました。欧米諸国では　角形鋼管のシャープなもち味が早くから買われ　学校やビルを初め住宅などにもどしどし使われています。

■すぐれた断面性能　■パイプの強さに角形の使いやすさをプラス

■両端を閉鎖すれば　内面からの腐食度はゼロ。耐久力は抜群。

■仕上材とよく調和し加工・組立も簡単。

"強く　美しく　使いやすく"
現代感覚を生かすのに最適です。

あなたの働きを楽しく、暮らしを豊かに　夢を育てる……鉄



H形鋼が120サイズ

経済的にご使用ください!!

エ エ エ

広幅系列 40サイズ　中幅系列 40サイズ　細幅系列 40サイズ

●弊社では、最新鋭のユニバーサルミルによって50サイズの〈H形鋼〉を製造してまいりましたが、このたび〈H形鋼〉をいっそう経済的にご使用いただくために、各ウェブ高さ、フランジ幅ごとに厚さの異なるサイズを追加し、合計120サイズの〈H形鋼〉の製造販売をはじめました。

●これによって、ほぼおなじウェブ高さ、フランジ幅のなかで、設計に応じて、最適の断面性能の〈H形鋼〉を自由にお選びになれるわけです。また、ご要望に応じて、即時、納入できるように、東京・大阪・名古屋の3地区に各サイズの在庫を準備いたしました。

〈H形鋼〉のご使用については、弊社市場部建材サービス班へお問合わせください。

《特　性

同一重量に対する圧縮耐力……
……広幅系列　中幅系列　細幅系列
同一重量に対する曲げ耐力……
……細幅系列　中幅系列　広幅系列
同一ウェブ高さに対する曲げ耐力……
……広幅系列　中幅系列　細幅系列

《主な用途》

広幅系列……柱材、基礎杭、山留材、トラスメンバーなど
中幅系列……
……柱材、はり材、桁材など
細幅系列……はり材、桁材、複合材　十字柱、ラチス柱　など

八幡製鐵

マルエス

本　社　東京都千代田区丸ノ内1ノ1〈鉄鋼ビル〉電話・東京〈212〉4111 大代表

NS-85

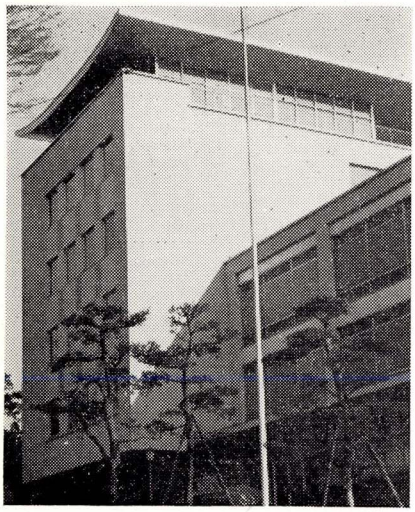
●WHを自由に変えられるハーフメイドサッシ
●無理のない合理的な設計
●設計から取付まで一貫したサービス
●安直　廉価

スピンドルのハーフメイドサッシ

●オーダーメイド：アルミ、スチール、ステンレスサッシドア各式

日本スピンドル製造株式会社　金属成型事業部

大阪営業所	大阪市東区備後町(綿業会館内)	電大阪 (202) 7991(代)
茨木第一工場	大阪府茨木市太田新田 60	電茨木 (07262) 4741(代)
茨木第二工場	大阪府茨木市太田上野	電茨木(07262)5065・5066
本社	兵庫県尼崎市潮江(国鉄尼崎駅北)	電大阪 (401) 5551(代)
東京事務所	東京都千代田区(丸ビル403号)	電東京 (201) 0875・3605
京都事務所	京都市中京区西洞院四条上ル(ウオジビル)	電京都 (23) 5051



完全な防水に……

レオパールBA

特長
・酸素や紫外線に不活性で間接光線のもとでは永久に老化しない。
・吸水せず完全不透水性でそれ自身腐蝕されない。
・大きな伸長性を有し構造物に生ずるヘヤークラック並びに温度伸縮に完全に対応出来る。
・−30°C +60°Cの温度範囲で性状に変化を生ぜず安全に使用出来る。
・シートの重ね合せは冷工材で完全に溶接され、理想的な防水層が形成される。

用途 一般陸屋根・地下街・地下道・地下室・水泳プール・高架橋・ずい道・P.S桁等の防水

薬液注入工事

M·I 並びに **L·W** 工法

詳細に関しては弊社営業部にお問合せ下さい。

日本綜合防水株式会社

取締役社長　山崎慎二

本社　東京都千代田区神田猿楽町1の9(大平舎ビル2階)　電話(201)代表 7691
大阪営業所　大阪市東区道修町1−4(松井ビル)　電話(202) 6884
工事々務所　東京都板橋区板橋町6の3356　電話(962) 2581

規格化と量産による安くて安全な

クマリフト

押釦全自動式小型昇降機



つねに新しいアイデアで業界をリードする
クマリフトは生産量でも断然業界第一位です

工場生産される配線工事

業界初のコンセント方式を採用しましたので　機械据付工事が終ると同時に運転が出来ます。従って工期が30%方短縮されました。

コンベヤーラインに乗る完全塗装

パーカー処理装置およびコンベヤー式赤外線焼付炉等、一連の最新式塗装工場が完成しましたので　製品は一層優美完全になりました。

クマリフトは一貫メーカーとしてすぐれたるアイデアと量産により、機構価格、納期などすべてに御満足いただける様、日夜努力いたしております。人手不足の折柄、料理・小荷物・書類等の運搬用として、あらゆる職場に御採用下さい。

機種	積載量	毎分速度	カゴ寸法　間口×奥行×高
J－30	25kg	20m	500×　500×　600
M－50	50〃	30〃	600×　600×　750
M－100	100〃	30〃	750×　750×　900
M－200	200〃	30〃	900×　900×1.050
M－300	300〃	30〃	1.000×1.000×1.200

電源はJ－30B・M－50Bは交流100V
J－30A　M－50Aを含むその他は交流200Vです

KUMA　**クマガイ工業株式会社**

大阪市西区京町堀2－30　電話　大阪（443）3421～5／東京都北区岸町1－9　電話　東京（913）3146～8
名古屋市中区東陽町7－2　電話名古屋(24)0372／京都市上京区智恵光院通丸太町上　電話京都(84)3404・5986／福岡市清川町3－26　電話福岡(2)4777

アスファルト防水は年限保證する
日本アスファルト防水工業会の仕様による
経験と技術の工業会員へ

日本アスファルト防水工業会員名簿　（イロハ順）

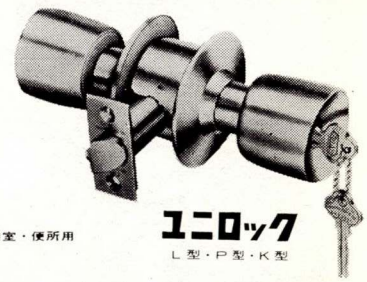
地区別	会社名	住所	電話
北海道地区	日本スレートKK	札幌市北三条東4—1	②3458・4426
東北地区	大和工業KK仙台出張所	仙台市二日町1—2	③7790・②0335
関東地区	井上瀝青工業KK	東京都中央区銀座東2—13	(541)1974-5
	伊藤建材KK	東京都台東区浅草田島町77	(871)5311(841)5729
	北条瀝青工業KK	東京都中央区湊町3—7	(551)2676・4382
	YK金岡興業	東京都新宿区柏木5—1172	(361)5947・(371)1337
	高山工業KK	東京都千代田区神田小川町1—8	(251)0161-3・1301-2
	瀝青建材KK	東京都中央区銀座東3—11	(541)6945・7834
	桑原建材KK	東京都文京区新諏訪町6	(921)0448・0647
	大和工業KK	東京都荒川区南千住6—42	(891)1144-6・7155-7
	マサル瀝青工業KK	東京都台東区新坂本町61	(841)8501・(871)2851
	藤井工業KK	東京都文京区林町94	(941)0271・2582
	KK三柏商会	東京都千代田区神田同朋町3	(251)8867・7517
	KK金港商店	横浜市西区高島町1—1	㊹7846・8476-7
東海地区	中央建材工業KK	名古屋市中区南久屋町3—12	㉔0496・2066・8700
	日本建材興業KK	名古屋市西区南押切町5—12	㊺6860・2574・0415
近畿地区	日新工材KK	大阪市西区新町北通1—17	㊶3785-6・2721
	マルエス工業KK	大阪市福島区上福島南1—152	㊺2360・2030
	KK新光商店	大阪市南区塩町通2—13	㊻7195-7・4467
	高山工業KK大阪営業所	大阪市北区老松町2—19	㊶5976-8
	清水興業KK	大阪市北区鶴野町34	㊼0251-3
中国地区	豊永建材KK	広島市南竹屋町103	④3567
	東中國防水工業YK	岡山市磨屋町22	③2211・6302
四国地区	大三工業KK	高松市内磨屋町7	②8697
	KK山本商会	松山市萱町2—95	②2717・8422
九州地区	日新興業KK	延岡市本小路74	4305
	大同工業KK	宮崎市橘通6—82	8155-6
	KK工材社	門司市大里東通10丁目	㊳1468-9
	安藤工事KK	福岡市大浜1丁目新町95	②6968・③5765
	KK北原建材商会	鹿児島市上之園町62	④0001-2

日本アスファルト防水工業会関西事務所

大阪市西区新町北通1-18　日新工業KK大阪支店　(531) 5281-3



50年の歴史が生んだ最高の品質
使いよさ、堅牢さ、美しさ
使うほどに加わる安心感は
まぎれもないロックの王様です

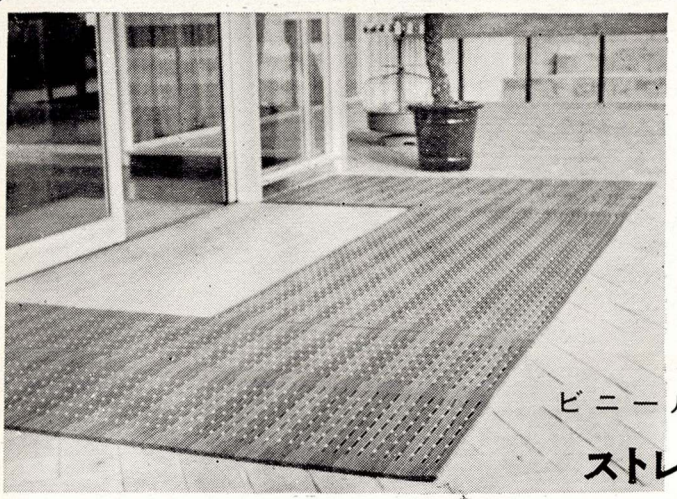


ユニロック
L型・P型・K型

〈種類〉玄関・事務所用・廊下・通路用・間仕切用・病院用・学校教室用・倉庫用・出口専用・浴室・個室・便所用
〈材質〉鉛金製・ステンレス製・硬質アルミ製　バックセット　51‰・57‰・64‰

株式會社 谷山製作所
本社・工場　大阪市東淀川区三津屋北通4－44　電話(302)代1771
東京営業所　東京都港区芝汐留1－3－5　電話(581)7344
名古屋営業所　名古屋市中区大池町3－6　電話(24)代9281
札幌営業所　札幌市南三条西6－3　電話(4)代5241
福岡営業所　福岡市中堅町35－1　電話(3)0796

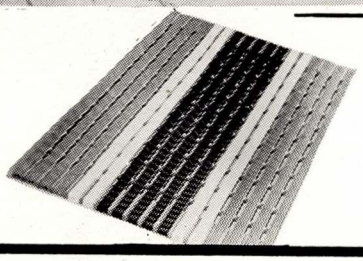
ゴールドアー錠



JEWELRY COLORS
IN

グッドセンスを
敷こう
ストレートで
行こう

ビニール
ストレート ライン マット



WAKE A GOOD SENSE
PAT. PENDING

ミヅシマ
株式会社 水島商店
MIZUSHIMA CO. LTD.
大 阪・大阪市西区北堀江上通一丁目
京 都・京都市中京区蛸薬師烏丸西入
福 岡・福岡市下対馬小路一二八

アルミパールタイル
ヤハズラス
木毛セメント板
カラーベストス

新
ボード
建
スロール
材

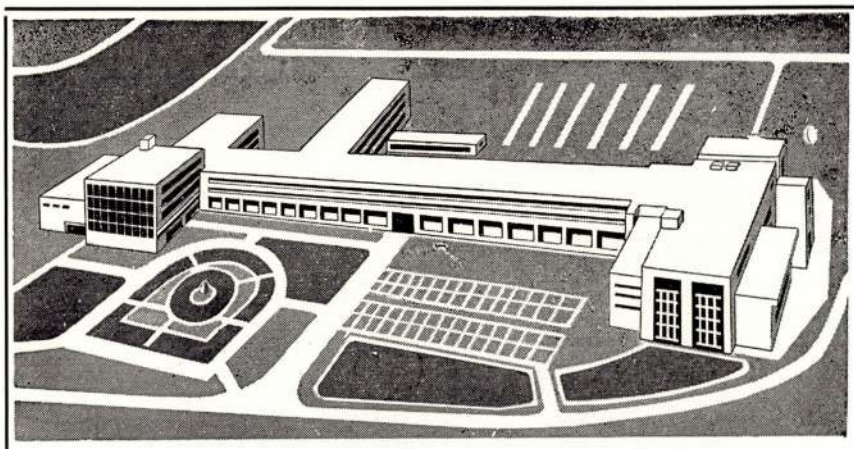
ビニール加工板
メラミン加工板
ビニ床タイル
プリント合板

四ツ橋 ウモト
生きる近代建築に
魂ある文化材

30メーカー代理店

モデルハウスと展示
すまいの用材店
西区立花通2電(531)2843

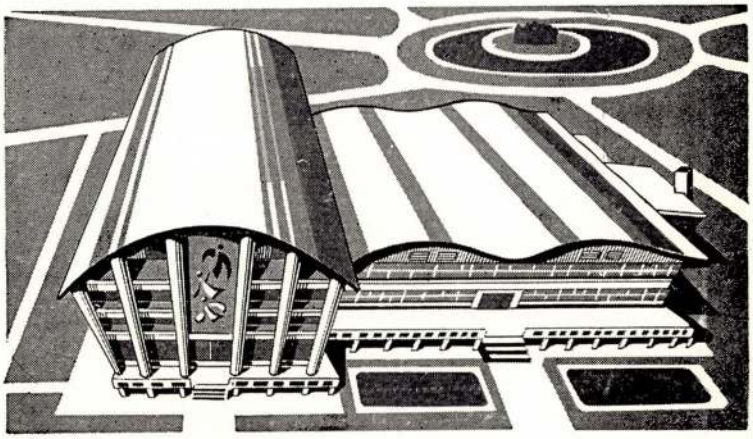
大 阪・四ツ橋
株式会社 山本建材社
TEL (541) 1861～5・2131・2233・7060・7170



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　サッシール

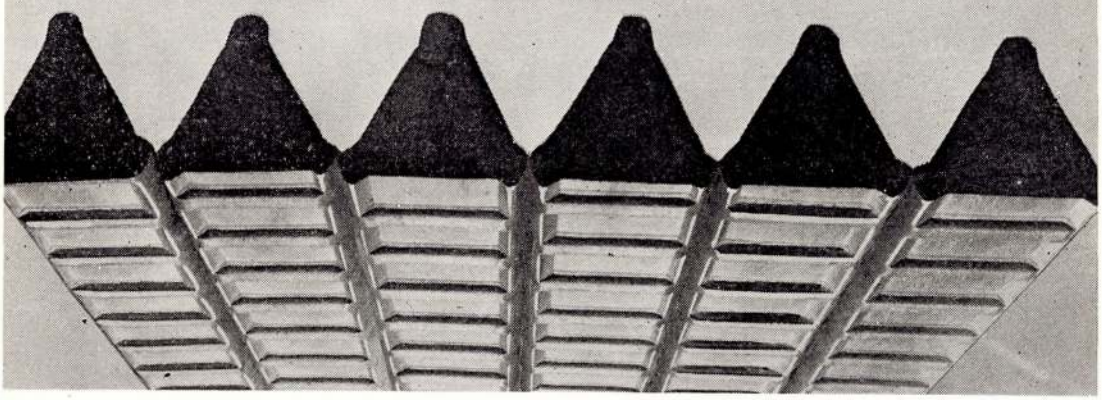


日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（271）7000・5463～5
名古屋営業所　名古屋市港区南十一番町2—6
　　TEL（66）8251～5
大阪営業所及大阪工場
　　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　　TEL（392）0051～6

図面番号		名　称	縮　尺	
			日　付	

▲トリコンがつくった常識
《鉄筋は三角》



コスト低下・有利な構造に

〈強く強く〉という現代土木建築界の要望にこたえて登場したトリコン。コストの低下、有利な構造を確実に実現できる高性能鉄筋です

鋼材の節減

世界ではじめての高張力異形三角鉄筋――その特異な形により、異形丸鋼よりコンクリート付着力が20%以上増加しました。その上材質はすぐれた高張力鋼です。従って使用鋼材量が大幅に節減できます。

高層ビル・駐車場・地下街・倉庫・橋梁etc.

〈耐久力を弱めず軽量にしたい〉〈積載荷重を高めたい〉〈柱の数をできるだけ少くしたい〉そんな設計にトリコンは欠かせません。大きな付着力によって高張力鋼の利点を一層有効に生かしたトリコンこそ、最も有利な鉄筋です。（加工性・溶接性も良好です）

耐久力の増強

さらに、疲労強度・付着性・靱性などの性能が高いトリコンは、建造物の耐力力をグンと増強します。

鉄筋は丸鋼…という常識はもう過去のもの。三角形のトリコンこそ技術革新の時代にふさわしい、最高の性能をそなえた鉄筋です。

建設大臣の特別認定 トリコンはその高性能を認められ、建築基準法に基づく特別認定を得ました

新しい鉄筋

TRICON

トリコン

神戸製鋼所

寄　贈　品　御　礼

梅田新地下街見学会

第4回　工　場　見　学　会

〔お詫び〕　10月号の発行が，印刷・その他の関係で約1週間以上遅れて，会合などの申込みがまにあわないこととなり，大へんご迷惑をお掛けいたしましたことをお詫びいたします。

〔予告〕　恒例の**忘年懇親会**は，**12月13日**（金）午後6時→8時，於大阪園で開催することとなりました。開催通知は更めて，「はがき」でおこないます。

寄　贈　品　御　礼

このたび当会館の内部塗装の塗り替えを行なうに当り，石産商事株式会社殿より，会社製品のスプレッドサテンのご寄贈を受け工事完了致しました。ここにご厚意に対し深く謝意を表します。

梅田新地下街見学会（大阪府建築士会共催）

日　時　11月12日（火）午後3時（集合）——5時（解散）

集合所　新阪急ビル正面新地下道入口付近・目標会旗

申　込　9日までに電話で願います。但し定員両会合計300名で先着締切ります。

建築概要

基本設計	大阪市土木局道路部	
実施設計	大阪地下街株式会社 株式会社　大阪建築事務所	
工事監理	大阪市土木局道路部	
施　工	株式会社　大林組	
構　造	鉄骨鉄筋コンクリート造地上1階，地下2階	
面　積	店舗面積	8,046m²
	道路面積	7,051m²（階段を含む）
	設備室その他面積	2,689m²
	合　計	17,786m²

着　工　36年2月28日　　竣　工　38年12月1日（予定）

＊詳細は，先月号（10月）50頁をご参照下さい。

〔註〕この見学会の開催通知は，近畿在住会員には11月1日に「はがき」でご案内いたしました。

第4回　工場見学会　（九州支部共催）
有田タイル工場と福岡の新建築見学会

9月号で参加希望者を募りましたところ，多数のお申込みがありましたので，事業委員会で抽せんをおこない，参加者30名を決定いたしました。

日　時　11月14日（木）　15日（金）　16日（土）

会　費　2,000円（15日宿泊料，16日昼食・夕食代，その他・別に補助があります）

往復交通費　参加者各自の負担とします。

〔行程〕★11月14日（木）＜第1日＞

大阪駅発（急行・平戸）21.43（車中で1泊）

★11月15日（金）＜第2日＞

（急行・平戸）門司駅発8.26→博多駅発9.53→鳥栖駅発10.32→有田駅着11.58（貸切バス）→有田タイル工場着12.30（昼食・工場見学）同工場発15.00（貸切バス）→陶器原石山15.05—15.25→有田焼の窯元見学・柿右衛門・香蘭社15.40—16.40（貸切バス）→嬉野温泉着18.00（懇親会・宿泊）

★11月16日（土）＜第3日＞

嬉野温泉発9.00（貸切バス）→武雄駅発9.57（準急第1弓張・第1ながさき）→博多駅着11.37—（昼食後：貸切バスを利用・福岡市内著名新建築見学）17.00より九州支部会員と懇親夕食会開催　19.00頃博多駅前で解散

関西大学誠之館と体育館見学会

関西大学誠之館と体育館見学会

日　時　11月22日（金）午後2時（集合）→4時（解散）
集合所　京阪神急行千里山線大学前駅出口附近・目標会旗
申　込　20日までに電話で願います。但し定員50名に達した際は締切ります。

建築概要

□誠之館　（37年3月31日竣工）
設計・管理　村野森建築事務所
施　工　株式会社　竹中工務店
構造・規模　鉄筋コンクリート造地上2階一部4階
建築面積　2,379.05m² 延5,232.34m²
用　途　1号館　食堂・売店・喫茶室・談話室，2号館　学生部事務室・学生相談室・会議室，3号館　学生室，4号館　講堂

□体育館　（38年3月31日竣工）
設計・監理　村野森建築事務所
施　工　株式会社　竹中工務店
構造・規模　鉄骨鉄筋コンクリート造地上2階一部中階付
延床面積　5008.86m²　最高22.78m
用　途　第1体育館　バスケット・バレーその他コート
第2体育館　体操・柔道・剣道・空手
第3体育館　ボクシング・レスリングその他

第4回　古建築見学会
秋の室生寺と大野寺を訪ねるつどい

第4回　古建築見学会
室生寺と大野寺を訪ねるつどい

日　時　11月27日（水）午前9時20分（集合）→午後5時（解散）
集合所　近畿日本鉄道上六駅構内案内所前付近・目標会旗
会　費　500円（往復乗車券代と拝観料）＊昼食は各自携行のこと
申　込　23日までに電話で願います。但し先着30名で締切ります。出席者で当日欠席の場合でも準備の都合上会費のご負担を願います。
解説者　工学博士 浅野清氏（大阪市立大学教授）
行　程　近鉄上六駅発9.50→室生口大野駅着11.03（奈良交通定期バス）駅前11.10発→11.40（昼食）→室生寺見学12.30—15.00室生寺前発15.20（貸切バス）→大野寺見学を経て—室生口大野駅発15.55→上六駅着17.08駅前解散

室生寺

室生山の中腹閑雅幽邃の地にあり，天長元年（788年）弘法大師が創開した真言密教の大道場である。高野山の女人禁制に対し，当山は女人の結界に入るを許したのでこれを女人高野と呼んでいる。伽藍は山層に倚つて建てられ，金堂および五重塔は天長初建のまま今日に残り，わが国における弘仁建築の遺構として唯一無二の稀観である。塔は方三間五重塔の桧皮葺で，高さ 16.20m 国宝。灌頂堂（御影堂）は鎌倉時代の再建で国宝である。また諸堂内に安置されている仏像もまた平安初期の特徴を示している。

大野寺

弘法大師が室生山を開く際その西門として草創され，寺は宇陀川の清流に臨んでいる。その対岸屏風ガ浦の英雲安山岩の大岩壁には著名の大弥勒像すなわち石仏を刻みつけてある。

第5回　若い会員の集い
団地コミュニティについて

第5回若い会員の集い　統一テーマ“建築からの起点”
「団地コミュニティについて」
＜香里団地の場合＞

日　時　11月28日（木）午後6時→8時
会　場　本会4階集会室
ゲスト　京大人文科学研究所　講師　多田道太郎氏
　　大阪市立大学工学部　講師　栗原嘉一郎氏
申　込　25日までに電話で願います。　定　員　30名

都市人口がふえるにつれて，勤労者のための住宅団地の建設がすすみ，いわゆる“団地族”という新しい階層もうまれつつある。ところがそれらのものが計画的に建設されているにもかかわらず，団地生活は単調で，面白くないという声も聞かれるし，住宅は相変らず“ねぐら”としての機能しか果していないともいわれ，コミュニティ計画の上で大きな問題を提起しています。今後，団地計画においては，居住者の家族，近隣，地域社会などに関する社会学的な配慮とそれにともなう建築学的な研究がより一層必要とされるでしょう。

本例会では京大人文科学研究所・多田道太郎先生と大阪市大建築学教室・栗原嘉一郎先生のお二人をお招きして，主として香里団地の場合をとり上げて団地コミュニティのお話しをうかがうことにしました。

本会発行図書（絶版を除く）　■お申込は本会まで

図書名	判	頁	定価 カッコ内は会員特価	送料
鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集	B 4 B 5 2 冊	200 500	3,500	200
漏電とビルのダクト火災とその対策	A 5	47	50 (40)	20
建築基準法および関係法規一覧表	B 5	74	350 (300)	70
床の仕上	A 5	160	220 (200)	60
建物および設備の保全	A 5	90	150 (130)	50
ふるさとのすまい （日本民家集） —毎日出版文化賞受賞—	180×170	260	960 (800)	150
工高生デザインコンクール入選作品集	B 5	68	300 (200)	50
建築技術者のための・設備図書部 □空気調和設備 □給排水衛生設備 □電気設備	編集中			
南海電鉄沿線に建つ新住宅設計コンクール入選作品図案	240×240 近刊	50	350 (250)	50
1964年度　会員名簿	近刊	500	未定	未定

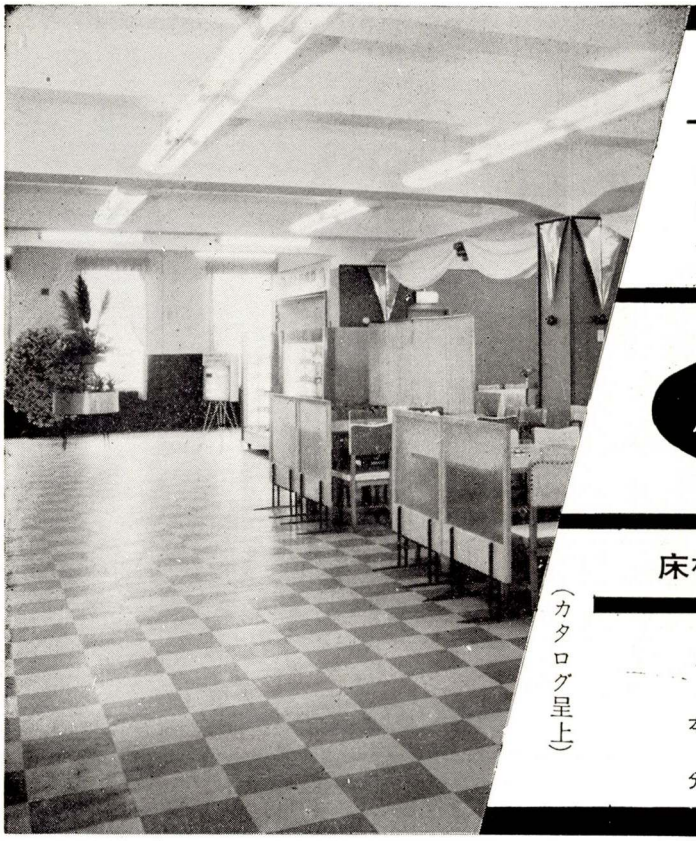


営業品目
- ▶波型石綿スレート・大波・小波・大平板
- ▶厚型スレート
- ▶関西石綿煙突・普通品・特製品・火口用
- ▶メタルラス・リブラス　（日米ラス）

日本工業標準規格　No. 161厚型スレート
〃　No.6500波型スレート
法定不燃材認定番号　No.5009

関西スレート株式会社

本社・工場　尼崎市尾浜字竹原３５０
電話大阪（481）8847～9・7310
営業所　東京・三島・名古屋・高松・広島



美しい床……

しかも永い間耐える事が特長です。優れた製品として皆様に御満足願える様、最高の施工技術を持って弊社で責任施工を致しております。

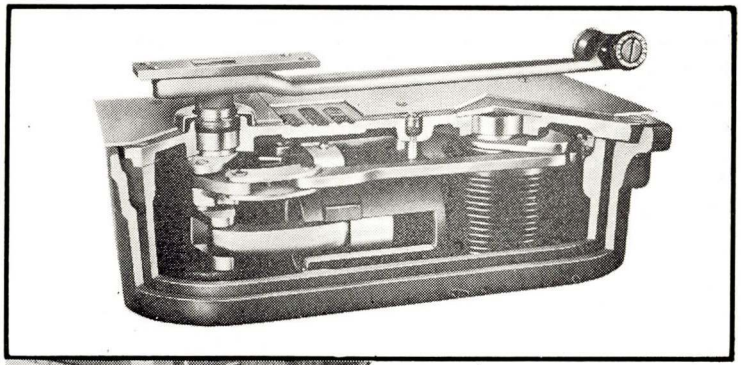
桂のビニールタイル

床材料の販売・工事（責任施工）

（カタログ呈上）

株式会社 **桂　商会**

本社　大阪市大淀区国分寺町1丁目1番地
電　話　(351) 6625・7778－9
分室　大阪市大淀区天満橋筋六丁目12

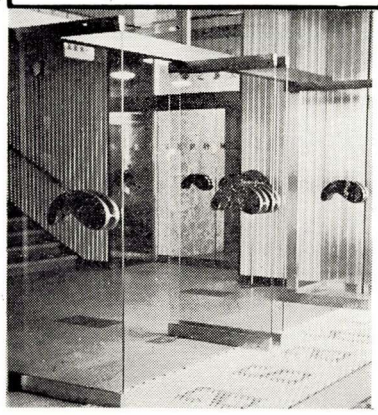


ユートピア印

S.K UTOPIA

フロアヒンジ

ピボットヒンジ



専門家が推奨する

金属製扉、木製扉、強化硝子扉合成樹脂扉、何れの扉にも使用出来ます。

諸官庁御指定品　旭硝子御採用品

製造元

敷島金物株式會社

大阪府布施市横沼町1の46
電話　布施(721) 7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26
電話　東京(332) 5310(301) 0403

あなたのセンスがそのまゝ生きる！

伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン



●ダイナミックタッチ
ジュピター　L1305
陶器・金具セット
1級・¥15,400　並級 ¥13,900



●やわらかい甘いムード
ヴィナス　L1223
陶器・金具セット
1級 ¥15,000　並級 ¥13,560



●端正な感触・・・・
アポロ　L1306
陶器・金具セット
1級 ¥14,200　並級 ¥12,700

Toyotoki 東洋陶器株式会社
本社/小倉　工場/小倉、茅ヶ崎、滋賀
大阪営業所/大阪市東区高麗橋Tel(231)4518～9
1424

鋼管構造建築
重量型鋼建築
軽量型鋼建築

広瀬式組立建築
インスタントハウス　から本建築まで!!

最新の設備と
優秀な技術を誇る

工場
倉庫
ガレーヂ
事務所
労務宿舎
体育館
移動教室
その他

綜合建設業
建設大臣登録　(チ)第4133号
設計・製作・施工・販売

広瀬ハウス工業株式會社

本社　大阪市西区西長堀北通3丁目2の3　TEL (531) 9351代表 (541) 7721代表
東京支店　東京都墨田区江東橋1—4　昌山ビル3・4階　TEL (633)2910・2911
工場　大阪（福崎）・千葉（酒々井）・名古屋（大山）

建築と社会

1963年・第44集・11月号・目次

ARCHITECTURE & COMMUNITY ©　　建築と芸術特集　11

作品作風　松下電器健康管理センター……設計施工　株式会社近畿建設……11
福岡市職員保健会館……設計　日建設計工業(株)九州事務所 福岡支所
施工　清水建設株式会社
日米コカコーラボトリング㈱本社工場……設計施工　株式会社松尾組……21
建築の眼　担当50音順：天津　勇・宇野　勇・角橋　徹也・吉田　繁……24
本文
①論説　「装飾的近代」の展開——現代建築と「機能主義の超克」——…向井　正也……26
芸術的綜合としてのゴシック聖堂
——現代建築における綜合的芸術観の反省のために——……前川　道郎……32
建築と諸美術——その協同と統一の条件は何か——……鳥田　家弘……39
②座談会　「新しい空間創造への参加」……45
出席者：太田　隆信・根津耕一郎・福岡　道雄・田中　敦子・
中西　康進・大久保昌一
③小論・随筆　メキシコ大学の壁画……桐野江節雄……52
今井兼次先生とガウディ……岡橋作太郎……54
ピカソ；ミロ；ノグチ ——パリ・ユネスコ本部にて——……神出津嶺雄……56
ロンシャン——建築が造型的事件であるということ——……西沢　文隆……59
Possitive な「街」の建築空間——大阪市内の画廊みてある記…高田　威……62
村野藤吾のクラフト的魅力……浦辺鎮太郎……65
④書評　ペーターブレイク著訳本「現代建築の巨匠」
——20世紀の空間を創造した人びと——……島田　勝次……66
会員の頁……68
職人シリーズ　11. 塗装工（秋山沢市さん）……篠田　駿二……70
技術の頁　15. 構造部門：最近の軽量鉄骨建築……椋代　仁朗……71
近代建築調査委員会報告　47
京都・中京郵便局庁舎（本館）……近藤　豊……73
実務に直結した新企画の説明会3……75
新しい建築材料紹介欄……色頁
会報　（9月分）……76

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会・SMデザインスタジオ

売価　1部180円・送料共
昭和38年11月20日印刷　昭和38年11月25日発行
編集人　松井　昭光
発行所　社団法人日本建築協会　大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊇9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番
発行人　手島　政男
印刷所　株式会社研文社　大阪市北区堂山町66　電話㊇2091～3番
印刷者　網野　栄

建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業所(株)
美素建物管理(株)

本　社　大阪市東区瓦町　三和ビル
電話(231) 5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話(261) 4070・4079・617



大阪セメント

大阪セメント株式会社

(旧 大阪窯業セメント株式会社)

大阪市北区堂島浜通１丁目２５　新大ビル内



全　　景

松下電器 健康管理センター

設計施工　株式会社 近 畿 建 設

外壁　正面柱型人造石小叩き仕上，正面壁二丁掛タイル貼およびセラスキン吹付，側面および裏面壁モルタル刷毛引，色モルタル吹付仕上

屋根　アスファルト防水の上シンダーコンクリート押，モルタル目地切仕上

設 計 ・ 施 工 者 の こ と ば

松下電器健康保険組合においては，つとに組合員ならびに家族の健康の保持増進のため多くの施設を有しておられますが，今回松下電器の一貫した経営方針の一つである「事業は人なり」の基本理念にもとずく「人間尊重」の基本精神に立脚して，予防医学の科学精機を整備拡充し，これを駆使活用して5万組合員と3万家族に対し予防医学を通じてその健康に奉仕せんとする念願から「健康管理センター」の建築が計画され，その設計施工を弊社が仰せつかりました。

この計画はさらに地域開業医の利用を通じて地域社会の健康福祉の増進にも貢献しようとするものであるなどわが国でもまだ類を見ないもので，予防医療としての健康管理実施機関としてその機能を存分に発揮できるグランドセンターとしなければならないので，その設計に当り同組合理事者のご指示希望条項に基き，打合せに回を重ね，また組合の臨床治療施設たる松下病院の先生方とも連繋を密にし，さらに東都その他の病院における予防医療設備の状況を視察するなど各種資料を参考に設計に着手しましたが，その間所要の室を完備するために住居地域の制限高さを超過することになりました。幸い前面道路の反対側に公園を有することにより府建築審査会の同意をもって府の許可を得，所要の高さを保持するを得ました。

弊社は先に同組合の「千里丘保健センター」の設計施工を仰せつかり，幸いにして極めて活用度の高い保健施設として喜ばれているのでありますが，いままた積極的健康管理施設として重ねてこの「健康管理センター」の設計施工を仰せつかり光栄に感激し設計に万全を期して終始いたしました。

敷地は守口市の西南部に位置して道路を隔てて日吉公園に面しているが周囲は古い木造町家が密集し，筋向いには松下病院と土居小学校を控えているので音響や振動についての厳しい制約を受け，杭打基礎を断念して総掘基礎を採用しましたが，幸に地質が良好であったので工事も順調に進みました。また予防医療機関の性格から万人に親しまれるムードを醸成すべく，外観の意匠色彩仕上とともに内部のカラーコンディションには特に意を用いたのでありますが，室の用途の多様性などから難関に当り思うに任せない点が多々ありました。しかし工事中本年頭初の寒波に続いて未曾有の長雨にもかかわらず，工期中に竣工を見ましたことは同組合理事者の深いご理解とご激励ならびに府建築指導課のご指導の賜と感謝する次第であります。



正 面 入 口

松下電器 健康管理センター

設計施工　株式会社 近 畿 建 設

位　置	大阪府守口市金下町2丁目16番地	
敷地面積		739.199m²
規　模	地下1階，地上6階，塔屋付	
延面積		2,989.870m²
内訳	B　階	415.999m²
	1　階	413.506m²
	2　階	417.096m²
	3　階	417.096m²
	4　階	417.096m²
	5　階	417.096m²
	6　階	417.096m²
	塔　屋	66.886m²
高　さ	軒　高	GL＋21.000m
	最高高さ	GL＋26.410m
主体構造	鉄筋コンクリート造	
基礎構造	べた鉄筋コンクリート造	
工　期	昭和37年8月～昭和38年8月	

役　員　室



1 階 ロ ビ ー



1 階 ロ ビ ー



松下電器
健康管理センター

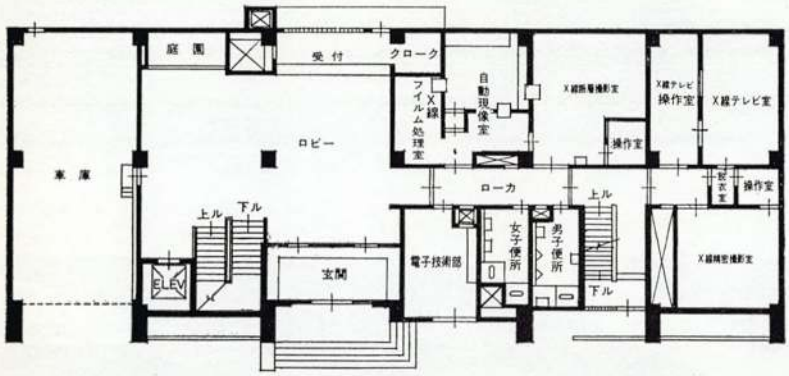
設計施工　株式会社 近 畿 建 設



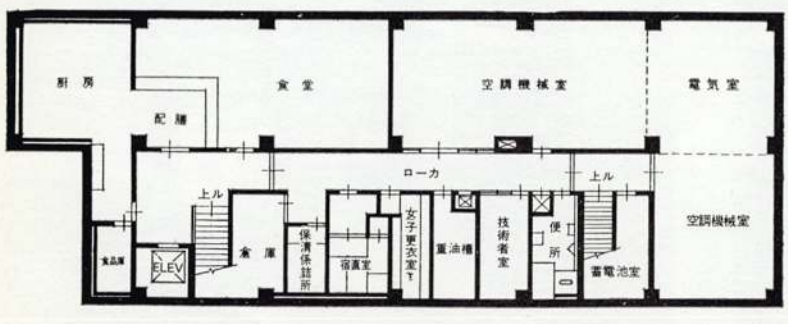
3　階



2　階



1　階



地　階

栄養研修室

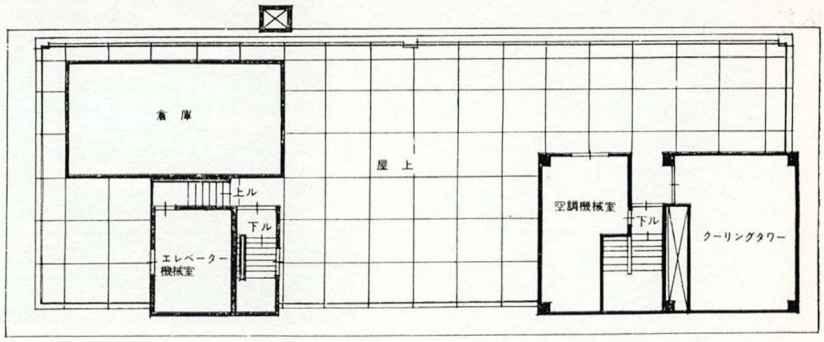


成人病ドック



松下電器
健康管理センター

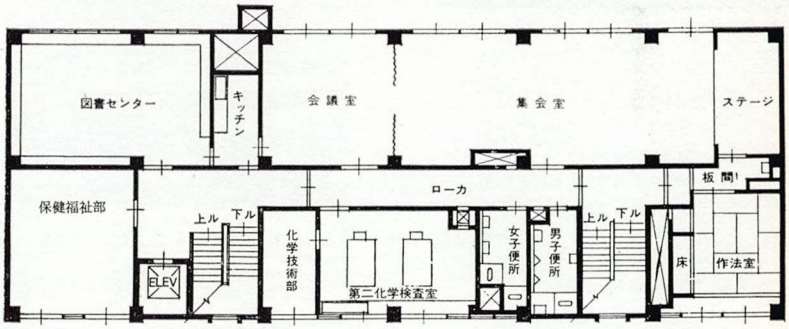
設計施工　株式会社 近 畿 建 設



屋　階



6　階



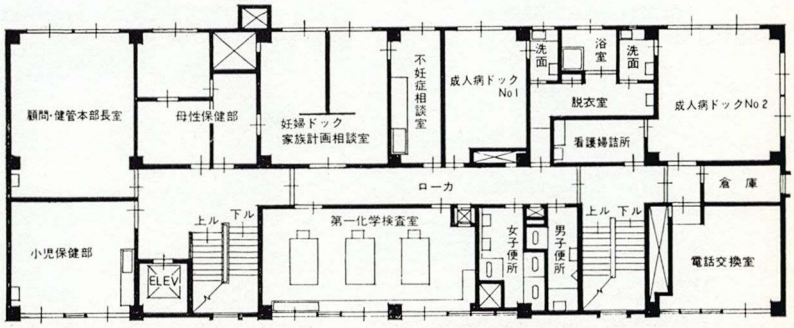
5　階

図書センター



集会室



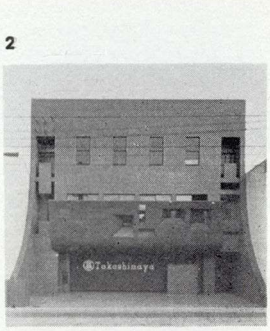


4　階

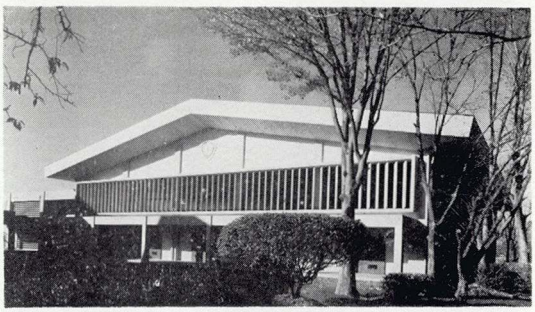
九州の新建築



1



2



3



4



5



6

7



1. 宮崎相互銀行本店
   設計：久米設計事務所
2. 高島屋福岡支所
   設計：KK竹中工務店
3. 九州女学院体育館（熊本）
   設計：一粒社ヴォーリズ建築事務所
4. 別府国際観光会館
   設計：志賀設計事務所
5. 日名子ホテル（別府）
   設計：志賀設計事務所
6. 普　岳　荘（長崎・雲仙）
   設計：松田設計事務所
7. 虹の松原ホテル（唐津国民宿舎）
   設計：岡田的場設計事務所

この頁の写真は，田村敏夫氏（日本住宅公団福岡支所）を通じて提供されたものです。



南　西　面

福岡市職員保健会館
(望洋荘)

設　計	日建設計工務ＫＫ九州事務所 福　岡　支　所
施　工	清水建設株式会社

所在地	福岡市馬屋谷102の1
規　模	鉄筋コンクリート造3階（一部地階）
坪　数	1,088.643m² （329.313坪）
工　期	着　工　昭和37年5月11日 竣　工　昭和38年3月11日

設計者のことば

この建物は福岡市職員の厚生施設として，健康保険組合と共済組合の共同によって建てられました。敷地は福岡市南西部の南公園に接する高台の一廓で背後は公園の緑の森に包まれ，西から北にかけて一望千里，福岡市街に続いて糸島の平野背振の山群から玄海の荒波が眼前に横たわる眺望絶佳の地が選ばれました。

(1)　建物の配置および敷地の造成

恵まれた環境をいかに生かすかに苦心を払いました。前面の道路に向って二段に傾斜している地形を利用し，上段より一階へ下段より地階へと進入路を取り地階の一部をピロティとし，前面道路よりスロープで車を導くよう動線を計画しました。二段の段部は地方産の石垣を構築し，敷地にはできる限りの植樹芝生を配し，自然への融和を計りました。建物の配置については日照関係を思い切って無視し眺望のよい西面道路沿いに室を配置するようにしました。

(2)　平面計画について

限られた与えられた面積で，この建物の多目的に使用される各室の分析は建設委員の方とも数回討議を重ね，その目的を充分果し得る最小限のスペースを確保し室間の連繋はもちろんデッドスペースを排するよう計画いたしました。地階ピロティは自動車乗入ができるこの建物としては，余裕のある広さとしここより広い階段によって1階玄関へ運ばれるようにし，この空間は落付いたゆったりした雰囲気を出せるよう考えました。小さいながら石庭も設けました。

(3)　外観について

外観は市内より望見できる高台なので背後の森の緑の中に浮び出すように考え，柱梁はコンクリート打放し，地階壁は煉瓦積とし，上部の壁は白味がかったものとし，1，2，3階主要室の外部には広いバルコニーを配し，この上部には西陽除けの固定ルーバーを設けました。

(4)　室内意匠について

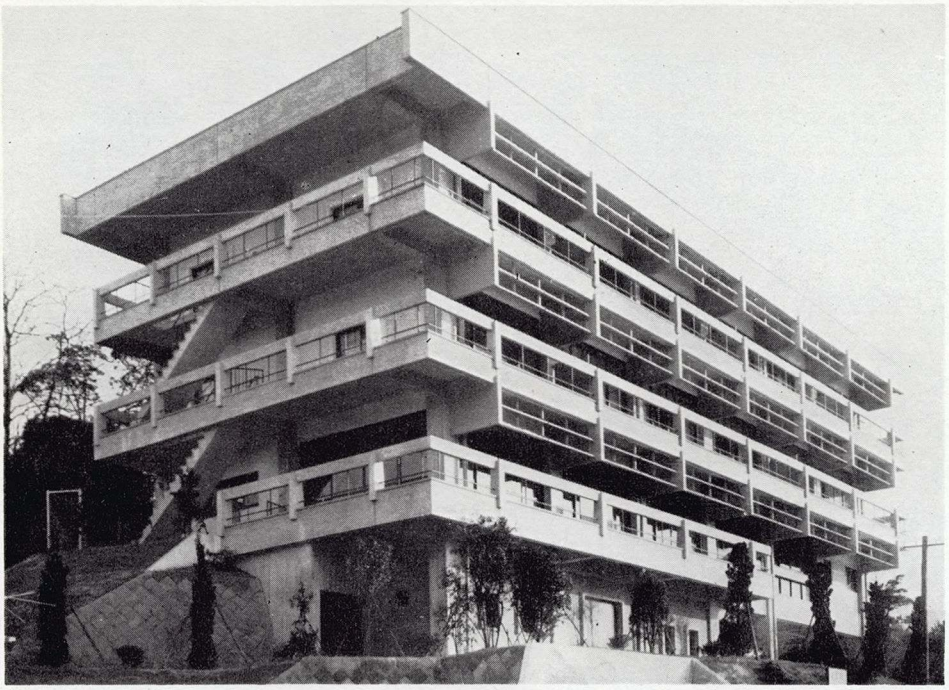
各室の使用目的に合致するよう明るくて落付きがあり，しかもある程度の豊さもあるように心掛け材料の選定および色彩の対比調和などを考え，とくに数多い和室についてはそれぞれ個性を持つよう努力しました。

(5)　設備計画について

建物の配置上日照関係に不利であるこの建物については，絶対空気調和設備は欠くことができないもので，セントラルシステムの全館空気調和設備を計画いたしました。

幸いにしてこの建物は竣工後は十二分に市職員の方の利用があり，予約なしでは利用できない状態とのお話を聞き設計者として，今後なお一層の努力をするよう決意を新にしております。

（蒲浦記）



北 西 面

柱，梁　コンクリート打放し
壁　煉瓦積およびモルタルエマルリシン吹付
手摺　コンクリート打放し

福岡市職員保健会館（望洋荘）

1階玄関ホール





2 階 休 養 室

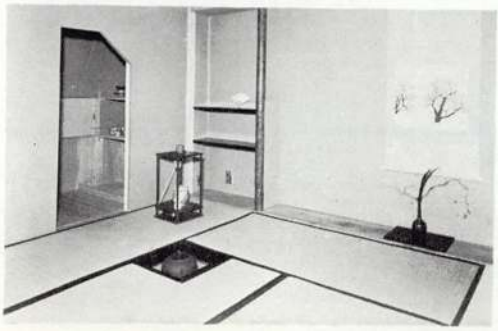
3 階 結 婚 式 場



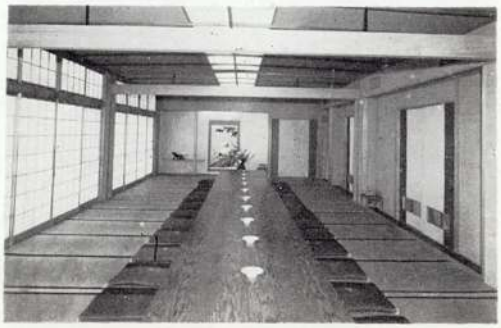
1 階 談 話 室・食 堂

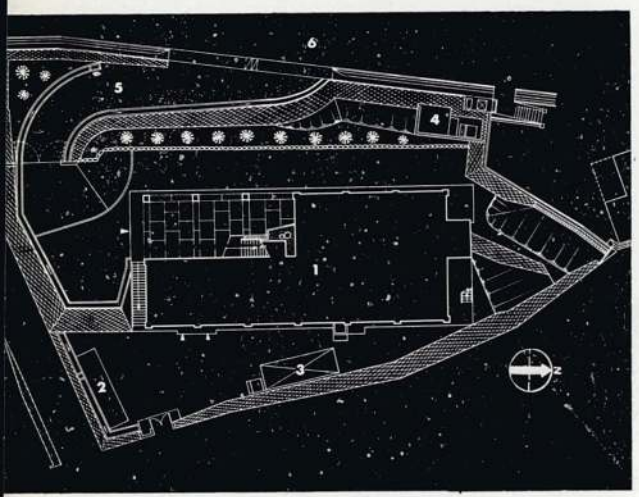


3 階 茶 室



2 階 大 広 間



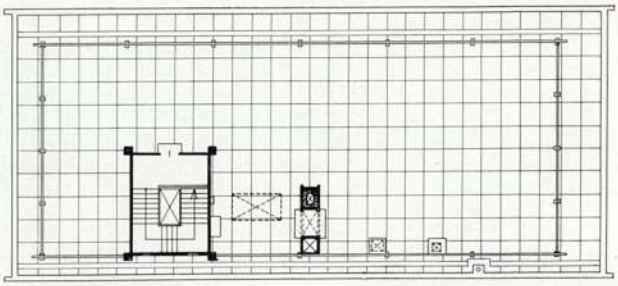


配置図　1. 本　　家
2. 自転車置場
3. 浄 化 槽
4. 水　　槽
5. スロープ
6. 前面道路

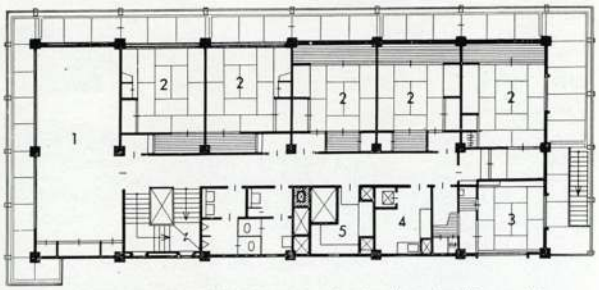
福岡市職員保健会館
(望洋荘)

設　計　日建設計工務ＫＫ九州事務所
福 岡 支 所

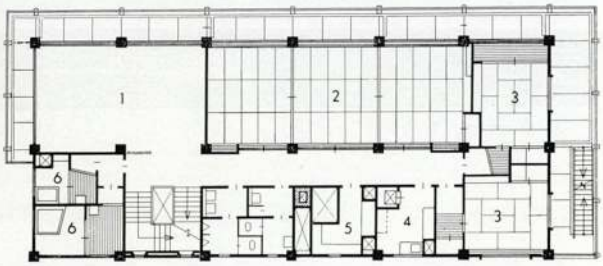
施　工　清水建設株式会社



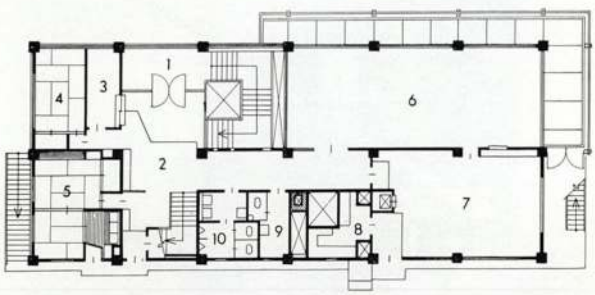
屋　階



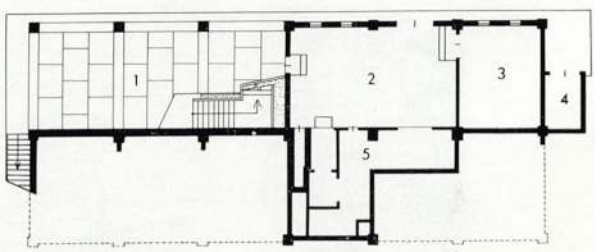
3　階　1. 会議室兼結婚式場　2. 宿 泊 室　3. 茶　　室
4. 配 膳 室　5. 倉　　庫



2　階　1. 休 養 室　2. 大 広 間　3. 娯 楽 室
4. 配 膳 室　5. 倉　　庫　6. 浴　　室



1　階　1. 玄　関　2. ホール　3. 受付，事務室　4. 従業員室
5. 管理人室　6. 談話室及食堂　7. 厨　房　8. 食品庫
9. 従業員便所　10. 便　所



地　階　1. ピロティ　2. 機 械 室　3. 電 気 室
4. プロパン瓦斯庫　5. ダクトスペース

日米コカコーラボトリングKK本社工場

設計施工　株式会社 松 尾 組

所在地	福岡市箱崎葦津ケ浦4127—29	
敷地面積		9,903m²
構造規模	本　館	RC造2階建，一部屋根鋼管構造
	修理工場	RC造平屋
	車　庫	鋼管構造平屋
建築面積	本　館 1階	2,926m²
	2階	1,019m²
	塔屋	30m²
	庇	287m²
	計	4,262m²
	修理工場	476m²
	車　庫	265m²
工　期	昭和37年9月 ～ 38年4月	



外 観 正 面（国道3号線より）



玄関ホールと展示場

階　段



設計者としてのことば

この建物は経営者のイメージを辛直に取入れ全体として労務管理の有効性に対する要求をヒューマンな形でとらえるのに苦心した。投資についてもこの工場にかけられている期待は，生産性向上の一環としての要求とあいまって，非常に大きい。

企業の生産的空間は一貫化，水平化，圧縮化といわれるようにこの要求に従って生産そのものの身構えを軽快に無理のないものにしようとしている。当初建設計画の青写真を説明されたとき私はこの一貫化，水平化，圧縮化の意味を理解したわけだが殊に清涼飲料製造工程の合理的生産空間にとって不可決の要素である，一貫化は流れ作業「コーラ原料からクラウナーまで」の要求であり，水平化は運搬合理化からの要求であり，かぎられた空間の有効利用というだけでなくオートメーションの要求であろう。

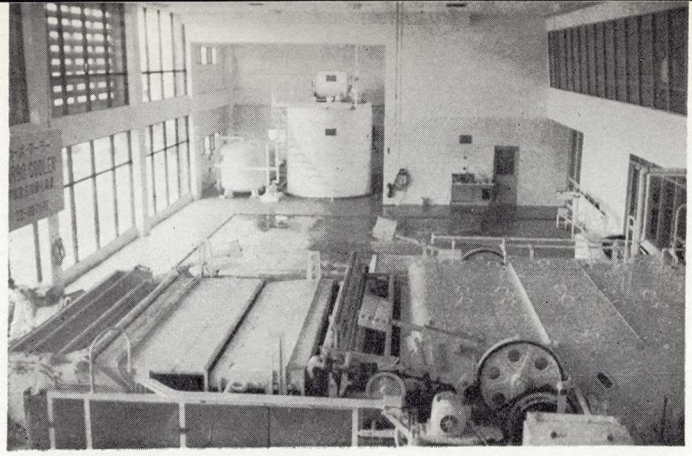
この工場は国内で東京，大阪，名古屋，横浜に次いで出来上ったいわば一般の通例を打破しようとして計画した結果がかなりの成果をもたらしているといえよう。

作業空間「ボトリング室，倉庫」を主軸に研究事務，厚生空間，機械室その他の動力源空間を両翼に配置し，各空間の対応関係を明快に表現するようにし，また色彩計画と造型との醸しあいが外観にも建物内部にも要求され殊に各空間の質の違いをプランニングの上からも生かし，各部担当者は思慮だけに終始せず一歩一歩の突込を対決の形として蓄積表現するように心がけたことはいうまでもない。

おわりに中枢神経ともいうべき製造工程を教えていただいた日本コカ・コーラボトリングカンパニイの岩村技術部長に謝意を表する次第です。　（石橋記）

日米コカコーラボトリングKK本社工場

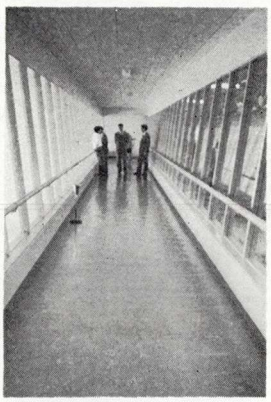
設計施工　株式会社 松　尾　組



ボトリング室



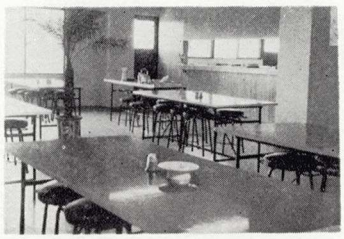
社　長　室



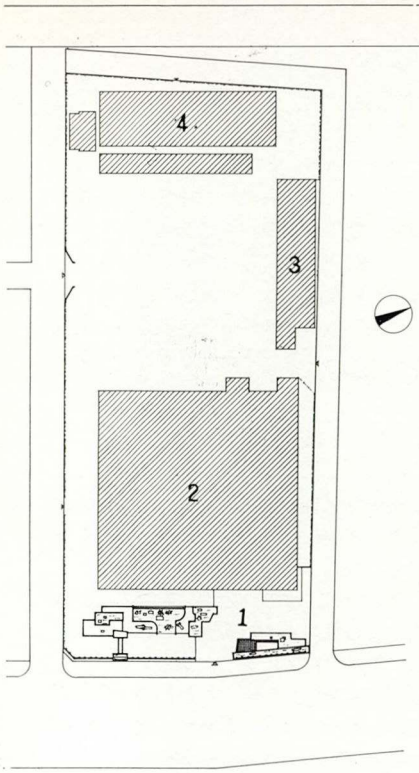
観覧歩道



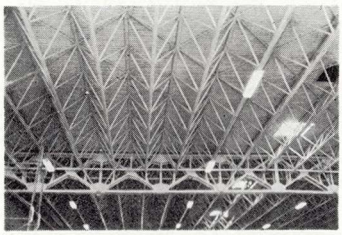
講　堂



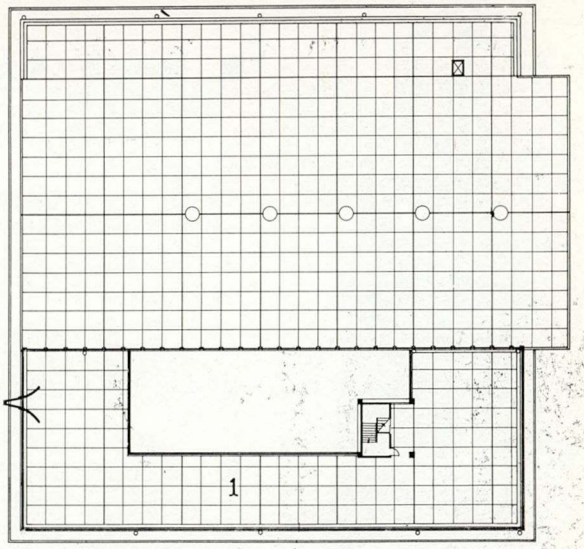
食　堂



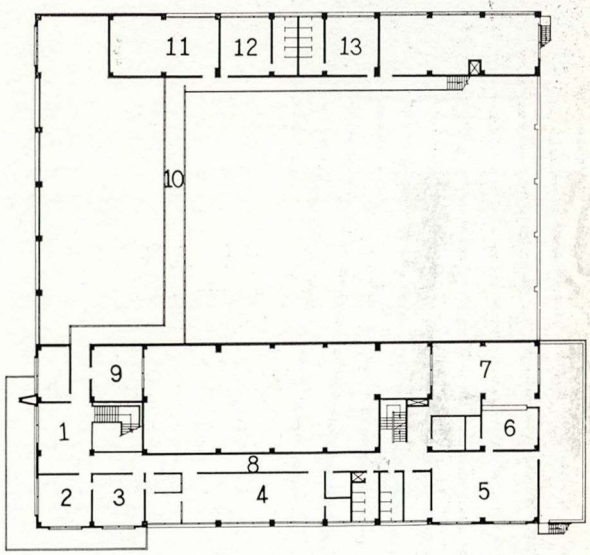
配置図　1. アプローチ
2. 本　屋
3. 車　庫
4. 社　宅



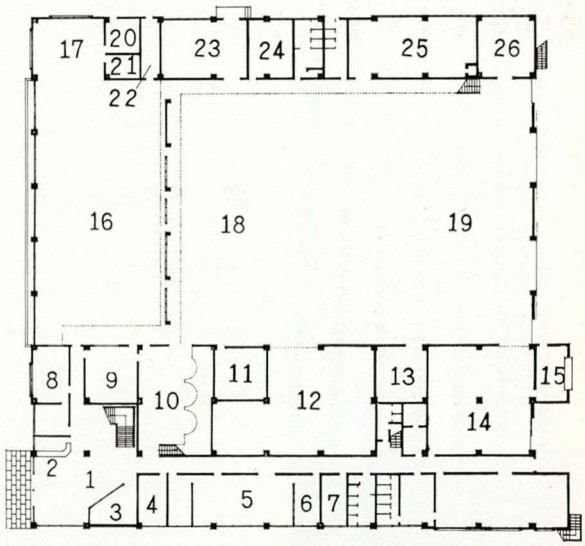
製品倉庫



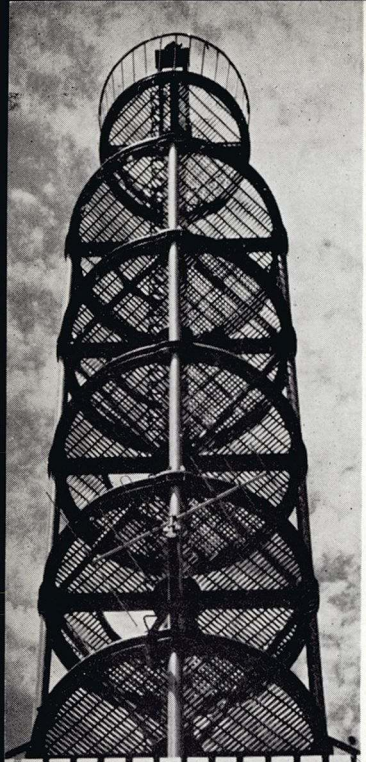
塔　屋
1. 屋　上



2　階
1. ロビー
2. 社長室
3. 役員室
4. 総務部室
5. 講　堂
6. 厨　房
7. 食　堂
8. 廊　下
9. 応接室
10. 観覧廊下
11. 電気室
12. 女子更衣室
13. 男子更衣室



1　階
1. 玄関ホール
2. 受　付
3. 展示室
4. 応接室
5. 営業部室
6. スペシアルイベント室
7. コインセールスマン室
8. 製造部室
9. 品質管理室
10. シロップ室
11. 王冠室
12. 砂糖倉庫
13. 空気調整室
14. 雑品庫
15. 出庫係室
16. ボトリング室
17. 水処理タンク室
18. 作業場
19. 倉　庫
20. ポンプ室
21. 薬品庫
22. 苛性ソーダ室
23. 炭酸ガス室
24. 機械修理室
25. ボイラー室
26. コンプレッサー室



建築の眼

担当：天津　勇
宇野　勇
角橋徹也
吉田　繁

■　建築芸術の偉大

〝世界の文化地理〟という全集の広告が，新聞一頁大のなかに，第一回配本はフランス篇とあってノートルダム寺院の外観の写真三面をあしらって，出た。〝宗教の荘厳〟よりも〝建築芸術の偉大〟によって読者を獲得する計算なのであろう。近頃このお寺がクリーニングされてどういう風に変貌したかは，実物に縁のない人には関係ない。抹香くさい古寺よりは，近代的生産工場の見学を——にもかかわらず，修学旅行のバスは法隆寺へ，唐招提寺へ。〝建築芸術〟がお寺の家庭の事情もあって，心なき落書にもこりず多忙な旅行の行程に割込む。煩らわしさを避けて静かに鑑賞したい人のためには，一揃四冊約十万円の大和古寺の写真集が出版されるという。以上二題，いずれも出版社にソツのあるはずはなく，少くとも古寺には〝建築芸術〟が健在であるらしい。ノートルダム寺院の方は写真で間に合せ，大和古寺の方は実物で我慢して，大いに〝建築芸術〟を味わうことにしよう。

(A1)

■　ある保守の部門

地下鉄の駅施設保守の担当の中で営繕関係は地味な仕事である。華かな新設とか延長の建設と違った営業線であるだけに神経を使う。建設が済めば限られたスペースで，俗に言う（地上施設）増築などたやすくはできないが，乗降客の激増で必然的に施設の改良補修などが運輸関係からつぎつぎと要求される。その中でもホーム，中階，階段の床その他の修理，天井，壁からの漏水カ所，各洗面，便所の設備などの故障カ所の修理，これらは場所によっては深夜の作業になる。短時間で処理を進めなければ営業にさしつかえる。

現場とか駅から「階段で転倒して負傷者が出たり，漏水で被服が汚染された苦情が持込まれたり，また平面出札の窓口の硝子が酔ばらいに破壊された」など，どこかの駅で毎日何にかが起る。限られた人員であってもやはり巡視，調査，判断で適当な処置を速かに行なうことが，事故を未然に防ぎ，与えられた責任を果たすことになる。

(U1)

■　人間さま優先

大阪駅前に大きな陸橋ができた。朝夕には大ぜいの歩行者が高い36段の階段を昇り降りしている。

この11月には，日本一の地下街も完成する。ターミナルにはき出された人々は，陽のあたらぬ地下にもぐらされることだろう。これで歩行者は安全に歩け，車はよどみなく流れると思って安心していいだろうか。

高いところを昇ったり降りたりすることは，人間の自然な動線の論理に反することだ。真直ぐ歩けるものをやたらに上り下りするのは疲れるものである。それというのも，自動車が都心の奥深くに侵入し，人間さまをけちらかしはじめたからであろう。しかし少くとも人間が沢山あつまるターミナルのようなところでは，もっと歩く人の方を大切にしてもらいたいものだ。ターミナルの周囲数百メートルのところには車を全然入れないか，いっそのこと車の方を地下へほり込んでしまいたいくらいだ。

そうすれば，人間さまはまるでリスみたいに，キョロキョロ，セカセカしないでのんびりと歩くことができると思う。

車のために，人間があまりにも粗末にあつかわれているのは耐えられないことである。

(KT)

■　静かなる犯罪

婦人の〝ハンドバッグ〟は一年，紳士の〝ネクタイ〟は二年にして廃物となり，自動車は四年にしてオールドタイマーとなるほど流行は速い。いやな物は廃品とし，いやな絵は物置に眠らせもできよう。しかし建物は残念ながら不便である。好むと好まざるとにかかわらず，何時までも衆目にさらされるからだ。

陸屋根→シャーレン→シエル→サスペンションへと技術が進歩しても，合繊が天然繊維を不用にしなかったごとく，おのおの生きる場所と道を持っている。建築は設計者自身の生命であって，機能と技術と芸術の集約であれば，安易な模倣や流行ではあり得ない。世の大胆な建築家が流行を追って流行に溺れ，単なる思いつきや，鳥まねの駄作を，しかも他人の巨額の犠牲が半永久に残すのは，「静かなる大犯罪」である。

それにつけても，飛鳥より戦後までの数少ない各建築に触れるときは，懐しい親友か先輩に出会ったような気がする。

(YS)

本号と次号は左記の執筆者が担当します。



日本住宅公団大浪橋分譲施設付市街地住宅

設　計　田中・小西建築事務所

所在地	大阪市大正区三軒家浜通り3-1-6
敷地面積	2,008m²
建築面積	1,360m²
延面積	10,579m²
構造規模	鉄筋コンクリート造地上10階，塔屋2階
竣工日	昭和38年9月12日

施　工　株式会社　鴻　池　組



田辺製薬第二製剤工場

所在地	大阪市東淀川区加島町962
敷地面積	約 3万2千坪
建築面積	2,041m²
延面積	12,448.8m²
構造規模	鉄筋コンクリート造地下1階，地上6階
竣工日	昭和38年7月31日

設計施工　株式会社 竹中工務店



論説 1

1. 「装飾的近代」の展開
   現代建築と「機能主義」の超克
2. 芸術的綜合としてのゴシック聖堂
   現代建築における綜合的芸術観の反省のために
3. 建築と諸美術
   その協同と統一の条件は何か

「装飾的近代」の展開

——現代建築と「機能主義」の超克——

向井　正也

〝ブランクな壁は，死んだ，アノニマスな表面だ。
彩どられた壁こそは，生きた要素となる。〟
——フエルナン・レジエ

〝建築に立向おうとするものは，確かな腕のある造型家，
鋭どい芸術の鑑定家たることを自負する人である。〟
——ル・コルビュジエ

1. 何ともはや，平家の公達でもあるまいが，近頃では男の子の化粧セツトまでが売出されるという御時世である。「いいカッコ」などというコトバが流行ることからでもわかるように，世はあげてネコもシャクシもオシャレに余念のない，いわゆる「デザイン時代」である。

森羅万象とは少々オーバーないい方だが，少くとも人間の造ったものなら一応は何でも，大なり少なりこのオシャレ・ブームに乗せられる以上，建築とてもむろん，その例外であろう筈はない。人間と同じくタテモノだって，そのキモノの柄（パターン）だの，色（カラー）だの，織目（テクスチュア）などが重大な問題となって来る。日本にも，村野藤吾のような「建築のキモノ」の織や柄をつくる名手も居るが，そんなのは例外で，大方の建築家はこの方面には至って不案内な人が多く，そこはそれ，モチはモチ屋とばかり，その筋の専門家——美術家の協力が必要となって来る。

だがそこまで大層にせずとも，「いいカッコ」をするためにはいろいろの手がある。昔から日本の建築にも，さまざまな，「化粧」と称する装飾的手段があった事は周知のとおりだが，これはむしろ身だしなみ程度の奥ゆかしさで，もう一つ目立ぬものでしかなかった。大体オシャレとは，自分よりも他人の目を惹くためのものだから上のような単なる「見かけ」よりは，更に積極的に「見せかけ」を重視することになるのは当然である。そしてその最もてっとり早い方法とは，いう迄もなく色彩である。だが色といっても目立たぬ地味な単色では駄目だ。目もあざやかな，とりどりの色彩計画（多彩色（ポリクロミイ））こそ，洋の東西や，人と建築に論なく，およそ装飾的手段の第一歩であった事に異論はなかろう。

2. 20世紀後半に入ってから，われわれは今日，近代建築の上にいちじるしい多彩色（polychromy）の時代をむかえたが，これこそ，直角と直線とモノクロームによっ

て象徴される，今世紀初頭の20年代の単純，無装飾をモツトーとする，いわゆる機能主義時代たる近代主義の前期（the early modern）から，その後期としての，造形主義，或は装飾主義への傾斜としての新段階（the new modern，或は the ornamented modern とも呼ぶ）への移向を示すものに他ならない。「多彩色」への変化は，実に多くの面で「機能主義」時代の初期の原理と矛盾する諸要素を含むものとなった。W・グロピウスは，1953年，イリノイ工科大学（I. I. T）での，その70才誕生祝賀の記念講演会で，アメリカにおけるバウハウス運動の今後のあり方を，特定のイズムや様式にしばりつけられた窮屈なものにしたくないと，その発展の多様化をみとめ，その事を、彼の名を印した一本の樹に，いろいろの色や形をした鳥が自由にさえづりにやって来る事にたとえ，往年の合理主義者，国際主義者としての彼に対する世評を，この際一掃するかのようにこうのべている。「私が小供の時，私の家族はよくからかって私に，一体どの色が好きなのかとたづねたが，その時私はすこしちゅうちょした後こう答えたものだ。『多彩色こそ私の好きな色です。』("Bunt ist meine Liebljngsfarbe") ここには，決して全面的とはいえないにしても，グロピウスの，「装飾的モダーン」という近代建築の第二段階の新らしい情況への何らかの適合，或は妥協が見られるように思われる。事実この講演の他のところで，彼は前期における国際主義の主張と全くうらはらの，個性だとか伝統などを尊重する地方主義（Regionalism）に同調する迎合的態度を明らかにしている。

3．一方，ル・コルビュジエも，近代建築の開拓者の一人として，よく機能主義の系列の中で十把一からげに論じられたりするが，建築家であるとともに造形芸術家であり詩人でもある彼を，「形態は機能に従う」式の素朴な機能主義で割り切ってしまう事が不可能な事はいうまでもなかろう。もとより彼も後期への発展過程の中で大きな変貌を示すのは事実であるにしても，彼が20年代のはじめから作品面のみならず思想の上でも建築の造形性にかなりの重点をおいていた事は注目すべき事実だと思う。よく彼は「住宅は住むための機械である。」という一語の為に，無責任な一部の建築ジャーナリズムをとおして一般に機能主義者にまつりあげられて来たのだが，このコトバを述べた同じ著書の中で次のように述べている事は見逃すわけには行かない。「建築とは自然の材料を，人間の心をゆるがす相互関係に変更することである。建築は効用性の問題を超越している。建築とは造型的形態の問題である。秩序の精神，造形意志の統一，比例に対する感覚。建築は量を扱う。熱情は死せる石によりてドラマを造りあげる。」（ル・コルビュジエ：建築芸術へ）これだけを読んだら，このコトバが1923年当時の「機能主義者」の発言とは到底うけとれない。だが，そうはいうものの，これはやはり，あく迄も20年代の前期の近代主義的思考の枠から一歩も外に出るものではない。ここには何よりも，後期的特性たる広義の装飾主義を許容するどのような意味も見出すことは出来ない。いいかえれば上述の象徴的ないみでの，「多彩性」に何一つ触れるところがないのである。事実コルブが，「多彩性」に注目すること，いいかえると，その建築創造面に何等かの装飾的意図をはっきりと盛込むようになるのは，彼が20年代はじめのレスプリヌーヴオー運動で協同した，ピユーリズムの画家，Aオーザンファンの，あの静的（スタテイツク）でモノクロームの芸術から離れて，やがて，より動的（ダイナミツク）で多彩なF. レジエの絵画の影響をうけるようになる，大体に云って40年代に入ってからの事だといえる。1955年彼は P. Damaz の「諸芸術の綜合」の序文の中で，「多彩性」を既に建築芸術における前提の一つ（幾何学や光線などと同様）になってしまったと認めているが，この事はとりもなおさず．彼が建築と絵画と彫刻という3

つの主要芸術 (the 3 major arts) の綜合を必須要件と考えるに至ったことを示すものに他ならない。この序文のおわりに彼はこうのべている。「私は自分の全生涯が芸術の非常に特殊な造型的形態によって活気づけられ，心がみたされ，夢中になってやって来た事実を，読者にお知らせすべきだと思います。この事に関して，私は決して軽卒で粗雑な行きずりの旅人ではなかつたのです……」

4. 近代建築はもとより，近代絵画や彫刻と，発生以来決して無関係ではなかつた。それどころかS. ギーデイオンも述べるように，近代絵画は近代建築に進むべき道を示したとさえいえる位で，ある面でそれは「絵画から建築へ」と発展した事は上述のル・コルビュジエの運動はもとより，オランダのスティール派や，ロシヤの構成派の場合についても，ひとしくいいうる事実である。このようにして20年代のいわゆるヨーロッパの機能主義の建築は生まれたのであるが，それらは決して建築と諸芸術の「綜合」の上に成立したのではなく，むしろ「転化」の上に成立したといえる。御承知のように当時，建築へと「転化」した，諸芸術，特に絵画は，P. モンドリアンやK.マレウイッチの芸術などにあきらかなように，立体派からみちびかれた，高度に幾何学的抽象の度の強い，いわば，「建築的」な絵画（非形象絵画——non-figurative painting）であった。そうなればこそ，その建築芸術への「転化」も容易だったともいえるのだが，かように，建築と芸術が同一の形成原理に支配されていた事が，「機能主義」の時代の建築に「綜合」をもたらさなかったと考えうるが，一面，機能主義理論にふくまれていた，装飾の拒絶 (proscription of arbitrary decoration) もまたその重要なフアクターとして見逃し得ない。

5. このようにして，40年代に入ってようやく，ヨーロッパやアメリカで，何よりもまず壁画の形をとった，「綜合」の実例が数多く見られるようになるのだが，これは一つには，そこで協同する絵画が，20年代とは異なり，主としてそれ以後おくれて発展する，有機的，人間的な，やわらかさやあたたかさをもった，非幾何学的抽象であって，決して建築と同一の形成原理に支配されぬ，いわば「絵画的」な絵画であった事によるが，一方この時期になると，上記，装飾の禁止等で，建築家の行為をしばっていた。機能主議的な規制の枠がゆるみ，造形の自由度が次第に大巾に増大しはじめる事にもよると考えてよかろう。ここでも綜合へのうごきは機能主義の発展——克服と何らかの関連を見出しうるわけなのである。上述のように，コルブの絵画はようやく30年をこえると，初期のピユーリズムのかたく，冷たい抽象から離れて，やわらかく，あたたかい有機的なフオルムへと転ずるようになるが，この事は同時に彼が自らの絵画を建築造形の中に綜合しようとする試みの開始と時期的に殆んど一致するのである。そしてこれとともに彼の建築自体も初期の軽々とピロテイにささえられたハコ (box) から，ドッシリとした重厚で彫刻的なものへと漸次的な変化をたどるようになる。このコルブに代表される近代建築の状況の変化を，S. ギーデイオンは，「合理的機能的なものから，思い切って非合理的有機的なものへの飛躍の可能性」においていわゆる「有機化」の過程としてとらえているが，こうした過程の進行は，やがて，当時の指導的建築家や理論家達を，ようやく近代建築の次の新しい発展段階についての予測やらアプローチやらに駆り立てることになる。これが本格化するのは主として第2次大戦の終了する1945年以降の事だといえるが，こうした，いわば「有機化」のジヤスティフィケーションは，何よりも20年代の機能主義理論の大巾な修正或は拡張

をふくむものであった事はいう迄もなかろう。

そうした理論活動の主要テーマは，今日当時の状況を回顧すると，大まかに次の2つの項目として浮き上って来る。一つは「新しい記念性」の問題であり，他は建築と主要芸術との綜合の問題である。両者はむろん切り離すべき性質のものではないが，こうした問題についても，S. ギーデイオンは他に比肩すべくもない，優れた理論的指導者だったといえる。戦後の「新記念性」の論議は彼の英国王立協会での講演（1946年9月）によって口火を切られ，それはやがて，アーキテクチュラル・レビュ誌の有名な誌上シムポジゥム「新しき記念性の探究」（1948年9月）へと発展するのだが，この方の事はしばらくおくとして，一方，「綜合」の問題についても，ギーデイオンは上とほぼ時を同じくして活パツな運動を展開はじめる事は，現在におけるその結実とあわせ考えて，注目に価するものといえよう。

6. 1947年3月プリンストン大学での200年祭記念の15の連続会議の中に「人間の物的環境の計画」というのがあった。会議の出席者は，ギーデイオンなどのような美学者や心理学者，歴史家などに加えて，近代建築のほとんどすべての巨匠達が含まれていたという。F. L. ライト，W. グロピゥス，ミース・ファン・デル・ローエ，A. アールトォ，ジヨゼ・ルイ・セルト，R. ノイトラ…。各々12分間のスピーチしかゆるされなかったし，会議のとりまとめだとか，提案の公式化なども禁じられ，単なる意見交換だけに限られてはいたものの，ここでの講演は「その後の時代の思考と行動に疑いもなく影響を及ぼした。」（ギーデイオン）といわれる。ギーディオンが，この会議で行ったスピーチは，「美的価値の力」というのであったが，彼はこれに関して次のように述べている「美学の衝撃力の問題に触れるや否や，別の問題がおこってくる。それはやや微妙な問題であり，建築家，画家，彫刻家のあいだに存在しうる接触——協力——に関するものである。建築家は今日自給自足ではない。もっとも昔は建築家が画家と彫刻家に密接に結びついており，優れた建築家はしばしばすべての才能を一つの人格のなかに結びつけてもっていた。今日の問題は，計画をそもそもの出発のときから始めらるべき協同がないことである。プリンストン会議の直後，私はその問題に懸命にとりくんでその年の秋に開かれる予定の CIAM 第7回会議にそれをもちこむ事に決意した。」（生田勉訳）

7. かくて，1947年9月，イギリスのブリッジウオーターで開かれた，戦後最初の CIAM で，討論のテーマとなったのは他ならぬ美学的問題であった。端的に云って20世紀の2つの世界大戦は，近代建築の形式的ならびにイデオロギー的発展の過程を2つの色合にそめ分けているといえるが，その色合いの変化がようやく見えそめたこのあけぼのの時期に，こうしたテーマが議題に上った事は，その後の近代建築の発展から見て，きわめて象徴的な意味をもつ出来事のように思われる。ギーデイオンはのべている。「CIAM は水平線のかなたに姿を現わしたばかりの問題に関心をもっている。たとえば1928年には建設方法の工業化に関心をもった。次には標準化，それから現代都計画の発展がテーマであった。いまやわれわれは意識的に次の段階，どちらかといえば漠としたテーマである「美的問題」いうなれば情緒的表現に取りくむに至った。」（生田訳，傍点筆者）ここにはギーデイオンの，いわゆる「非合理的，有機的なものへと向う，近代建築の第2段階への指向の明らかな示唆がうかがわれるが，思えば，第10回にして幕を閉じるに至る CIAM が，その半ばを過ぎて，ここにようやく，それ迄の一貫した理論的体制の上に一条の致命的な亀裂を見出したわけである。。

人間の情緒にからむ，「漠」としたテーマが，一体討論のマナイタの上に乗せられうるものかどうか？ギーデイオンはここで，大科学者で哲学者である。A・ホワイトヘッドやH.リードの理論などを援用して，これを正当づけようと試みているが，そもそも彼のいう「美的，および精神的価値を前提とする，人間環境の実利的ならびに機能的価値以上のものの追求」が理論そのものからみちびかれたものではなく，現実の形式創造面での変貌の兆候に即応し，それを理論的にジャステイファイしようとする意図をふくむものである以上，20年代の「実利的，機能的価値の追求」との間に越えがたい深淵をつくる事は勿論，一方においてますます急激に発展する，その後の近代建築の造形主義，或は装飾主義への急傾斜の現実にも追つき得ないのは当然といえよう。この事を何よりも雄弁に物語るものが他ならぬCIAMの終幕（1956）なのである。それは又約半世紀における近代建築運動のあるいみでの終末を意味するものであったとも考えられる。

8．大へん理屈っぽい話になってしまって恐縮だから，この辺で打切りにしたいのだが，実は問題はこれから先の事なのだ。一体「機能主義の超克」とは何を意味するのだろうか。近年よくこうした超克だとか克服だとかが，単に言葉の上だけで安易にとなえられるのを聞くが，大体「機能主義」そのものの解釈がまちまちである上，たいていはほんのお座なりのものである事から考えても，その「超克」なるものも，本質的には，きわめてあいまいな場合が多いように見うけられる。ここでその点について詳述する余白はないから他にゆづるが，ただ一つ注意すべき事がある。「機能主義」がどれほど把え難い，多様な解釈が行われうる，マボロシのようなものであるにしろともかくもこれは20世紀の近代主義建築の指導的理念であり，美学であった。だからこれをのり超え，これにうち克つということは，とりもなおさず，近代主義の超克をいみすることになる。果してそれだけのものが今日実現し，あるいは，しつつあると云えるであろうか。広大無辺の大宇宙を自在に飛びまわっているように思いながら，その実オシャカ様の掌からすこしも外に出てはいなかった孫悟空のタトエ話のように，機能主義の克服をスローガンにかかげ，あの手この手と，新しい実験を試みている近頃の建築家達も，客観的に眺めた場合，どこまでも，近代主義の枠の外へは一歩も出られないでいることが，その殆んどのように見うけられる。

もっとも，この半世紀にわたる近代建築の発展の上に生じた，イデオロギー的に反近代主義の建築の諸流派については話は別である。30年代に入って間もなく近代主義と袂別するソヴエトの社会主義レアリズムだとか，ナテス・ドイツのフアシズムの建築などは，もとより明らかに，機能主義の崩壊の例と考えられようが，そうした社会思想の問題にからむものではなく，単に形式原理や設計の方法論など，表面的な理由から，近代主義に反旗をひるがえしたかに見える。北欧の「新経験主義」だとか，アメリカその他の一連の「地方主義」などは，近代建築運動の上からは，離反，逸脱の現象とは考えられはしても，決してその本質からの全面的な否定の上に立つ革新すなわち「超克」とは考えられないのではないか。

9．だが，そうはいうものの，ここ数年来の現代建築の一般的な状況は，あるいみで近代主義の終末あるいは終末へ向う末期的現象を示すものとも考えられぬでもない。

そうした近代建築運動の大きな曲り角を示す道標は，1956年，第10回でのCIAMの終幕であった。ここに20年代以来の指導者，開拓者としての巨匠建築家達並びにその理論家達の使命は一応おわったと一般に見られる。このことは一面では近代建築の勝利或は確立ともとり得るものであるが，それは，近代建築の指導理念たる機能主義の確立の上にではなく，その崩壊の過程の上にもたらされたものであることに注意すべきである。CIAMの終幕とともに，近代建築運動は次の世代の指導的建築家や理論家の手によってやがて，全く新しい局面への展開が予測される。そしてこれらの新運動の担い手達が，理論と実施のいずれの面にしろ，機能主義をのりこえようとする姿勢をいちじるしくしている事にかわりはない。CIAMを解消させた張本人たるイギリスのP.スミッソンのとなえるニュー・ブルータリズムをはじめ，これとイデオロギー的に類縁関係が濃いとみられる，アメリカのルイ・カーンのいわゆる・アクション・アーキテクチュア，更に1960年世界デザイン会議（WoDeCo）を契機として，これらとのむすびつきを強めた日本のメタボリズムのグループとそれに連る一派の運動などは，この50年代の後半以来の機能主義超克の理論的活動の急先鋒の観があるがそれらの一連の粗放で荒ケヅリな彫刻的形式に対立して，わが国では殆んどその系列のものはないが，一方これとは水と油ともいうべき繊細で優雅な装飾主義をタテマエとする，アメリカのM・ヤマサキや，E.ストーンなどのいわゆる「ネオ・バロック」が、あなどりがたい潜勢力をひそめているもののようである。だが50年代より60年代へとかけて今や現代建築の状況は上のようなイズムの対立関係やら，形式上の類型などによる系列化をますます困難ならしめる，多様化の様相を帯びるに至った。理論的にも形式的にも一人一党の自画自讃的テンヤワンヤの混乱状態が現出しはじめたのである。R.ボイドはこれを指して，ワンマン・アヴアンギャルドのねずみ競走と皮肉ったが，T.E.クレイトンなども，この状況を「混乱或は混渾」（"Confusion" or "Chaos"）なるコトバで何とか把握しようと試みたりしている。だが，これらがいかに混迷の度をふかめようと，それらはただ一つの共通の原理によって支配されている。それは他ならぬ装飾主義という「オシャレの原理」である。ブルータリズムがいかにコンクリートの残酷ムードを強調しようと，それは戦前の高等学校の生徒の弊衣破帽の蛮カラと同様，その出発点はやはり，オシャレでしかあり得ない。そして，一概にはいえぬにしても，「建築と芸術の綜合」に一番積極的な熱意を示すのもこうしたタイプの建築家であるようだ。一般にブルータリズム系の建築家の特徴の一つは，その実際の創造に先立つ難解精緻な設計理論の体系化にあると思うが，こうした理論が共通して案外に説得力に乏しい原因も，やはりその基盤としてかくされた，広義の装飾主義にあるようだ。元来装飾という，衝動に発した芸術作品については，問答は無用である筈だ。それを何とか理論でいいくるめようとする処に無理があり，それがその理論を空転させる結果となるように思われる。

20世紀後半に至って，今や近代建築は，あらゆる前期的様相を抛って，第2の，そしてこの社会に固有の，本来的な建築的状況たる広義の折衷主義（Eclecticism）への道をまっしぐらにたどろうとしている。この道には理論もなく，モラルも，社会的理想も，目標もない。あるものはただ広義の装飾というオシヤレの道だけである。かくてこそ，「装飾的近代」は建築の上に全面的に展開されるのである。

芸術的総合としてのゴシック聖堂

——現代建築における総合芸術観の反省のために——

京都大学教養部

前川　道郎

何らの象徴的意味をも失ってしまった装飾への固執に叛旗をひるがえして，一切の装飾からの解放に始まった近代建築運動は必然的に機能主義建築へと展開した。しかしその運動もとりわけ第二次大戦後，物質文明による人間性の喪失という悲しむべき現象に対する反省を反映して，ようやく人間性の回復を目ざすいくつかの建築思潮へと移ってきた。その一つが建築と諸芸術の再総合という試みであろう。

歴史上において優れた建築が建築それ自体のみで芸術として存在したことはほとんどなかった。偉大な建築は常に確固とした精神的理念のもとに，そしてしばしば絵画，彫刻，装飾紋様その他の諸美術，そして音楽とさへ協和して，一つの総合芸術を形成するのが常であった。ここでは人間中心的思想の芸術的頂点であるギリシャ芸術と対極的な地位を占める芸術，すなわち神中心的思想の芸術の最高峰をなすゴシック芸術に関して，この芸術的総合の問題を展望し，現代の芸術的総合態度の反省のための資としたいと思う。

ゴシックとは何か

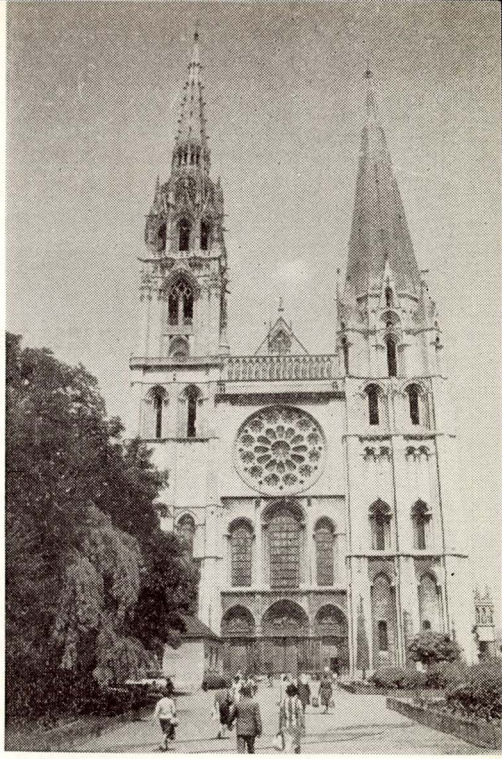
ゴシック芸術という呼び方は極めて漠然とした概念である。時と所を限定する歴史的，地理的分類として，それは12世紀後半から15世紀頃に至る西ヨーロッパ芸術の全体を指すこともある。あるいは一つの形式（または様式）を意味して19世紀のネオ・ゴシックまでも含めることもある。このような命名法は，その芸術的理念の如何にかかわらず単に同時代，同場所ということ，あるいは同一技法，同一形式ということにおいてのみ統一されるに過ぎない。芸術の本質は技法や形式ではなく，その理念にあることをさとるならば，芸術の本質を探るためには，このような分類は当然不適当であろう。

いまここでは，対象をいちじるしく限定して，1240年のパリ北郊サン・ドニの修道院長シュジェールによるその教会堂の西正面落成の頃から，13世紀中期の名建築家ピエール・ド・モントローによる同教会堂身廊部などの完成の頃に至る百余年間の，そして，イル・ド・フランスといわれるパリ周辺約100マイルの地域——すなわちゴシックの新しい芸術理念の発端から古典的完成に至るまでの時と所——におおむね限定して考えてみたいと思う。そしてロマネスクというときには，大体11世紀頃より初期ゴシックに至るまでのフランスの地の芸術を指しているものと考えていただきたい。（このことはもちろん後期ゴシックやドイツ，イギリス，その他の諸国のゴシックを否定することを意味するのではない。）

教会堂とは何か——その象徴的意味

ゴシック芸術について語るためには，まず，中世の人々にとって「聖堂とは何であるか」を語らねばならない。なぜなら，中世のキリスト教々会堂は仏教寺院とはいちじるしく異なった象徴的意味をもっていたからである。それはただ地上の人間がそこで神を崇める場ではなかった。それは地上に具現された神の国であったのである。神の秩序の世界は天上では精神で構成されているのであるが，地

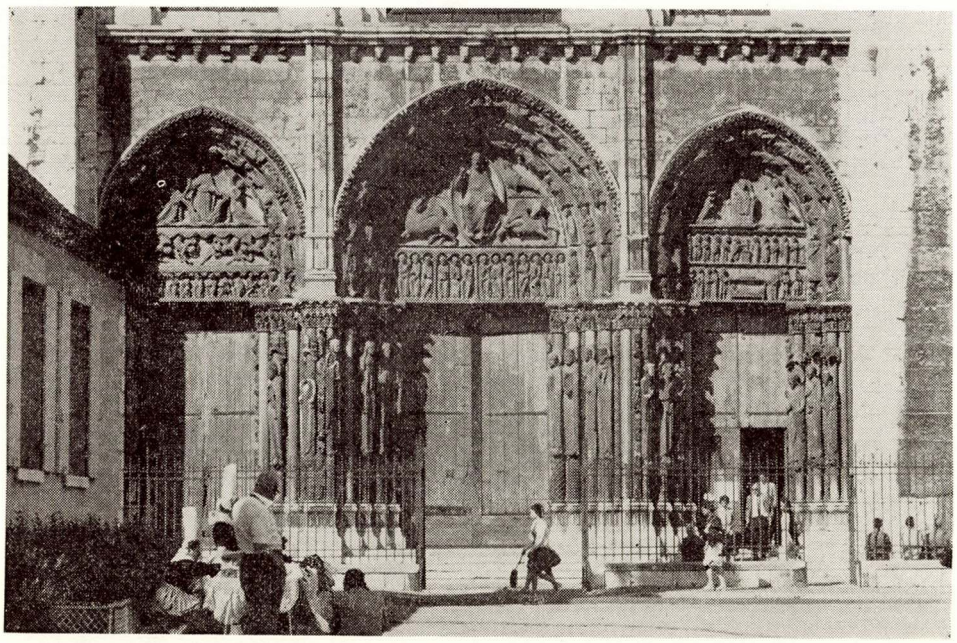
上の聖堂は感覚的物質で構成された「天上界の可視的イメージ」であった。人間の感覚には知覚され得ない「天の国という超越的実在の地上的シンボル」であった。だがここでシンボルという言葉の意味に誤解があってはならない。中世人はとりわけ宗教生活において，肉体的な眼で聖なる実在をみようとしたのであり，可視的なものは常に不可視的なものの反射に過ぎなかった。彼らは，地上の物質的世界が究極の非物質的な超越的実在のシンボルとしてのみ存在すると考えたのである。ちょうどイエスという歴史上の人物がキリストとしての神そのものであったのに似て，比喩的な意味においてではなく，実在的な意味において，地上における教会堂が天上の神の国そのものであったのである。ゴシック建築の父といわれるサン・ドニ修道院々長シュジェールも「神の国のイメージとして地上に建てられる聖堂は神の栄光のために可能な限り豊かな物質的手段によって直接人間の感覚に働きかけながら，しかもそのような物質的手段が神の秩序や調和を映す地上の秩序と調和という手段で統一されることにより地上の物質性がアナゴジカル（神秘的）に天上の非物質性にひきあげられ，地上の聖堂を天国にすることができる」と考えていたようである。



① シャルトルのノートルダム大聖堂西正面
主として12世紀末。左の塔の尖塔は16世紀初頭。なお身廊や内陣は13世紀前期，盛期ゴシックのはじまり頃。

神学の芸術的反応——ロマネスクとゴシック

しかし，このような観念はゴシック時代特有のものではなく，中世初期以来次第に形成されてきた神学的宇宙観にもとづくものであった。したがって12世紀以後のゴシックの神観はそれ以前のそれと基本的にはあまり相違がないのであるが，その神学の地上的諸問題に対する適用と解釈は当然移り変わるべきものであった。たとえばロマネスク期の神は絶対者としての峻厳な神であったが，ゴシックではそれは愛に満ちた「美しき神」へと変容してゆく。まして芸術というものは，神学や哲学あるいは形而上学から直訳的に，また一義的に生起するはずのものではない。教会堂は——たとえ神の意志が人間の手を通じて地上に具現せしめたものであったとしても——あくまでも人間の創造物である。人間の創造的精神は神の絶対的理念に対しても多様に反応する。ここにカトリック芸術の様式的多様性も生ずるわけである。それはロマネスクにはロマネスクのフォルムを与えたが，ゴシックにおいて



② 同正面扉口の「王の門」

史上無比の宗教芸術を生み出したのである。そこで芸術的総合としてのゴシックを理解するためにはそれと同じ精神的理念の異なった，そしてまた優れた反応を示したロマネスク芸術と詳細に比較することが望ましいわけである。この小論では簡単に両者を対比しながら，ゴシックの特質のいくつかを拾ってみたいと思う。

ゴシック建築の非物質性と視覚論理

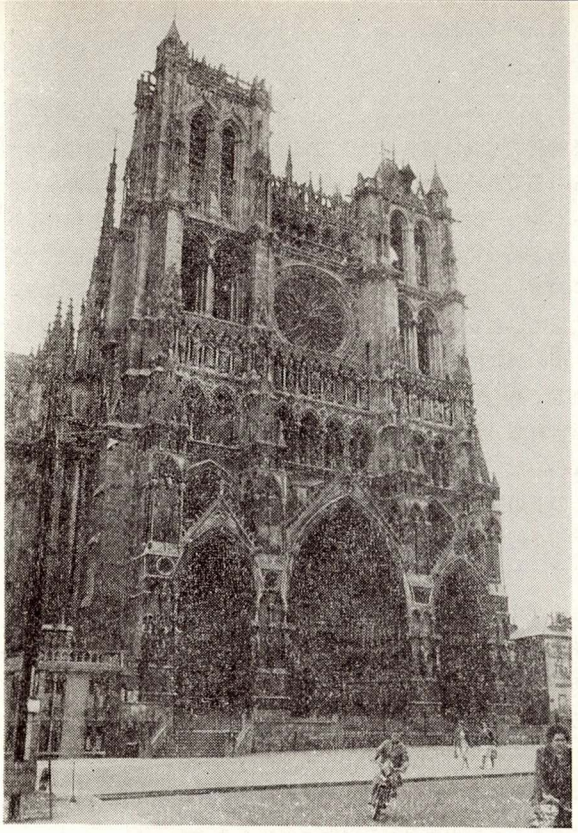
ロマネスクの教会堂は重くて厚い石の壁で囲まれて，地上にありながらその環境とは厳然と隔離されている。堂内は外界から，外界は堂内と，完全に遮られている。両者を結ぶものは，恐ろしい，あるいはいかめしい聖像や怪獣に守られた小さい扉口と，採光のために壁に穿たれた小さな窓ばかりである。ところがゴシックでは石の壁面は可能な限り排除される。しかし，それは壁であったところが開口になるのではない。そこはすべて絵ガラスの窓で埋められる。この窓は開口ではない。それはあくまでも壁である。現代風にいえばカーテンウォールである。しかも，その厚さ数ミリメートルのカーテンウォールは，現象的には何メートルもの厚さの石壁よりもなお強烈に堂内を外界から隔離する。ゴシック建築の堂内に立てば，何人も外界を意識することはできない。そこでは天界が深く人間の魂をひきよせるのみである。しかも，そのカーテンウォールは外界からみれば，構造体である石の枠の間にたくみにはめ込まれた単なる薄くてもろい窓ガラスに過ぎないのである。広くて深く設けられて人間を神の国にいざなうような扉口と相俟って，そこでは人間は容易に天上界に近づき得るが，天上界に足を踏み入れた瞬間に地上界は消滅してしまうのである。これほど驚くべき現象が存在し得るだろうか。

その秘密はどこにあるのだろう。それはロマネスクとゴシックにおいては内外の隔離の論理がまったく質的に異なるというところにある。前者は材料の物理的な性質を利用して物質的に隔離する。だが後者は精神的なものを反映することによってガラスをガラスでなくしてしまう。ガラスを非物質化することにより生ずるガラスの精神的意味を利用して隔離する。

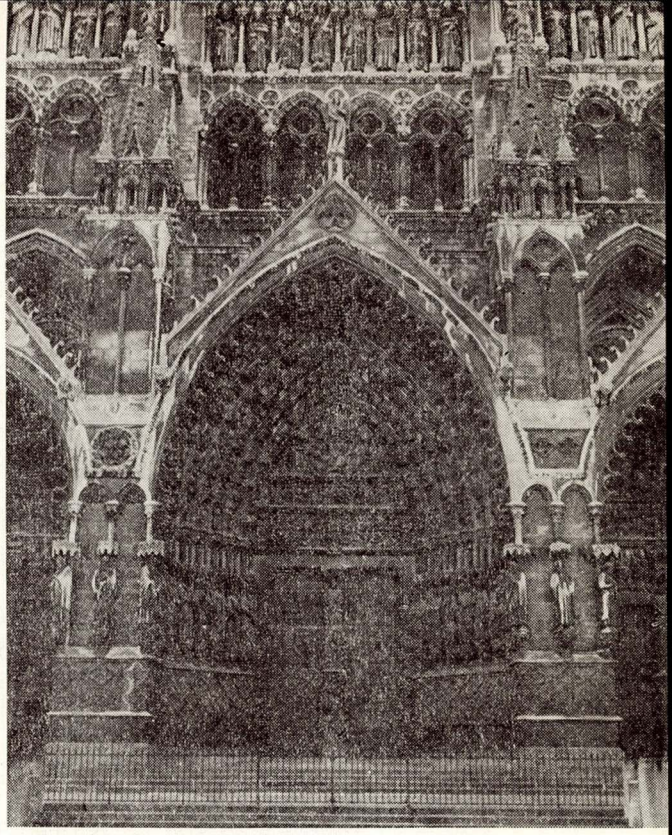
絵ガラスの問題は後にゆずるとして，石そのものに注目しよう。ロマネスクの石壁はその物質性を誇示している。石はその重さを誇ることにより堂内の超越性に参与している。ゴシックは石の物質性を否定する。石の骨組構造が百数十メートルの高さにまでも至る。石が石の重さを失う。石のメイソンリは知覚されない。石が石であることを否定する。ロマネスクの仰高性はあくまでもその物理的な高さに頼った。だがゴシックは非物質化による仰高性の追求である。ロマネスクの柱はキャピタルをもつ。リブやアーチはキャピタルに根をおろす。石の物質性を肯定した原理である。他方ゴシックでは，ついには交差ヴォールトのリブは複合柱のつけ柱へと視覚的に一線につながるに至る。ロマネスクは物質的に支持する構造であり，ゴシックは力を視覚的な線として表現する。それは力の抽象的な視覚論理，幾何学的視覚論理である。この視覚論理は神学的宇宙論を反映して教会堂全体の構成を決定している数学的，幾何学的秩序と調和という原理と相俟って幾何学的機能主義と呼ばれることもある。それはもちろん現代的意味における機能主義ではない。視覚論理が宇宙の秩序と調和を映しながら，石の非物質化を通じて地上の人間を天上に導き地上界を天上界に変容せしめているということである。これはゴシック建築の空間構成の中心テーマであるが，ここでは詳述を避けて，ただ建築の非物質性とその視覚論理を指摘するにとどめたい。

ロマネスクの芸術——彫刻

ロマネスクでは石の面が絵画，彫刻の舞台である。壁画の多くは現存しないが，堂内の壁面は色彩豊かな壁画で埋められていたようである。彫刻にとってはロマネスクの教会堂はいまなお宝庫である。シュジェールの知友でもあり，禁欲主義のリーダーであるシトー派の聖ベルナールは彫刻のあまりの豊かさに1124年頃の手紙でつぎのように警告している。「あの奇妙な怪物，あの麗しい醜，あの醜くい麗は何の利益があるのか。不潔な猿，荒々しいライオン，怪奇なケンタウロス，半人半獣，縞のある虎，戦う騎士，角笛を吹く狩人などは一体何のためなのか。……さまざまの形態の変化があまりにも多様であまりにもすばらしいから，書物を読み神の法を瞑想するよりもこれらのものものに驚



③ アミアンのノートルダム大聖堂西正面
主として13世紀前期ないし中期。右の塔は14世紀。左の塔は15世紀初頭。デイテールの彫刻は後補も多い。



④ 同正面の中央扉口

嘆して，一日中を費してしまいたくなるような誘惑にかられる……」。

ところでこのロマネスクの彫刻は人像も動植物もその他の抽象紋様も一様に建築によって規定されている。それは建築の与える枠組に適合させられている。いわゆる「枠の法則」である。ヴェズレーの聖マドレーヌ聖堂のナルテックスに威容を示すキリスト像の名作に代表されるように，玄関廻りは完全に建築的枠組に従属することによって建築と見事に調和している。一方，柱における彫刻の取扱いにおいては，アーチの重量をうけるキャピタルは視覚的にその物質性を強化するために豊かな装飾で飾られ，柱身そのものも同じ原理にしたがう。（ロマネスクの建築彫刻のくわしい原理については「講談社：世界美術大系・フランス１」所載の柳宗玄氏の解説を参照されたい）

ゴシックの絵ガラス——堂内の光——非物質性

ところでゴシックではどうだろうか。ゴシック建築は石の壁面をその極限まで排除しようとする。そこで絵画，彫刻の舞台は限られてくる。幾何学的視覚論理は，とりわけ堂内からほとんど完全に絵画と彫刻を追放する。代って主導的地位を占めるのが絵ガラスである。絵ガラスは先にも述べたように開口ではない。それは光を通す壁である。そこには，神学的，図像学的原理にしたがって，すなわち天上界の秩序原理にしたがって，各種の図像が配置されている。なるほどそれは文盲者に対する画かれた聖書であったろう。だがそれ以上に，それは堂内にあの「神秘な光」を満たす光の根源であった。それは自ら光り輝く聖なる壁であった。中世の神学によれば，神はあらゆる光の中の光，光の父であり，すべての可視的なものは，神の光に照らされることによってのみ存在することができるのであり，神の光のみが地上の物質的なものを天上の非物質的な精神的な実在のシンボルとすることができると考えられていたのである。

この天上の光は，ロマネスクでは金色を始めとし豊かな色彩においてその壁画や彫刻などに反応したのであるが，ゴシックではそれが絵ガラスにおいて多彩な輝きをもった天上の光として現象するに至ったのである。初期ゴシックの絵ガラス（その頃のものがもっとも神秘的な美に満ちているのであるが）のほとんどを保存している唯一の大聖堂であるシャルトルのノートルダム大聖堂に一歩足を踏

み入れるならば，その絵ガラスの発する神秘的な光に包まれた堂内で，人はあらゆる世俗的なものから解放されて，魂の奥底まで感動させられるであろう。あるいは盛期ゴシック13世紀中期の聖ルイ王の宮廷礼拝堂であるパリのサント・シャペル（一説によればサン・ドニの建築家として高名なピエール・ド・モントローの作であるという）の宝石の箱の内で，人は神の愛に包まれて至福の幸福感にひたらざるを得ないであろう。13世紀中期のゴシック建築の古典として建築的にはその視覚論理の頂点に達しながら，古い絵ガラスを大部分失っているランス，アミアン，サン・ドニ（身廊部）では建築的緊張感の偉大さに驚きながらも，なお魂の真底に触れるものに何か欠けるのを体験したならば，一層絵ガラスのもつ光の神秘性が体感されるであろう。

ロマネスクにおいても絵ガラスは珍重されていた。しかし，重い石壁にあけられた小さい窓ではこの神秘感は決して満足されるものではなかったであろう。ところがゴシックでは，石の骨組化，線化，非物質化に協和して，絵ガラスはこの石の枠組を満たしながら，その非物質化を通して完全に建築の視覚論理と調和したのである。ゴシック聖堂は聖なる光と聖なる幾何学の巧みなハーモニーとして天上界を実現したのである。

堂内の神秘性に参与した芸術的手法は絵ガラスに限られるわけではない。壁画こそは追放されざるを得なかったけれど，石の柱やヴォールトのリブとウェブはむしろ彩色されるのが普通であり，赤と青そして金（または黄）が三基本色となって純色で彩色されていたのである。（その面影は前述のサント・シャペルにみられる。またこの三色は絵ガラスの基本色とも類似しているし，また外観にもこの色の原則が適用されたようである）

さらに彫刻類は堂内から排除されたとしても（もちろん祭室の独立した聖像は存在したし，その他の細部にも残ってはいた）典礼用調度類はますます光輝あるものになる。シュジェールは彼の建立した教会堂の主祭壇についてつぎのようにいっている。「かくして神の住いに対する私の喜びで，多彩な宝石類の魅力は私を外的なわずらわしさから解放し，価値ある瞑想は物質的なものを非物質的なものに転換して，さまざまな聖徳を反映するように私を導く。そこでいわばまったく地上の汚泥の中に存在するのでもなくまた純粋に天国に存在するのでもないような宇宙という奇妙な場所に私が住んでいるように思われる。そして神の恵みにより，私はアナゴジカルな方法によって，この劣った世界からあの高い世界に移されるのである」。サン・ドニに限らず当時の聖堂においては，主祭壇を始めとする各種の豊かに飾られた祭壇や天蓋や金色の聖器類や十字架とともに，ミサに際して全堂内は多声に響きわたる音楽に共鳴して地上最大の交響楽を奏で，それはもはや地上の建築ではなくなったのである。

外観の視覚論理と正面の象徴的意味

聖堂の外観に眼を転じよう。堂内の視覚的論理を支持する力学は外部において明瞭に示されている。外部ももちろんロマネスク的な石のメイソンリではない。石はその巨大な物量を示しながらも，マスとしてではなく骨組として見事な飛び梁を画きながら最高度の動力学を示している。内部の幾何学的視覚論理は外部の動力学的視覚論理と対応している。それはロマネスクの「内は内，外は外」ではない。内外を一貫する建築的論理である。

ところで外部には彫刻類のための舞台は豊かに残されている。小尖塔や控壁のニッチなどの細部にまで豊富な彫像類を見出す。だがとりわけ貴重なのはロマネスクの伝統を発展させた西正面を始め南北面のファサードである。初期のパリのノートルダムや盛期のアミアン，ランスの両ノートルダム大聖堂の西正面の上部のギャラリーの列像や扉口廻りの彫像群は，まさにそこだけでも神の国を現出せしめている感がある。

なぜにとりわけファサードが豊かに飾られたのであろうか。ゴシックの扉口はそれが文字通りに「天の門」すなわち天上界の入口であったがゆえである。地上と天界を明確に区別しながら人々を天界に迎え入れるその門は，天上界の秩序を示す豊かな図像で飾られる必要があったのである。天上界である堂内は彫像ではなくて，一層象徴的な聖なる光で意味づけられる一方「天の門」は天上界の秩序を地上的感覚性によって表示したわけである。ゴシックの扉口ではその上部の複層アーチ帯（ヴシ

ュール）やそれをうける側壁は奥に向ってV字型に狭まることによってロマネスクの扉口の拒絶性とは反対に，人々を堂内にまねきよせる。この傾向は盛期ゴシックに向って一層顕著になる。ヴシュールや側壁やタンパン（ヴシュールの下部，扉の上部の半円形部分）の彫像も，ロマネスクの峻厳さに比較して一層豊かに穏やかに，愛を以って人々を歓迎する。教会堂の構成する天上界は閉ざされた世界から人々に開かれた世界へと変容していったのである。

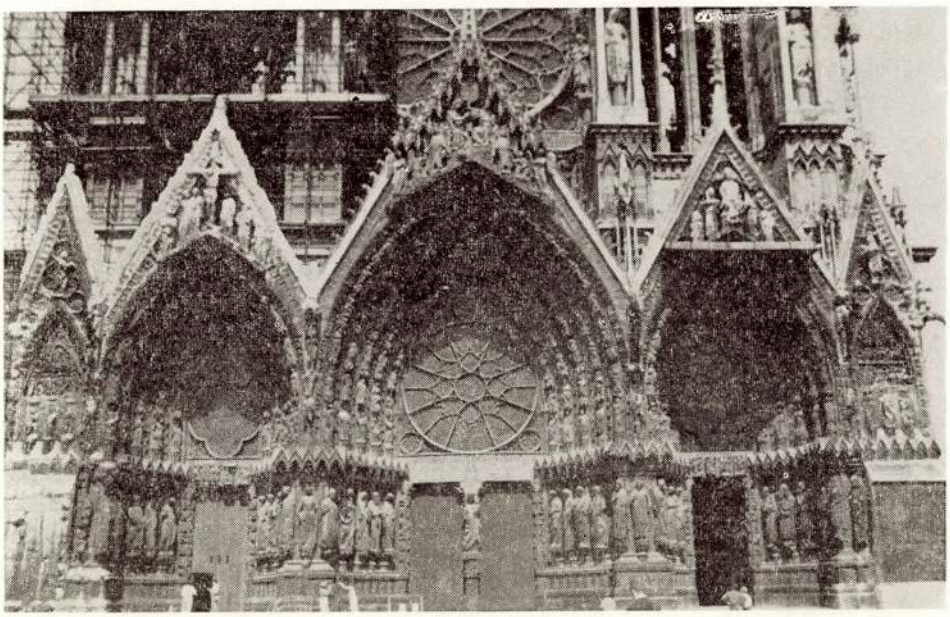


⑤ ランスのノートルダム大聖堂西正面
主として13世紀中期（アミアンよりわずかに遅れる）。盛期ゴシックの頂点を示す。両塔は15世紀。ディテールの彫刻は後補も多い。

扉口の彫像の精神性——非物質性と自然主義

ゴシックの発端となったサン・ドニ西正面の彫刻は後世の改修により失われてしまったが，その直接の後継者であるシャルトルのノートルダム大聖堂の西正面の扉口は「王の門」と呼ばれて，見事な初期ゴシックの彫像群を保存している。それは西正面の全構成も示すように，未だ極めてロマネスク的色彩が強い。だがロマネスクではややもすれば建築の枠が彫像を強制しているのに対し，このタンパンでは彫像は枠に調和して秩序正しく配列されている。「枠の法則」はロマネスクのものではあっても，側壁の円柱に付属した彫像群はもはや石の重さを失っている。それは地上にも，あるいはそれを意味する台座の上にも，確固とした足場をもたない。それは地上に立っているのではない。背にした円柱に融合することによって宙に浮んだ聖像なのである。その地上のものでないようなすらりとしたプロポーションとそれを強調する衣紋は，その表情における魂の表現と相俟って，その物質性を喪失し，高い精神性を示している。それは地上のもっとも優れた精神像であり，それは正しく天上の聖像である。

しかし，盛期ゴシックに向うにつれて，この精神性のきびしさは次第に失われてゆく。彫像群は枠の規定を次第に破ってより自由により丸彫的になり，動的な動きをも示し始める。その姿態はもはや完全に地上的な人間の肉体的プロポーションをもつに至る。天上的，精神的容姿は次第に肉体的，感覚的表情になってゆく。キリストは「美しき神」となる。それは明白な自然主義の息吹きである。しかも，その感覚性の中には豊かな精神性が潜む。それは神の愛である。それはルネサンスの自然主義ではない。ギリシャの肉体的理想主義でもない。精神的理想主義の自然主義とでもいおうか。アミア



⑥ 同正面三扉口

ンやランスの像はシャルトルと較べるとはるかに強く地上を踏まえて立っている。それはそれ自身としては重さを回復したのである。初期ゴシックでは未だかなり重い建築の枠の中で，彫像は天上に浮いていた。だがアミアンを経てランスに至ると，そこではシャルトルとは違って，三つの扉口が堂内の三廊に対応し，ばら窓は明白に身廊上部を外に示している。扉口のタンパンは失せて，ばら窓をもった絵ガラスがとって代わる。そのファサード全体は，ほとんど完全に堂内の断面を反映して，堂内の天上界と同じく，天上に浮かぶ「天の門」である。その深く切り込んだ扉口も重さを失いながら，人々を天上に誘う。この軽さを背景に彫像はその重さを回復している。これは初期とはまさしく正反対の手法による建築と彫刻の調和である。

諸芸術と建築家——聖幾何学

先に触れたように教会堂の全体は，平面的にも断面的にも，数学的，幾何学的秩序と調和の原理，いわゆる聖幾何学によって統一されていた。宇宙論的意味を与えられていた正多角形の組合せが教会堂全体を構成していたのである。それらの図形を知覚することは容易ではないが，あらゆる細部までこの秩序は及んでいるのである。絵画や彫刻にまでもこの原理が及んでいることは13世紀中期の建築家ヴィラール・ド・オヌクールのスケッチブックも示すところである。そこでは建築家が彫刻類のスケッチをさえ残している。高位聖職者と同格におかれて，一種の哲学者とさえ考えられていた学識豊かな建築家が，聖幾何学をたずさえて，他の諸芸術のプロジェクトにも積極的に参加していたのである。さらにいえば，ゴシックにおいては，建築や絵ガラスや彫刻はそれぞれ独立した芸術ではなく，そのような建築家の手を通じて神が創造した一つの世界であったのである。

む　す　び

ゴシック芸術において，彫刻や絵ガラスや他の諸芸術が建築に総合されて偉大な芸術を創造したのは，決してその技術のゆえにおいてではない。そのような総合をもたらす神的理念，すなわち精神的基盤から発する象徴的意味によって芸術は調和していたのである。現代において建築のゆきづまりを打開しようとして彫刻や絵画やあるいは生け花その他の芸術を借りてきて，それらを巧みに総合しようとしても，それに精神的基盤が欠けているならば，それは単なる標本にしか過ぎないだろう。ゴシックのみならず，偉大な芸術は常に確固とした精神的基盤をもっていた。もっとも肉体的なギリシャ芸術も，それはギリシャ哲学における精神観という豊かな土壌に育くまれて成長したのである。

現代は果てしもなく物質文明を推しすすめつつある。精神はそのかたわらに跛行している。ゴシック時代の哲学者は精神とは人間の肉体を統一し組織づけるものであることを知っていた。だが現代人はしばしばこれを忘れる。たとえ意識はしていても，物質文明の波に抵抗するすべをほとんど知らない。それはなぜだろう。現代の物質界は明確な原理をもっているのに，精神界にはそれが欠けているからだ。現代において中世キリスト教世界におけるような絶対的とでもいいうるほどの精神界を要求することは不可能でもあるし，またナンセンスな誤りでもある。それにもかかわらず精神界における秩序の喪失のもたらした現代の危機を乗りこえるために，われわれは精神界を追求しなければならない。われわれは現代の精神とは何かを追求しなければならない。私は「精神」において既成の宗教そのものを指してはいない。それは現代の人間が社会を形成し，世界を形成する責務に対する心的基盤を指しているのである。そして宗教的態度も当然その中に位置を見出すであろう。

とりわけ建築家は社会を形成するための偉大な任務の一端を直接担っている。そのような建築家が世界の精神的局面に無知でありうるはずはない。建築家はとりわけ精神的なものを追求しつくさねばならない。その追求の過程において，物質と精神の調和の道は自から開けてくるであろう。そのとき建築が建築そのものでありうるか，または他の諸芸術との総合であるのか。それはいまわれわれにはまったく明らかでない。否むしろ，このような観点に立つ限り，建築とか絵画とか彫刻というジャンルの区分はほとんど意味をなさないのではないだろうか。ゴシックにおいて絵画と彫刻と建築の区分が明確でない以上に。

建　築　と　諸　美　術

―― その協同と統一の条件は何か ――

工博・神戸大学教授

鳥　田　家　弘

建築とその他の諸美術が互いに協力し合い，統一ある空間を作ろうということ。これは理想だが，実際には簡単にゆくことではない。とくに建築の側にある現在の困った考えを片づけておかぬと，かえって元も子もなくすおそれがある。流行だけでなく本気に「建築空間」を芸術と考える人は，なおさら諸美術との統一など安易に口にすべきでない。なぜなら，現在の状況でそれをすると，中途半端に空間の一部を放棄するという芸術上の矛盾に陥るか，さもなければ，空間の密度・緊張・対決などといって，よってたかって空間を押しつぶすか，そのどちらかになるから。

建築が生れ変わったのは一番遅かったし，その後の期間も浅い。まだまだ建築だけで鍛練し考える期間が必要だと思う。

話の大筋はそういったところだが，問題は建築の芸術・技術論・環境的な空間と芸術のそれとの差などから諸美術の需給市場論まで拡がり，小論では始末に負えない。結局，断片的なことになるが，混乱をさらにかきまわすという結果にならぬよう留意して，少し古いところから始めよう。

建築の環境と諸美術の自立――建築と諸美術との統一は理想だといったが，かってはそれが普通のことだったし，あるときにはそれらは名称の差を必要としないぐらいに同じものであったときもある。一度それらの世界がわかれてしまった以上，無差別に同じといってもうるところはないが，せめて統一を回復したいということはその後も折に触れいわれてきた。しかし，いままでのところ，それはうまくいっていない。第一，それらがわかれるとき，建築は何をしたか？

「建築はかって大美術であり，諸美術の豊かな母であったが，その子供たちは自分の世界を求めて自立し，建築から出ていった」そして「老母は死んだ」というなさけない話がある。欧州のロココから現世紀初頭にかけてのことである。そのとき，19世紀の美術建築は何をしていたか？

建築装飾の職人たち――出てゆくほどの気慨のない子供たち――を抱え，その無能を叱りながら，厚化粧をし古マントを繕っていた。それはもういう必要はない。また「子供たちが成長すれば，やがて帰ってきてふたたび美術の統一を回復できる」と待ち望んだものもいた。しかし，それは間に合わなかった。一方，当時の新しい科学技術との調和・統一をすぐにも実現しうると夢みた楽観的進歩論者もいたが，しかし自分の古い美術ののれんを下ろさず，ただ養子取りを望んだ。これではダメである。

なぜ，美術建築はダメになったのだろう。当時美術建築の需要が減ったのではない。逆にふえている。都市の膨張は実用の建物の急増を必要としたが，同時に美術建築への要求も加速度的に増した。建築団体は続々と組織され，建築専門誌が登場し，美術建築のコンペはさかんになった。大き

くなった建築事務所は美術図面の量産に忙殺されていた。むしろ忙がし過ぎてダメになったといいたいほどである。また，経済の発展と，それにともなうクライアントの組織の交替と多様化。これもむしろ積極的な因子になるはずである。よくいわれるものに新しいクライアントの低俗な成金趣味があるが，それは個々の末梢的なことであって，本来の影響力はない。

大局的にいうと，当時の社会全般の動きが，環境の統一に向わず，解体・分化による進歩の時代であったことをあげねばならぬ。科学技術はその方法として環境的，全人間的考慮を脱したからこそ，当時の合言葉「進歩」を代表するものとなった。生産技術は今日いうところの内部経済の中でその成果を大きくしていけばよい。経済も都市生活もレセフェールの道を進み，価値は分化し，分離したそれぞれの道を進んだ。これが諸価値の統一を前提とするそれまでの建築をダメにした。美術建築の要求は多かったが，過去の統一像から新しいそれにすぐ移り住める時代でなかった。建築はその本質上，分離の道の先導隊には立たず，とくに統一と調和を重んずるクラシシズムはもっとも後衛に取り残された。

一方，諸美術は科学と同じく，この分離の先遣隊に属していた。現実の環境的考慮から脱することのできるその本質によるものである。それまで装飾や描写の課題をかぶせられ，長い間建築の空間の一部に磔つけにされながらも美術がいつももがき求めていた世界がある。その自分だけの自由かつ自律の世界を求め，建築から自分の価値を切り放し，それを純化していった。これは改めて説く必要もない。この自由な世界に低俗に溺れるとか，形式だけになるとかすれば，それはモダニズムという非難の理由となる。しかし，それは亜流のことであり，その後の諸美術——日本語ではこれを芸術といい替える——の多彩な動きはご承知のとおりである。

建築的なもの——19世紀の美術建築は後衛にとどまったけれども，その中から分離の道にでたものが二つあった。その一つは，美をモラルで置き換えた初期のゴシック派の一部に発し，功用主義に移り，やがて現世紀の目的建築につながるものである。

もう一つは，建築にも諸美術と同じような自律の領域を求め，これを純粋に建築的なものとして立てるものである。つまり，建築からでていった諸美術についていこうとする末っ子だ。この建築から抽出した建築的なものは，石または新材料による構造主義および純粋派につながる。被覆や色彩を拒み，構造による純粋な構成のみを求める。

この二つのうち，前者は環境へ向かい，後者はそれの逆を向き，現世紀初期までは互いに対立し争ってきた。ところが奇妙にも，第一次大戦頃には，この二つが一種の重なり合いを示し「現代建築」という特殊のイメージを形成し始める。その焦点の合う点は，どちらかといえば建築的なものの方にあったが，その考えの中には，それまで争っていた非美的要素が，ちょうどゴシック派のモラルと同じような位置を占めて入り込んでいる。たとえば「目的的なもの」と美，あるいは「機能」と「空間」，それらは対立概念ではなく，一つの系列をなして目標の側に並ぶ。これは現代建築のわかったようで，その実はっきりしない奇妙な点である。

この「現代建築」が統一を回復したと考えるのは早合点である。これは，かっての古典主義のような環境的かつ美的な統一を目標にしてはいない。むしろ調和とか統一などは極力避けられているし，時代の要求もそこにはない。他の情勢はおいて，この現代建築の奇妙な点を，その「機能」と「空間」から考えてみよう。しかし，ここまでくると西洋の話だけではすまぬ。一言，われわれのことに触れよう。

開化以後 —— わが国の文明開化の時期は，欧米の新技術開発の時期・諸美術のでてゆく時期・折衷主義と功用主義の時期に当る。この時期に当って，われわれは日本の必要にもとづいて，各分野ごとに制度と技術の移入を急いだ。学んできた内容は，狭い専門分野でのばらばらの制度・知識・技術であったが，学ぶ相手が分化の道を進んでいた際であるし，その方が日本の爪先立った進歩のためには有効な方法であった。西洋では価値がわかれつつあったが，われわれは始めからそれをコマ切れにしてもち帰ったのである。

建築が最初に学んだものは，西洋で分化の一番遅れていた美術建築であったが，この場合でも当時考古的知識の拡大しつつあった各種様式の技法が主であって，その奥を支えているものは眼に入らなかったといえる。やはり，ばらばらなのは同じであった。結局，たくさん有益なものを仕入れたが，仕入れそこなったもっとも大きいものに都市がある。その行政制度は仕入れたが，長い西洋の伝統を支えてきた統一ある「都市性」は学ばず，日本の市民生活はこの都市性なしに現代に入ってきた。西洋の都市は急速に膨張し，その伝統的な都市性は崩れつつあったが，それでもなお根強いものがあった。京・大阪の方が東京より都市的だと私はいつもいうが，江戸の都市を大東京村に変えてしまったのは，こういうやり方の結果であり，そのばらばらの様相は西洋の近代都市より徹底している。価値の分離は先進国よりも一層早く，むしろ始めから進んでしまったのだ。これが開化以来の日本文化の一つの特徴をなしている。今日，大学の歴史学や社会学や絵の連中と話して驚くことは，その専攻の時代についてさえ，その環境をなしていた都市や建築のことをほとんど知らないことである。そんなものは不必要であり，理論には縁がないと思っているようだ。

人のことは笑えない。建築界でも，われわれはそうやってきた。西洋と少しちがって，なおわるいことにつぎつぎと価値の乗り換えをやってきた。その都度，何か価値を自分が新しく発見したように振舞いながら……。芸術非芸術論以来のいろいろな現象は省略するが，それでも機能主義は津々浦々まで常識化したことでもあり，触れないでおくわけにはゆかぬ。今日では「空間」がさかんだが，これは西洋では前述のように「機能」とくっついていたものであり，昭和の始めそれを落して半分の「機能」だけが入ってきた。その日本の特殊な理由も考えておく必要がある。

機能と空間 ——さて，現代建築でいう「機能」は，働きや役目という単に実体相互の作用を示す言葉だけではない。機械論や生理学の概念に関係はあるけれども，その中からとくに引抜かれてきて，古い実体へ挑戦するものとして，格別な一つのモラル——価値が与えられている。つまり，機能主義は一種の倫理運動なのである。それを俗に，現実主義・実用的機械主義と解してもかまわないけれども，それだけではことの本質を見極めるには足りない。

アドルフ・ベーネが示す現代建築への四段階，つまり，ファサード・ハウス・形成された空間，形象化された現実というものは，簡単にいえば古い実体から作用への重点の推移をよく示している。そうすると，究極の建築は，社会機能の遠隔操作によって点滅し作動する夜の信号のようなものとなる。現代建築は「機能的表現」をいう。これは，この信号装置あるいは建物の実体が果すべき信号——シンボル——の意味内容として「機能」を認めていることである。一般に機能は建築の手段であるけれども，現代建築では同時にそれは建築を越えてその表現の向うにある価値として，求められるべきものとなっている。

この価値としての機能の特異な性質は，まず作用ではあるがそれ以上に，格別に変化と部分の自由への作用である。ものの変化だけでなく，倫理は主体の在り方を問うから，同時に建築家の人間

としての変革，社会の変革への作用とむすんでいる。ヒトラーやスターリンに嫌われたのもそのためであろう。（亜流は別である。それは倫理を必要とせず，形式のみをうけとるのだから）

機能的表現の形式的な決め手を，つまらぬことだがあげてみよう。平面計画には常に必要な面積配分や間取りや構造配列のほかに，新しく動線概念が導入される。これは在来の静かなビスタにむすぶものでなく，作用軌跡として扱われる。室形は求心的でなく，部分の要求に最大の自由を与え，長い変化のある室形となり，さらに交錯し合う。段差や天井差も変化のあるほどよい。立面では部屋よりもそれをつなぐ廊下や階段が機能を示すものとしてとくに強くでてくる。内にこもる屋根や壁でなく，貫通する開口，展開的な庇，袖壁，ピロチに重点がある。「光と陰」よりもっと鋭い「光と影」等々……。この辺で機能主義の形式的な仲間入りは十分やれる。ともかく，機能的表現は部分の自由と対比，運動と変化などによっている。機能主義は，そういう変化をシンボルとして求め，そうすることによって社会機能に応じようとするものであった。

このモラルとしての機能に照応する造形的な答えが「空間」であった。両者が相たずさえて，実体的なものの古い関係を離脱した新しい建築を求めたのだが，この「空間」の語は，日本では機能より一層漠然としていて，用語の拡張どころか没論理に近い。バウハウスの時代には，「空間形成」というようにゲシュタルト心理学からの転用が多い。ゲシュタルトとは色盲表が一つの統一知覚でみられるように，刺激要素を統一する作用を重視した語である。しかし，建築ではいきなり事物以前の空間へ戻って，そこで事物の手がかりを拒んで空間を発想しなおすという具合である。空間をいいだしたら，事物が意識内の現象になることさえ認めたがらない。近代の抽象幾何学的な見方には，立体を面の，面を線の，線を点の，それぞれ集合や移動とみなす解体，再結合の見方がある。これは建築的なものにも極めて有効であった。同じようなことで，空間もまたそれの成因である事物的なものに解体し，その事物の新しい関係から始めて再構成しうるのだが，そのプロセスは認めたがらない。

しかし，現代初期の建築の要求が「新しい材料・機能による新しい空間」を創造することにあったのは周知のとおりである。西洋の伝統的なメゾンリィな壁による空間の集中的密度から脱して，新しい展開的な空間を意識しえたのは，新しい材料と上記の機能概念を手がかりとしたからだが，この新しい空間の性質は当時の日本の空間にとってはとくに新しいものにはみえず，機能だけが意識された。いまは残りの空間意識がずれて入り，かつ低俗化した機能主義を非難するための空間のもちあげとが混合しているので，とくに厄介な混乱を示している。

さて，西洋でひとしく「機能と空間」といっても，それぞれの作品は一つ一つちがう。そのうちとくに機能の方に強かったのはグロピウスであり，空間造形の方にはル・コルビュジェがいた。私見では，現象空間といえども実体間の関係現象がそれを意識に成立させる以外にはないと考えるから，新しい世界を新しい実体関係に実現したという点で，ル・コルビュジェをもっとも高いと考えている。

しかし，マルセイユ以後，彼の世界は一段と変わってきた。その実体への執着をひろげて，一種の建築彫塑ともいうべき独自の世界に到達している。世紀前半の建築的なものや今後の社会倫理とのつながりなどには超然として，この彼だけの統一世界に彼は悠々と遊んでいるようにみえる。若い人は不服だろうが，芸術の天才の到達する独自の世界は，相対的な社会機能のおよばないところまでいってしまうものだ。これを逆にいえば，彼の世界は彼だけのものであり，彼を追うということはもはや社会機能における袋小路に入ることを意味する。いまの空間芸術ブームが，もし彼の建

築彫塑やガウディのそれ（私はガウディをもっとも買わない）を追試しようとしているなら，それは試行錯誤実験のねずみの行動よりおろかである。

グロピウスに似た相対的なところにとどまるようにみえながら，なお別種の実体を開発しているのにローエがある。彼は空間芸術の袋小路には踏み込まず，社会機能に応じた今後の発展を残しているように思う。ル・コルビュジェはこの分裂の時代に孤高の統一世界を作ったが，ローエの道は，時代を気長に待って，孤高な芸術世界のみでない環境的な世界での統一が回復しうる時期まで，可能性を持続しうる道だと思う。

諸美術との協同の条件 ——ル・コルビュジェの建築彫塑は彼独自の世界であるが，そこでは彼自らピロチに絵を描き，ペントハウスを彫塑にする。彼は他の美術家と協同することなど少しも考えていない。ジオ・ポンティも同じく協同には消極的である。建築彫塑といおうが，空間芸術といおうが，そこには建築，彫塑，絵画，都市計画，その他一切の造形用語の区別はいらないし，したがって手元職人は必要でも芸術の協同はいらない。当然そうあるべきだ。

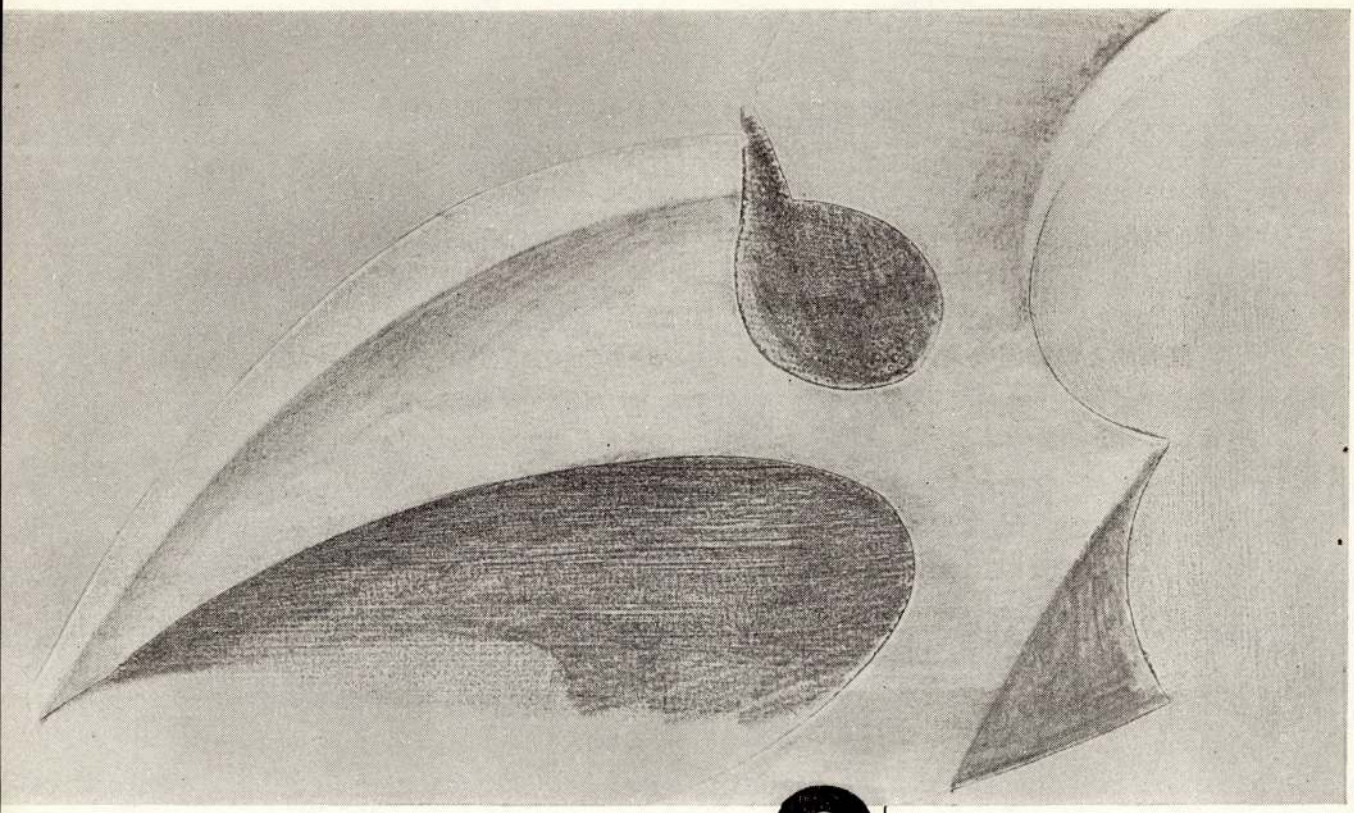
これに反して，建築家は空間芸術家であり空間エネルギーを作るのだと空虚なことをいい，そして諸美術家と協同したり対決ができると考えるのは，芸術家として矛盾しているばかりでなく，ずいぶん甘い。美術家は壁画や壁面彫刻に手をだす場合，建築空間に協同するような調子をみせても，それは自分本来の世界をそこに展いてみせるだけのことで，自分の世界はどこにもち廻ってもちゃんとしていると考えている。また，コラージュの材料を選ぶ画家は，自分の作品をコラージュの材料にされることにはたえられない。あるいは，美術家がル・コルビュジェになってくるだろう。芸術とは蛇のようなもので，対決とはどちらかが呑まれてしまうことだし，そうでなければ，異質の世界で互いに喰気を起こさぬものだ。かりに，もし空間が芸術的に一つの空間で，そこで協同し対決し合うことができるとすれば，空間にエネルギーを注いで押し合いへし合い，空間は爆発してしまうだろう。分裂の現代に，それをこそ望んでいる若い分裂症芸術家群は大したものだが，実際には甘い方が多かろうし，私はそれはごめんだ。

しかし，このように無差別に一つの空間を芸術とするのでなければ，協同はできるだろう。環境的な一つの空間が，それを切りとってくる仕方で幾つもの異質な芸術の世界を可能にすることからみれば，作る方でも同じように異質な複数の世界が可能であろう。建築的なものと，彫塑・絵画とは，そのやり方では共存しうる。「空間芸術」という空な妄想から引き返して，建築的なものを立てることによって，それは可能である。同時に，建物の基本的な要求である環境的空間とも，それは矛盾せずに重なり合うだろう。

真の統一は，この環境的な空間と芸術の世界とが異質の重なりから進んで一つになるときだが，それはいますぐ可能ではない。それを空間芸術として建築家が安易に妄想するのは愚かである。建築家はもっと建築的なもの，もう少しつまらなくいえば，事物的なものをとりあげるがよい。

絵画では，表現や抽象などを経て，いまは事物そのものにぶつかり始めている。空間表現などと甘いことをいってはいない。また，抵抗のない自由な材料によらず，陶磁や石やフレスコの不便で手ごわい材料にぶつかっている。のれんに腕押しのような甘い空間でなく，多色の装飾的な新材料でなく，もっと確かな事物にぶつかることを建築的にすすめたい。その意味でも，ローエの方がよい。

事物は事物，空間だけが現象などと片目の人間のようなことをいわずに，事物の現象を両眼の奥で，視覚だけでなく，手の手ごたえの奥で確認してゆくことが第一である。その上で，協同も可能となる。さらに私自身の理想をいえば，真の環境的な統一空間は，その上でたとえ数世紀のさきになっても，求め続けられねばならぬと信じている。



座談会 2

テーマ：新しい空間創造への参加

建築家：太田隆信・根津耕一郎
彫刻家：福岡道雄
画　家：田中敦子・中西康進
司会：大久保昌一

新しい空間創造への参加

— 建築家·彫刻家·画家の意見をめぐって —

〔S〕“平和ムード”という呼称が示すように，建築界も何となく，平穏ムードが漂い，以前のようにギスギスした“何とかイズム”を振り回す気運が消え去って，何か一層人間らしいものを求めようとする動きが近年とみに盛りあがってきたかのようです。第二次大戦が終ってからかれこれ18年を経過し，その間に冷戦という気づまりな期間を経てきたとは申せ，世界は全般的に平和ムードに包まれて，人々はより人間的なもの，より芸術的なものを求めるようになってきているようです。

建築とその他の造形芸術との総合ということも，実はそんな社会的背景からでてきたにちがいありません。もっともここまでくるにはいろんな曲折があったようで，機械主義に対するリアクションがさまざまな形をとってでてきていました。ライトのオーガニックアーキテクチャーの再認識とか，ゴーディを頂点とするアニミズムの評価，あるいは一種のフォーヴィズム，地方主義，民族主義，風土主義，ネオネオロマンティシズム，等々。

建築そのものの芸術性はともかくも，建築と他の造形芸術との総合運動のきざしは，こうしたムーヴメントにもうかがえますが，もっとも具体的な形をとったものの一つとして，ブロイヤーのロッテルダムベイエンコルフ百貨店におけるナウムガボの大彫刻をあげることができると思います。ユネスコのミロやピカソ，ブラジリヤのヘンリームアなどもよい例といえるでしょう。

さて「新しい空間創造」というのは，何もこと新しい現代的テーマではなくて，いつの時代にあっても，もっとも根元的なテーマであったわけですが，ただその新しい空間についての考え方といいますか，認識の仕方が戦後ずっとみてきますと，変わってきているのではないかと思います。ときには空間認識に一定の理念があるというのではなく，一種の混乱がみられるような気もいたします。言葉を換えていえば，ある種の無政府状態になってきている節もないではありません。もっともそんなケイオスの中から真のコスモスが出現するのでしょうが，今日は造形芸術の各ジャンルの中で創作活動をなされている皆様方に，この問題を論じていただいて，新しい空間創造のための協同の場を見出していただきたいと思います。

話を進める順序といたしまして，絵描きさんとか彫刻をやっておられる方が，いまの建築をどう考えていられるかということから伺いたいと思います。

現代建築をみて

——彫刻家よりみた建築——

〔F〕建築一つ一つをみた場合には，よいなと思うのも沢山あります。またまずいなと思うのも沢山ありますね。しかしそういうことはもっと根本的に考えたらつまらないことなんです。たとえばここから街をみた場合には随分雑然としております。これで将来一体どうなるのか，また高層ビルがだんだん建っていきますが，100年もしたら，これなどはまたブチ壊わされる運命にあります。何かもっと根本的な問題がまちがっているような気がします。つぎに日本の建築はほとんど前からだけしかみえない。外国の写真などみますと四方八方からみえて外国にはこんなのがあるかと，日本の建築家はジレッタイと思いますね。

—— 画家からみた建築 ——

〔Na〕日本の建築は部分的には近代的な面もありますが

やはり根本的には建築家は造形的，装飾的にとらわれ過ぎているように思います。もっと力強いものがでてくればよいという気がします。何か非常に機能性とむすびつき，装飾的になっていると思います。印象としてはそんなものです。

〔T〕私は建築のことはあまり知りませんし，建築家にすべてお任せしている状態ですので，大した発言もできません。建築家の方は万事いろんな点心得えていられると思います。大阪の都市計画などみていますと，5～6年の内にはほとんど一どこの国においても変わりますが一新しい様式ができてゆくだろうと思います。

── 建築家からみて ──

〔Ne〕皆さんのおっしゃったことには私たちのたづさわっている建築のすべてを含んでいるように思います。F さんの彫刻作品はよく存じませんが，時間的意味を含んだ創造物だと思います。そういう意味では建築のうちでもとくに都会の建築物にはそういうものがないので失望されるのではないでしょうか。しかしとくに都市の市街地建築物，すなわちファサード建築というものと，他の建築とでは問題点が異なってきますが，今F さんは市街地建築の在り方についておっしゃっているのだと思います。この点について日本の都市のように狭く土地が細分割され，その中にはぐくまれてきた日本的な市民社会的背景そのものに関係してきているのではないでしょうか。建築や建築家の位置というものが，どういう形でファサード建築に現われてきたか，まあそういう点，日本の建築家なり，あるいは建築のものの考え方に大きな疑問点があるように思います。

それからいわゆる機能性というか，また何かアルミニュームだとか，そういう新しい材料がデコラティブな感覚で形成されていて力強さがないと，Na さんはおっしゃっていますが，私自身はむしろコンクリートも，石も木も，硝子も，アルミニュームも，それ自体美しい装飾的なものであってすばらしい材料だと思います。しかしNa さんが作家的感覚で，いまある建築に過装飾的なものを認められ，その弱さを感じられる感性に同じ気持がします。歴史的に木の建物で街を作ってきた私たちは，石やコンクリートで街を作る経験の積み重ねのない底の浅さがあり，ファサード建築となれば格子模様のグリルを作ることに専念する側に責任がありそうですね。

最後に，T さんのおっしゃった問題もひっくるめて，やはり建築家というものは，一体何を勉強したらよいのだろうか？というような本質をついている疑問だと思います。むつかしい問題ですね。できたものがいくら美しかろうともそれはやはり人間を容れる器ですから，人間を一番よく知らないといけません。根本の人間というものを，われわれは勉強しなくちゃいけないんじゃないか。しかしそのような勉強といっても漠然としていてわからないと思うのです。つまるところ，画家や彫刻家が対象なり対象物から自分の個性的感性でものを抽出して画面なり物質として定着するのと同じように，建築家は対象が人間なり人間社会であり，その中から価値を引出し空間に定着させる。この過程を裏づけるものが作家の個性であり，人間理解だと思うからです。そして建築の場合，長い時間的淘汰をうけてむしろ建築が用から解放されてしまったような時期に，すばらしい絵画や彫刻と同じような抽象的価値をもった芸術性をもってくるのではないでしょうか。

出席者　昭和38年9月3日・於大阪建設会館

S：司会―大久保　昌一

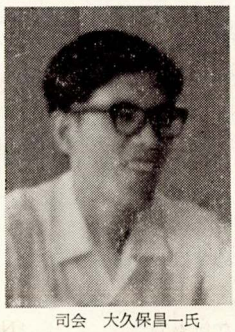
T：田中　敦子（画　家）

Na：中西　康進（画　家）

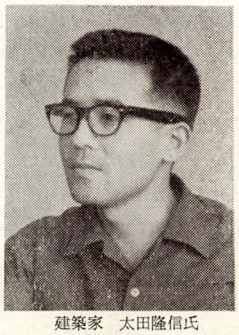
F：福岡　道雄（彫刻家）

Ne：根津耕一郎（建築家）

O：太田　隆信（建築家）



司会　大久保昌一氏



建築家　太田隆信氏

建築と人間性

〔T〕建築を考えていられるとき，自分はこうしたいと思われるでしょう。一生懸命に取組んでおられるときに人間というものは自然にでてくるのじゃないですか。

〔S〕人間性をどこまで把握しているかということが大切だと思いますが，T さんのおっしゃるのは，人間性というよりは，むしろ作家の個性というようなものでしょうね。

〔Ne〕人間性を探究するというよりは，人間性をもった個性が大切ではないでしょうか。

〔O〕そういってしまうと話の進展の方法がないのではありませんか。人間性，人間性といっていると，ごもっともというほかない。一足飛びにそこまでゆかずに少しちがう角度から考えてみる必要がありますね。

〔T〕建築家がこれこそと思って作った建築は，他人では決してできないようなものでしょうからね。その人の独創的なものでしょう。

〔S〕そのとおりですが，人間性といってもその時代，時代によって随分その内容がちがっています。ルネッサンスの人文主義，トルストイやロマン・ローランの人道主義，プラグマティズムに根ざす人道主義といったようにそれぞれ概念の内容がちがっている。近代科学への不信は大量殺リクの武器である原爆の製造を機に頂点に達した。戦争による人間の危機感は，国境を越えて人類という概念で人間をとらえることとなりました。全体的な人間実現のためのヒューマニズム，人類ヒューマニズムがでてきました。建築を生みだしてゆく上に人間性についてもう一度じっくり考えてみる必要があると思います

〔N〕一口に人間性とは何だ，といってもナンセンスでしょう。つまり一つの作品を通じてそういうものをネガティブに示していると思います。だから直接人間性は何だという議論の進め方ではなく，むしろ各人の考えているものを，作り方，または方法論というようなものから突込んでいったら面白いと思います。

空間というもの

〔S〕彫刻の世界での空間というものの解釈の仕方が，建築の場合と大変ちがうと思いますが，F さんいかがでしょう。

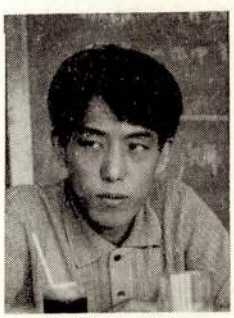
〔F〕正直にいって，僕たちは制作をしているとき，空間ということは考えていないように思います。むしろ空間というものは結果的にでてくるものであって，最初から意図するものではないのです。

〔S〕しかし，ロダン，ブールデル，マイヨールなどの伝統的な表現からみると，たとえばオシップザッキンのギターを弾く男など，彫刻がもっていた凝集力といいますか，求心的な力，内部に向って結集してゆく力とは逆に，外部の空間を彫刻の中に引き入れようとする力がみられるわけです。えぐられたように外の空間を包み込みそうな口，または本当は突出しているべきバストがえぐりとられた凹部として表現されていたりする。空間概念がここで変わってきたことが認められるわけですね。

〔F〕しかし空間というものは，さっきもいいましたように，あくまでも結果的なもので，最初から意図したものではない。そこが建築とちがうところではないかと思います。

建築はあくまでも人間を容れる，そこに建築の存在理由があるわけです。どうも僕たちが作っているものは，建築とはどんどん離れてゆくような気がします。建築というものから，人間とか，ものとか，そういうものをはずしていった場合，建築家と対等に話し合う場ができるのではないかと思います。


建築家　根津耕一郎氏


彫刻家　福岡道雄氏


画家　田中敦子氏(具体美術)


画家　中西康進氏(テンポ)

〔S〕Na さん，絵の方はどうですか。

〔Na〕一般論としてではなく，僕個人の問題としていえば，バランスをとるために，自分なりの解釈で記号をもって表現しようとしているわけです。たとえば＋－×÷にわけています。＋とは一つの単体を増殖させていって空間を浸蝕していく。－とはすでにできあがったものを切ったり圧縮して小さくしてゆくことです。×は単一形態をさらに繰り返し増殖させていく方法です。÷は一つの形態を分割していったり，分裂させていく方法です。＝という記号によってこれらを結びつけるわけです。このイコールが，いま僕にとって一番大切な問題なんです。建築家のいわれる空間というものは，あくまでも機能性と結びついています。そこには人が住まい，企業が営まれるといったふうに，いろんな前提に立っています。ところが僕らは前提がないわけです。あくまでも創作活動の一つの現われなんです。ですから＋－×÷を総合すべきイコールの記号が非常に興味があるんです。

〔S〕Na さんのおっしゃるのは，建築は一つの機能をもっていて，そこから出発している。ところが絵画には「用」というものがない。強いていえば創造そのものが「用」といえる。そこに空間認知の基本的な差があるとおっしゃるわけですね。

〔T〕わたしなんかは丸とか線で描いております。こういうようにすれば面白いなということでやっています。空間ということがでましたが，作品ができ上ってから空間はでてくるのだと思います。建築の上でも新しい空間（感覚）ができたらと思います。

造形芸術との結合

〔S〕それでは，建築と建築以外の造形芸術の結びつきについて。

〔T〕建築をやっている人も，いまの段階では彫刻や絵画との結合などあまり意識してないのではないですか。積極的に考えている人もおられることと思いますが，非常に少ないと思います。結合した方が良い場合も，逆に悪い場合もあるのではないでしょうか。

〔N〕建築家があらゆる芸術を総合的に取り入れようと思っても，結果的には互いに拒絶し合った形で結びつくことしかできないのです。

〔O〕もう少し，僕は楽観的に考えている。戦中や戦後早くはとても芸術どころではなかった。それが丹下さんの都庁舎の頃から壁画との結合という方向が一つでてきたわけで，ああいうところが具体的な一つの出発点となったのではないでしょうか。

それが，最近とにかく大分県庁の外壁や，出雲大社の「庁の舎」というようなものに発展してきた。やはり結合という面からみて，少しずつかも知れないが，進歩しているのではないでしょうか。

―― 教育の問題 ――

〔S〕建築が他の造形芸術を包含するためには，建築家自身の教育の問題が残っていると思います。グロピウスはそういう意味でよき建築家であると同時に偉大な建築教育者であったわけですが，彼が「新建築とバウハウス」の中でつぎのようにいっております。「近代的な建築美術を実現すること。それは人間性と同じように，その領域の中にすべてを包括しなければならない。かような主権をもつ連邦国家の中に，他のすべての美術（各々さまざまな意見や傾向をもった美術）―デザインのあらゆる分派，技術のあらゆる形態―が互いに同等のものとして，その指定された地位を見出すことであろう。それゆえわれわれの窮極の目標は完全な分解できぬ芸術作品，すなわち一つの大建築物であり，そこではこれまで記念碑的要素と装飾的要素を分ってきた古い境界線は永久に消え失せてしまうでしょう。」

〔O〕教育の問題は大きいと思いますね。どうかすると，あまり教育というものに重きをおかないような風潮がありますが，問題にしない僕たちが悪いのか，問題にされないわが国の教育に問題点があるのかはさておいて，とにかく皆の問題として，教育の在り方ということについて深く考えてみる必要がありますね。

〔Ne〕総合化というより，いまでは専門化のスピードの方が早いわけで，細分化されたタレントの時代になってきています。そういう流れの中で総合するということは随分抵抗も大きいと思いますが。

制　約　論

〔T〕建築は自分でいろいろと考えられて，自分の好きなようにされるわけですか。

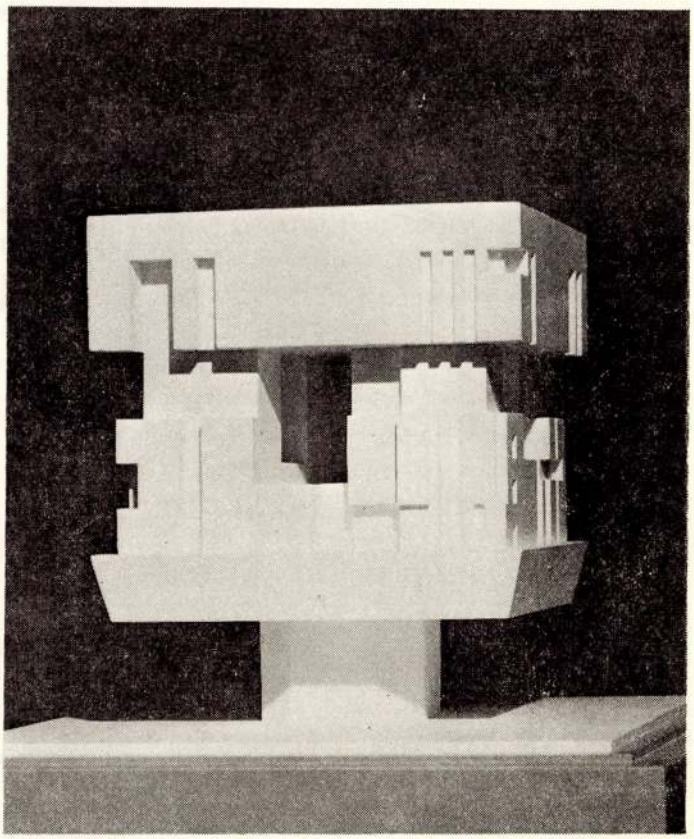
〔Ne〕いろんな手段の制約をうけながら考えるわけです。制約が大きければ大きいほど勝手に作れなくなり，その困難さを補ってゆく努力が必要です。絵画とか彫刻はその点意味が多少ちがうわけですが，素材の困難さをイメージにフイードバックさせて作ってゆく場合がありませんか。

〔Na〕彫刻家とか絵描きはパーソナルで，建築家というのは共通の制約をうけながらやってゆく，そこいらが根本的にちがうわけですね。

〔S〕制約を甘んじてうけるのは，しょうがないから？
〔Ne〕しょうがないのではなく，逆にいえば手段の制約がかえって建築に豊かさを加えるように思えるのです。
〔S〕認めてしかるべき制約はうけるが，しょうがないのは？
〔Ne〕受動的な形の制約でなくて，能動的に下しうる手段の可能性としてうけとっていただいたらと思います。
〔T〕建築家でなくとも制約があると思います。
〔O〕現実に制約をそんなに強く意識しているかどうか？
〔Ne〕この問取りをこのようにしろといわれても本質的に絶対ではないのだから，むしろ条件といった方がいいでしょう。絵の場合に，これこれの絵具を使ってくれと素材に制限が与えられた場合は，制約にもなりうると思います。

総合の在り方

〔S〕建築の総合運動は何もいまに始まったことではなく，いろんな形で現われてきたわけですがたとえばアールヌーボーの応用装飾とか，イギリスのアートアンドクラフト運動とか，近代工業への美術家の参加を意途したドイチェベルクブンドとかデスベルクを指導者とするオランダのデスチールに見られるように，建築家アウト，画家ピエトモンドリアンなどの意図したもの，バウハウスにしてもそうです。その目的は半ばはすべての美術を統一することの重要性に，半ばは近代デザインの最大の要素としての工業生産の重要性という点にあったと思います。教授陣の中には建築家の他に，ミロ，カンディンスキーなどの巨匠がいたわけです。そこで，建築というものの中にどうして総合を試みるか，その方法とか，総合の在り方について…。建築家と他の芸術家とがもっとこんなふうにしたら協同できるのにというようなことがあると思いますが。
〔Na〕僕は絵描きや彫刻家と建築家との間には本質的な差があると思います。そこに問題があるので，どこに接点を求めるか。
〔Ne〕建築家は芸術家だと思っています。もしそのとおりだと接点でなくとも触れ合うものがあり，Na さんに本質的な差があるといわれないと思います。この原因について考えてみる必要がありますね。そういう状態のときに，いまいっているような形でゆきますと，融合というようなことではなくて，単なる寄せ集めにすぎないようなものになってしまう。それではダメだと思います
〔S〕総合といっても，時代によって理念がちがいます。ゴシックに私たちは一つの美事な総合をよみとることができますが，それがいかに輝かしいものであっても現代の法則とは無縁のものです。多くの教訓や示唆を含んでいるにせよ，現代には現代の方法がなければなりません。
〔O〕そうなると，やはり機能主義あたりから出発ということになると思いますが，たとえば階段がある。階段には，その機能のもつ必然的な型がある。そこに階段の美しさがあるというように僕たちは考えてきた。それを



もう一つ乗り越えていきたい。

〔Ne〕建築空間に彫刻や絵画を積極的にもちこむことを彫刻家や画家がどのようにとらえているか，知りたいですね。

〔T〕絵とか彫刻の空間の次元がちがってくれば，建築も同じように変るのではないのでしょうか。いまとはちがった風に，彫刻や絵画が建築と結びつくとすれば，面白いことでしょうね。三者がより集って作ったものが，どういうものになるかわかりませんが，感覚（空間）の上で新しいものができてほしいと思います。

〔Ne〕造形的自由度の高い教会建築などでは，比較的次元の高い芸術家の参画が外国で行なわれています。この場合など建築家とか彫刻家とかの区分を超越したイメージがあると思いますね。そこにイメージプランナーとしての建築家と共同する芸術家の役割りがあるのだと思います。またわれわれもこのような段階での共同を試みたいですね。現在彫刻家とか絵画などの方で非常に建築というものに対する意識が高まってきていると思います。

〔F〕それは外国にもいろんな例があります。日本でもこの町を一色で塗ってしまえといったら絵描きが動きだす。長い長いものが描きたかったら塀を与える。四角いものならこういう（手で示す）敷地をやる。作らせてから中の設計は建築家がやる。

三者の協同の場

〔S〕協力の仕方として従来からままみられるように，壁面を与えて描いてもらったり，庭のスペースを指定してオブゼをおいたりする場合と，イメージプランの段階で参画してゆく方法と二つあると思いますが。

〔Ne〕三つあるんじゃないですか。結局建築のイメージに参画するプランナーとしての段階，それから建築を作り始めた段階において光とか音とか，そういうものを総合的に計画するディレクターの段階がありますね。最後にできあがった部屋に対してクラフトマンとしての機能を果してもらう在り方，この三つがあると思います。もちろん三つの段階がはっきり区別できるものではありませんが。

〔O〕現実には第三の方法しかとられていないと思うのですが，建築というものについて，絵画や彫刻の方はあまり考えておられないのではないでしょうか。

〔Ne〕彫刻家の作品というよりも，やはり現代に生きる彫刻家なり画家の見方というものを尊重し，互いに現代を如何に理解し合っているかを知る共通の場が必要ということになります。

〔O〕絵画，彫刻以外にもいろいろな分野の方と協力をしていかなければならないのですが，協力していくということがどうもむづかしいような気がします。「共通の言葉」ということが，新しい空間創造以前の問題としてあるのではないかという気がしますが……。

〔S〕そういう意味で真の協同を可能とするためにも，さきほどの教育が大切なことがわかると思います。現在の大学のカリキュラムはそういう意味で，偏向しているといえます。建築というのは，それが奉仕する民衆の生活に関連した社会芸術であって，応用装飾のアカデミックな運用とは無関係です。社会的要求を満たすためにはよりよい協同が必要なのではないかと思いますが，現在のような状況では—特定の成功した例がありますが—共通の接点が見出せない。

〔O〕正にそのとうりだと思います。“共通の言葉”“共通の接点”があって始めて協同ということになるのではないでしょうか。では，これから本当の「座談会を始めます」というところですか。

〔S〕話はテーマ以前のところで停滞してしまいましたが，新しい空間創造のための協同の場を作るためには，まづ相互理解をかちとらねばならない。相互理解のないところに，よき総合は望めないということですね。では，どうも長時間ありがとうございました。司会の不手際でもたもたしたことをおわびいたします。

× × ×

この座談会は相互理解をはかつて，あらためて，もう一度行なう予定でしたが，実現できませんでした。したがつて，彫刻家，画家，建築家の方々の充分な意見がまだでていないきらいがあると思います。この点各出席者に深くおわびいたします。

——編　集——

杭
株式会社　武智工務所
取締役会長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話 (202) 3233・3234



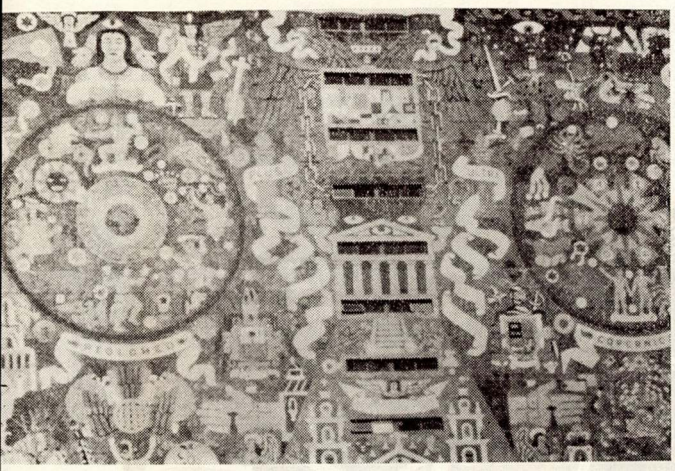
3

小論随筆

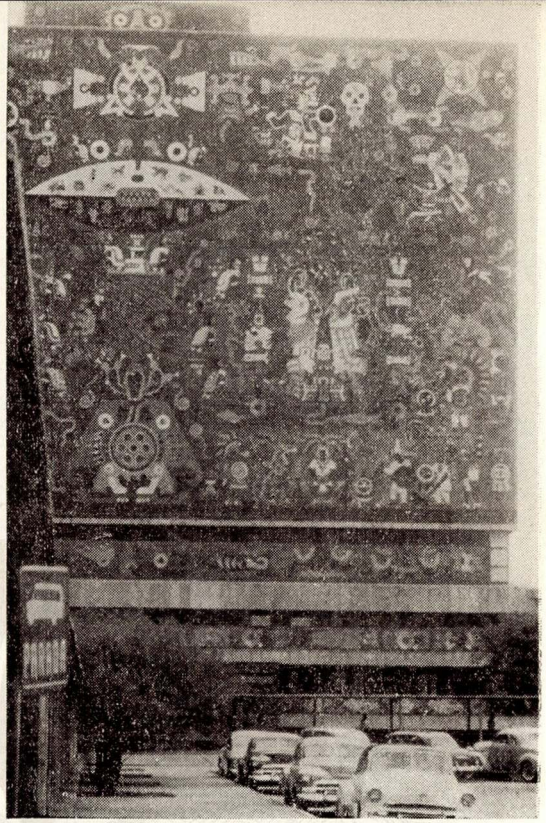
・メキシコ大学の壁画……桐野江　節　雄
・ピカソ；ミロ；ノグチ……神出津嶺雄
・今井兼次先生とガウデイ……岡橋作太郎
・村野藤吾のクラフト的魅力……浦辺鎮太郎
・ロンシャン……西沢文隆
・Positiveな街の建築空間……高田　威

メキシコ大学の壁画

画家　桐野江節雄



図書館西面;壁画：ホワン・オゴルマン



図書館東面と車だまり

「そこには巨大で，力にあふれる空があった」1958年サンフランシスコを振り出しに，自動車での旅を続けた私がメキシコ大学に立ったときの感じである。

アリゾナの砂漠，サボテンのメキシコ高原，地平線から地平線一ぱいの空になれてしまっていた私を驚かせる空の大きさがそこにあった。

1825エーカー，黒い溶岩地に建設されたこの大学は，大きいということだけでも価値があるようにみえる。

ものは区切られて始めて大きさをもつとすれば……パリの街々，建物と道とセーヌの流れが美しい空を造っているとすれば……これは人間が造りだしたもっとも大きな空ではないだろうか？

ピラミッドは空の底にあった。アメリカではこれだけ大きい空をみたことがないし，アメリカの場合，多くは建物の間に，なんとなく空がとり残されているに過ぎない。この大学を造った建築家が，果して空間を設計したかどうかは知らない。始めて大学に立ったとき，私は，こういう造形的な仕事もあるのかと自分勝手に感心した。市の中心から，ガラスのビルの間，森のように高く深い街路樹の底を広く，数々のモニュメントをちりばめたインスルヘンチスの大通りを南に走り，公園の林を抜けて溶岩地帯にかかり，空がパッと高くなったところで道が大学の中心に入る。左に大学本館，図書館が近く遠く高々と空を切り，右に競技場がまるくゆるくふくれあがる。

午前中であれば，右のメインスタジアムにディエゴ・リベラの壁画，ひや色タイルのレリーフが厚く浮出して，左に図書館全面のモザイクタイルの壁画が，逆光の中にも熱っぽく，たしかにそこにあるという感じで立っている。

どの時間にも，どの壁画も大きな空に見合うだけの力強さをもっているし，一つ一つをみれば相当にどぎつい壁面が，少しも飛びだしてみえない空がある。

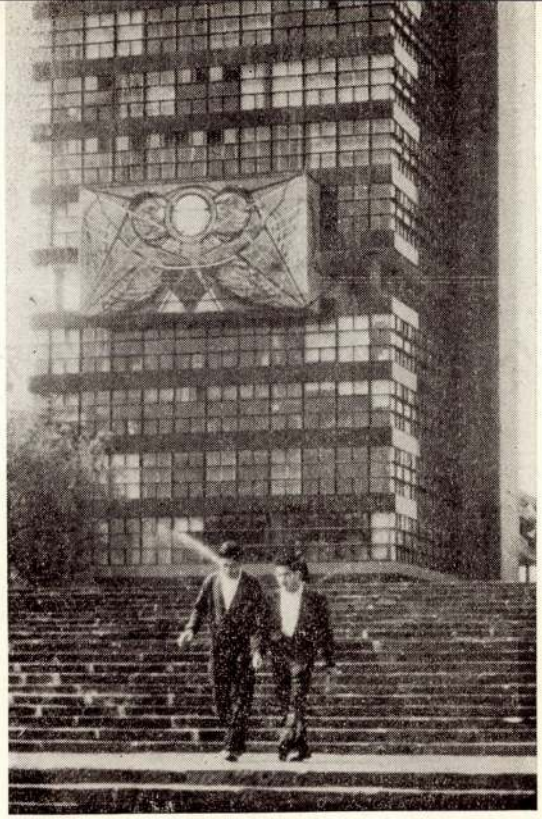
学長ビル（本館）のシケイロスの壁画，これは絵というより，彩色されたレリーフといった方がわかりよいがもとより本人は絵とか彫刻とかいったケチな区別なんか考えていないだろう。極端に力みかえった構図，半球状の顔，煙突を張りつけたような腕，赤，青，黄，紫，思い切った原色にダイナミックな黒い線が走る。それが，後と右の高いビルの間におかれて，少しもうるさくなくそのあたりをしめくくって見事である。

立役者に当る図書館全面の壁画は，ホワン・オゴルマンのメキシコの歴史を表わすモザイクタイル，思い切って壁一ぱい，装飾的に構成されていて色彩は思ったよりしぶい。まことにすばらしいが，作者のオゴルマンが建築家でもあるせいか，あまりにもピッタリし過ぎているといった感じもある。

秋になって，学校の先輩である建築の高田秀三さんがみえたとき，建築科のメキシコ人学生に案内してもらって，日本庭園をもつというオゴルマン邸を尋ねてみた。



創立者ミゲル・アレマン像; 向う：図書館



大学本館; 壁画：シケイロス

家は溶岩のカタマリをくり抜いたもので，屋内も洞窟そのまま，外は窓が鶏の眼であったり，犬だったり，黒い岩に白，黄，赤のモザイクで奇怪な感じでしかないが，思ったままにやってのける神経や，この奇怪さが，あの整然とした大きな壁面を計算しながら，計算づかれをみせない力の元かとあきれたりした。

日本式庭園というのが，やたらと樹が植えてあって，小路が曲がりくねって池があるだけ，それでいて，アメリカあたりの石ドウロウと松を植えたエセ日本庭園よりよほど日本を感じさせる。やはり感のいい人なんだろう。飼っている犬がまた片眼の秋田犬だったのには恐れいった。

大学にもどって，医学館のエペンスの壁面，絵としてし落ちるようだし，メキシコっぽい暑苦しさで，空に飛びだし過ぎると思っていたら，数学館のその部分だけ暗い長い廊下のはるかに，入口を額縁にパカッと浮いてみえるようになっていた。

空をきる法学部の階段，何面もの50メートルプールにうつる本館，建築にはズブの素人の私がみても，建物自体，どれ一つ特別に新しいというふうなものはないようだが，一つ一つは思い切って好き勝手に造ってありながら，大きく全体をまとめあげてあるのには感心した。

1953年から5年の才月と当時の金で430億円の費用と大統領ミゲル・アレマンを先頭に，メキシコ国民の夢をそそぎ込んでこれができたという。

貧富の差がいまだに極端であり，ひどい暮らしの多くの農民を知っていても，なお，これを造ったメキシコの力がうらやましい。

一人一人の生活，それは大切でもあり，小さいことでもある。それはそれとして大きな夢を実現させる力，それが一国一党の党首。専制君主的な力をもった大統領の手でなされたとしても，私にはやはりうらやましかった。

大きいといっても，アメリカやロシヤがロケットにそそぎ込んだ費用，宇宙にかける夢に比べればはるかに小さいかも知れない。名神高速道路に必要な費用よりも少ない金額でしかないが，ここには人間が造りあげたまとまった形がある。

皆で大きな美しいものを計画し，造りあげるということは，やはり価値ある仕事ではないだろうか。

法隆寺や東大寺を造った私たちの祖先がどんな貧しい暮らしをしていたかは知らない。しかし，私たちはいま法隆寺をもっている。現に私たちは当時の天皇よりも美味しいものを日常に喰い楽しんでいる。ここらで一つデッカイ美しい形をもったものを計画することはできないものだろうか。

私は絵描きではあるけれども，シケイロス，リベラのそれぞれの壁画よりも，大学全体が一つの作品，大学という機能なんか抜きにした大きな形をもった創作品としての大学が印象に残っている。

今井兼次先生とガウディ

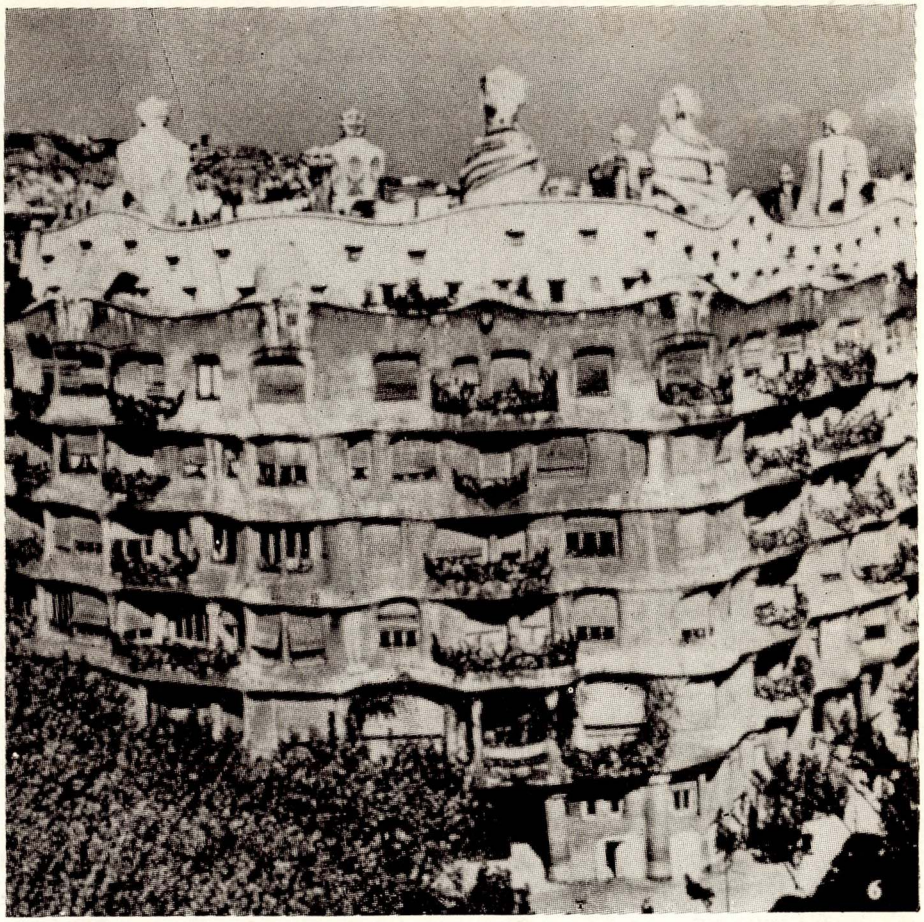
日建設計工務KK・常務取締役　岡橋作太郎

日比谷の一角に村野藤吾先生の日生劇場が竣工した。お招きをうけて見学しまったく感動してしまった。この頃は無神経な建築，これでもかといった建築，どういうつもりかわからぬ建築などが多い。こんな建築を作る建築家と村野先生のような方と同じ建築家という名称を用いてこれでよいのかと思う。さて，この建築には今井兼次先生も参加されたと承ったが，どのように参加されたかは伺っていない。あそこがもしや今井先生の……というところがないでもないが，これは私如きめくら同然のものの大見当ちがいかも知れない。互いに尊敬し合っておられるようにお見受けされる両先生のこと，眼光紙背に徹するものといえども，ここがどう，あそこがどうといったことのいえるようなものでは，あるいはないのであろう。

ともあれ深い感動に打たれたその午後のその宵に今井先生に帰ってこられたばかりのヨーロッパ旅行のお話などを伺うことができた。先生はガウディの記念の集りに参加され，半月ばかりをバルセロナに過ごされた由である。ガウディといえばバルセロナであるが，そこに滞在され非常な歓待をうけ先生一行の滞在の費用はバルセロナ市長が負担した由である。これはガウディの価値を早くから発見し世に紹介された先生に対する尊敬と感謝の現われに外ならないのであろう。また先生自らいわれる「ガウディの精神によって創られた」長崎の二十六聖人を記念する聖堂の作者に対する限りない親愛から発したものにちがいない。

ガウディは一見（写真でみると）怪奇な風があるようであるが，先生は決ってそんなものではないといわれる。ガウディは優しいといわれる。バルセロナの街角にあるあのカサ・ミラ。あの外壁の高いところに何やら文字が記されている。望遠レンズで覗いて読みとることができたが意味がわからない。スペイン語なのか，ラテン語なのか。神父さんに訊ねたら，それは「今日は」という意味だというのだよ。ガウディは通りがかりの人に「今日は」と挨拶を送っているのだ。ガウディの建築はこんなに優しいのだよ，と先生はいわれる。カサ・ミラの前に立って先生は同行の1氏に「この建築をどう思うか」と尋ねたら「優しい建築ですね」と答えたという。僕だけが優しいというのではない。始めてガウディの建築をみた人もそういうのだからまちがいないよ，と先生はいわれる。色彩もしぶいものだということである。写真家の二川氏のスライドをみた方はご存じでしょう。私はみた方からドギツイところのない美しい色彩だと聞いたことがあります。要するに人間に対する愛情，神に対する信仰が高度のものであるとき，その表現は強さを求めてある条件の下で（ある人々には）奇異にさえ受取られるということになってしまうということではなかろうか。

長崎の聖堂をいやらしいといったのを聞いたことがあるが，これはガウディの建築がときに怪奇といわれるのとまったく同じことであろう。私は長崎の聖堂は機会あるごとに訪れているが，もう少し通いたいと思っている。一度みればたくさんという建築，半分みただけでさきがわかってしまう建築などとは同日の談ではないことはお断りするまでもない。立派な建築は何度みても何度みても人を惹きつけるのは当然でありましょうが，この場合は特別なものもあるような気がするのです。ガウディの建築には遠くて読めないかも知れなくても「今日は」と挨拶を壁面に記してあるのです。建築主の知らないところにまで心が込められているのです。長崎も同じです。屋根の上面まで心が配られ手が加えられているのです。商業建築ではそれはムダなことでありましょう。しかしここでは神に対する愛，人間に対する愛，建築に対



カサ・ミラ

する愛，そして献身といったものが一つになってそうさせている。そうならざるを得ない必然性といったものが感ぜられます。このようなことが特別な力を発揮するのでありましょう。

ル・コルビジェがロンシャンの教会堂の設計を依頼されたとき「私はもはや社会の死に絶えた細胞のために建物を建てることはできない」と答えたという。しかも最後にはあのような結実をみている。この間の事情はさておき，長崎はこれとは異なり，まったく天与設計者を得たといえる。高く天に差し延べられた二本の手は26人の聖人とともに信者の一人今井兼次が神を讃えているのである。不信のものの心をも惹きつける力はまた高度の感覚に裏づけされている。この点でまたここはデザインの宝庫のようなものである。フェニックスモザイクはもとより美しい色ガラス窓，金物，石彫，仕上げの施してないコンクリートも優しい，打ち放しコンクリートにありがちのふてぶてしさ，動物の死体のような気味悪さはここにはない。優しさ素朴さ，そして力強さだけがある。

バルセロナのサグラダ・ファミリヤ教会に眠っているガウディに祈りを捧げたことは自然ななりゆきとしても，その後ヨーロッパ各地に建築家の墓参をされたことは如何にも今井先生らしいのでここにお伝えする。永い年月に亘って自分を導いてくれたこれらの建築家に心からの祈りを捧げられたのである。ストックホルムの市庁舎のエストベリの墓は方形の石の上にただ一つおかれた柱頭が如何にもエストベリらしかったこと。アスプルントの墓に詣でたとき散っていたクレマチスの花弁と落ちていたカーネーション一輪とをおきならべて供えたこと。エリエル・サーリネンの墓が巨大な自然石であり彼の協同者の名前の下にサーリネンの名前が刻まれ二人の友情がいかに厚かったかが偲ばれたこと。サーリネンが生前愛していたこの広大な屋敷の暗い木立ちがようやく開けて湖が白く光ってみえるこの一番美しい場所にまず友を葬り後年自分もまたそこに一緒に眠ったこの大サーリネンのこと。先生は感慨を込めて語られた。

ピカソ；ミロ；ノグチ

—パリ・ユネスコ本部にて—

安井建築設計事務所
神出津嶺雄

オルリー空港から北に向う6車線の高速道路，スピードメーターは110km/hを指している。500〜2,000戸程度の住居団地が左右に流れ去るうちに，エッフェル塔をピークとするパリのスカイラインが浮かんでくる。

空港—それと市中へのアプローチ道路—これが現在の都市の顔であろう。ヨーロッパの各都市の美しいそれを想うとき，羽田，伊丹の何と未充実のことだろうか。

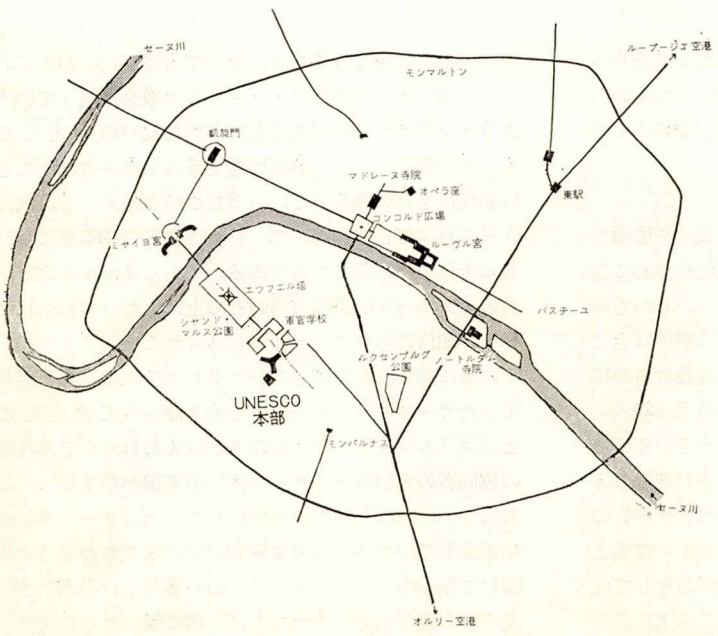
25m級の建物がビッシリ詰ったパリ旧市内に，大きく強く切開らかれた二本の軸がある。凱旋門—シャンデリゼ通り—コンコルド広場—ルーヴル宮のナポレオン・オースマンによる軸，もう一本のシャイヨ宮—エッフェル塔—シャン・ド・マルス公園—軍官学校の万国博覧会軸，いづれも都市計画暴力論を身近かに感じさせる強力なものである。

ユネスコ本部はこの第2の軸の完結として，そしてまた新しい世代の出発点として，パリのジレンマをそのままにここに構築されたわけである。

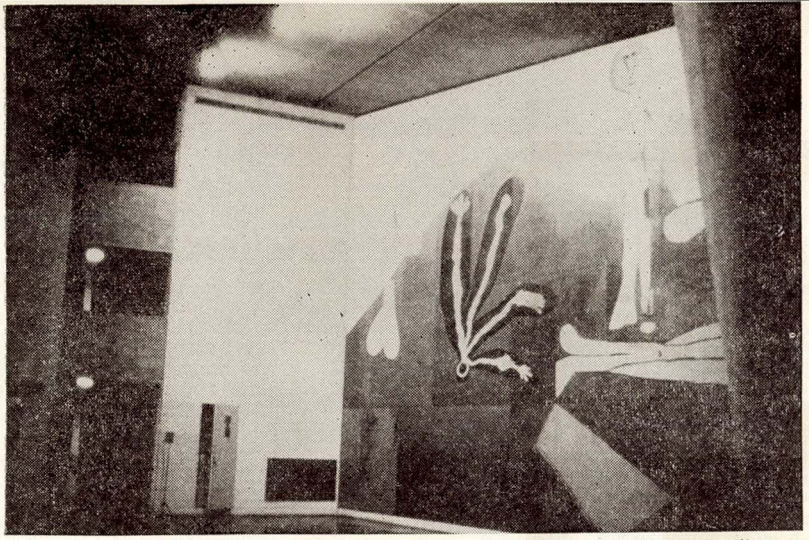
まず敷地に問題があった。この軍官学校前のフォントノワ広場は第一案とともに一度は放棄され，凱旋門の延長ブローニュの森に近い一角に，17階建の第二案が作られた。この高層案はパリ世論に敗れ—これが実施に移されたならば，パリのスカイラインは一変しただろう—ふたたび現在の敷地に，Y型のプランで設計が進められた。

“舟頭多くして舟山へ登る”のはわが国だけの話ではなさそうだ。W・グロピウス，L・コルビュジェ，L・コスタ，S・マルケリウス，E・ロジャースを顧問団にいただき，M・ブロイヤー，P・L・ネルビィ，B・ゼールフスの協同設計，各国よりの中堅詳細設計グループ，H・リード以下3名の美術顧問，ピカソ，タマヨに始まって，I・ノグチに終る芸術家集団，からむには悪名高きパリ市建築担当々局筋——オールスター映画に名作はない。現代のすぐれた会議運営技術が，すぐれない会議結論を生む。ここでもパーキンソンの法則に名をなせしめたらしい。

とにかく，フォントノワ広場の玄関より入ろう。学生時代，その計画スケッチをみて胸をときめかした，ネルビィの強力なピロティはごく一部を残して，マットな石貼に覆われて力を失っている。太陽光線に対し細心に考えられたはずの立面も雑然としてしまったし，Y型の中央PRロウンジも一向ユネスコのムードがでない。これは一体どうしたことだろ



パ リ ・ ス ケ ッ チ



ピカソ・堕ちていく天使

う。予算もかなり制限されたものらしく，ディテールも感心しない。議場ブロックにはまだまだ救いがある。コンクリート折板のスリリングな構造と明快なプラン，セクション，ここにはブロイヤーとネルビィのいい面のいい結合が感じられた。

事務局と議場の連結部分がまたアカ抜けせず，鈍重な扱いで，デザイン密度の一番の弱点となっている。そして皮肉にもこのリンク部分に主要な美術作品が配される。室内にピカソの壁画，屋外のミロの陶板ブロックによる壁画の二つである。

巾8m×高6m程度“罪悪と死への正義と平和の軍の勝利”黄，褐色，黒，暗緑のやや不安定な配分のピカソはこのリンク状のフォワイエの議場側の吹抜けスペースを埋める最大の壁画であり，代表団，記者団，事務局員のためのロビー，ソーダファウテンを偉圧している。私は“堕ちていく天使”という俗題の方が好きだが，いづれにしてもゲルニカなど一連の戦禍ものの延長で，発表時に評論家間で論争のあったほどの難解な解釈を必要とせずとも受取れるテーマであると感じられた。

建築の一部に芸術作品が固定されたとき，芸術本来の目的から離れてその作品にプラクティスな用途が与えられるという考え方によれば，ここでピカソは議場に出入する人たちに，自己の信念をもって働きかける大きな機会を得たわけであろう。

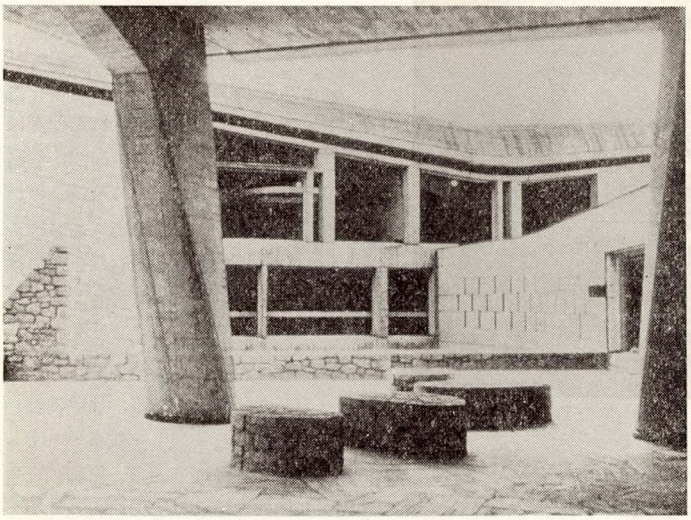
議場でいかに熱熱した論議が行なわれるのかは知らない。もしそれがデッドヒートしたものならば，そこから開放された人間に対しては，この絵はさらに動きがあり過ぎるように思われた。もしダルな会議が続くのであれば，入場する人たちにこの絵はあるベクトル—平和と幸福のために—を与え得るにちがいない。

ミロの方はうんと楽しい。タイトルは“昼と夜”。与えられた壁面はやや高さが不足ではあるが，事務局玄関，エッフェル塔の遠望といい位置にある。長さは相当にあり，これを二分して，いかにも昼と夜のフィーリングを焼出している。もろんミロ一流のファンタジック・パターン，インデイコ，バーミリオン，コバルトを多用してあり，油絵のミロよりかなりファンキーな調子—もっとも屋外配置を前提としてよくできている。原画制作中の写真（国際建築'59.1）と完成したものが大きく異なるのも作者の傾注とみたい。延長約10m，全体のトーンはよく事務局の打放しコンクリートから浮びでている。置かれる場においての制作という理想と，完成までの時間的困難さとの相剋の一つのいいソリューションであろう。建築のそこに美術品が配されると決定されたとき，作者にその作品を囲む磁場の理解はかなり困難であろう。それは作家の名声や業績にほとんど関係なく，建築家にとってすら完全な組立，表現は無理な段階である。作業が進行し，そこが作者に実物で与えられるときにはタイムアップが迫っているのが通例である。

彫刻は3点ある。H・ムーアの石による人像，例によってなめらかな曲面による構成，駐車場側の広場のいい位

ミロ（遠くエツフエル塔がみえる）





ピロティと議場

置にある。議場の横にカルダーの金属による動く彫刻。J・アルプのリリーフはピロティの一部にあったそうだが，これは見落した。不運な壁面を割りつけられたものだ。

タマヨ，アフロ，アッペル，マッタなどの画家の名前が連ねられているが，彼らの作品はみつけやすい場所にはなかったようだ。35mm とローライの名手ブラッサイの写真も期待していたが，これも発見不能であった。

もっとも意欲的で，大規模で，しかも幸運だったのは，I・ノグチによる庭園構成である。与えられた面積（約800坪）周囲の建物，かなりの高低差に奔放な展開をみせている。テラス，地下室の窓，外壁などまで一体とし，石の腰掛，机，日本よりの石材によるアブストラクトな灯籠，不整形な池，橋，すべてを自由に意のままに取操ってしかも日本庭園の伝統を正しく感じさせる。ノグチの芸術とよき職人性の傑作であろう。

庭を見下すテラスから立ち去り難い時間を費した私は“芸術作品とその周辺の適量の人間”のバランスを感じた。ユネスコ事務局に世界各国より集まった女性たち，その数人が，ブロンド，プラチナ，ブルーネットも美しくそこここのベンチに本当にノグチの意志の延長でもあるかのように散らばって庭と一つになっている。美しかった。

ともあれ，種々の反動的なムードに抵抗しつつ，集団的な建築家群が，短工期と低予算に苦しみながら，集団的な芸術家群との協力に，実験的努力を傾注して作り上げたユネスコ本部は，ヨーロッパにおける戦後建築の大きなマイルストーンになったことはまちがいない。そして，そこから放射された多くの道が，ヨーロッパ各地に拡がったことだろう。ピロティの下にパークさせてあった車をスタートさせエッフェル塔よりの落日を背に，つぎの目的地パリの大学都市へと走らせた。そこにはコルのスイス，ブラジル学生ドミトリーが待っているはずである。

ノグチ・庭園



ロンシャン――建築が造型的事件であるということ

坂倉準三建築研究所

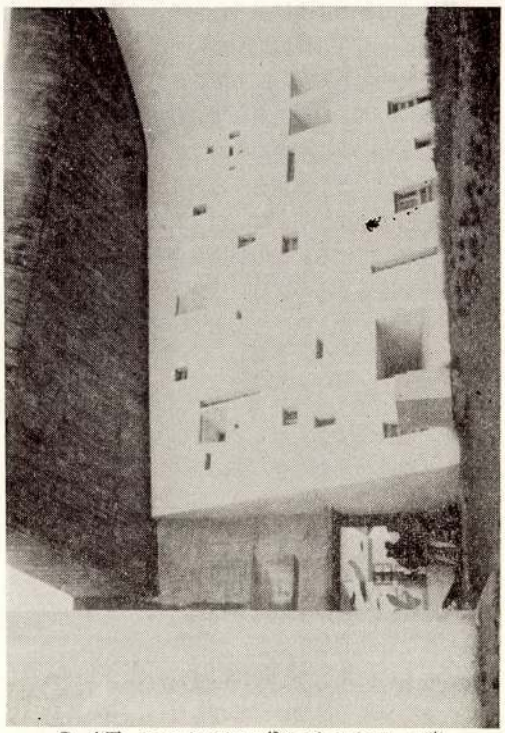
西沢文隆

『1955年春，ロンシャンの教会堂が完成されたならば，あるいは建築が列柱によったりするものではなく，造型的な事件であるということを説明するかも知れない』モデュロール第2巻の中で，コルビュジェが胸をふくらませて述べたように，まさしくロンシャンの教会は造型的な事件であることを見事証明することとなった。マルセイユのユニテも世界の建築界に話題を提供したが，それはかねがねの彼の都市への発想の一箇の涙ぐましい結実としてであり，それは比例的にも空間的にもよく処理されたものであるとはいえ，いままでの建築主張の集大成としてのよさであり，ロンシャンの教会やブリュッセル博のフィリップス館は別の次元の空間構造に属するように思われる。たとえばキスラーのエンドレス・ハウスにみるような構想はすでに存じていても，実際にぴったりと使いうる建物として，今日的でしかも有機的な空間の次元の高まりを実現したということは実に偉大なことである。有機的建築を標榜するライトの建築―とくにタリエセンウェストの如きものは構造と空間の密実性があり，将来に伸びうる空間性を着実に把握しているものであるにかかわらず，そこにどことなく古めかしい感覚に対する反発を感じるのはどうしたものであろうか。それをアリゾナの土着性という言葉で果して解明できるものであろうか。マヤ文化的なディテールの嗅みというものが，以外に肉体的というよりは無機的な要素を内含するのであろうか。もちろん実物をみていない私には，それをとやかくいう資格はないであろうし，実物をみたらその造型的見事さに感動して分析するだけの能力を失墜するのではないかと思う。ロンシャンの場合はその解決がすべて今日的でありながら，しかも各部がすべて相呼応し合って完全一体の有機的空間造型を産みだしていることである。（東北隅のピラミットを除いては）

自然は無秩序なもの，幾何学こそ自然を秩序立てるものと観照する彼の自然観は，日本人である私には習慣的に一種の抵抗を感じさせるものであるが，この頃その真



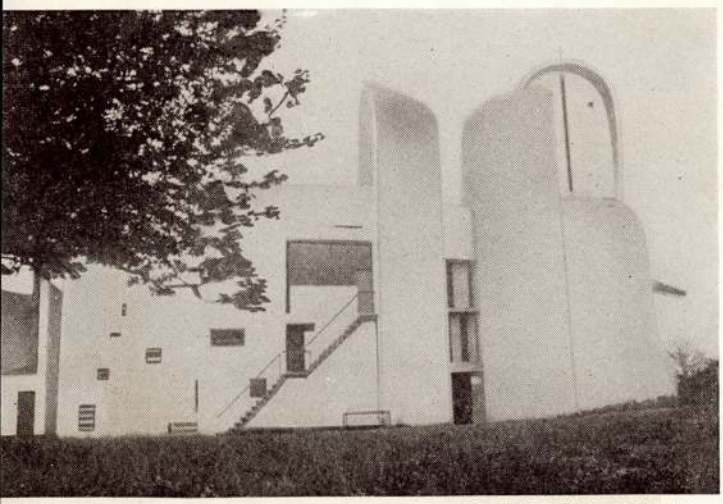
① アプローチ，水平に伸びる僧院。向うに教会の東南角が頭をのぞかせている。



② 南面，ステンドグラスに代るべきモデュロール窓。コルビュジエの手による琺瑯画。



④ コルビュジエのデッサンによる硝子絵の窓。新しいステンドグラスへの試み。北入口を入つた突端に開けるこの壮大な窓の交響楽に人はまづ圧倒される。キャンドルライト，マリア像，そして静かに光る床面へと視線が追つてゆく。



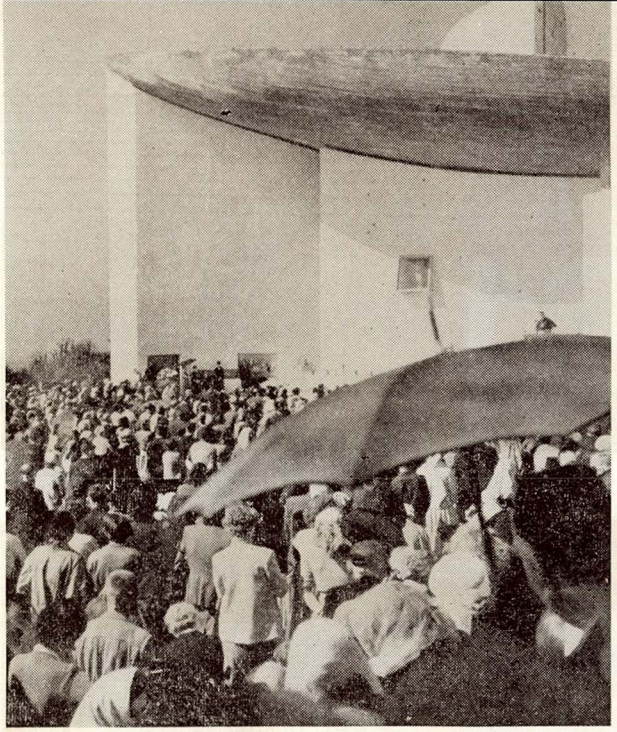
③ 北面，聖歌台への階段と出入口。塔下部が洗礼堂。



⑤ 同上，静謐な音楽的光のリズムの中にキャンドルの灯が主役を奏る。

意が次第に呑込めてきたように思う。有機的建築をもって自ら任ずるライトも『蜜蜂の巣や蟻の塔はなるほど美しく，そして有機的であるが，決して芸術作品ではない』とはっきりいい切る自信をもっていた。この二人の巨匠こそ物を創るという立場を西欧的立場に立って闡明しているのである。（ライトが自然の調和性に不信を表明している言を私はいまだ知らないが）二人はともに自然の芸術性を否定している。その明快な判断によってこそ，そこに作品を造ることにより自然をも合一せしめて一つの作品にまとめあげる術を心得えている芸術家である。

『ロンシャンの教会はヴォージュ山脈の一番端の峰の上にある巡礼の教会堂であり，その場所は祈りと救いの場所となるであろう。それは西にリーヌ川の平野を見下し，東にヴォージュ山脈を迎え，そして北と南に小さな谷を控えている。この四方の風景はそこに実在し，そこの主である。この四つの眺めに対して，教会は「形の世界に導入された音響的な現象」の効果をもって呼びかける。すべてのものに親しみが組み込まれ，えもいわれぬ空間の輝やきを発現し得なければならない。……抒情的なもの，詩的な現象は，利害を越えた発明，相互関係の輝やかしさによって奔りだされる』その言葉のとおりロンシャンは出現した。私は遙か緑の小高い山の峰に白い菫のように位置を占めたロンシャンを望見したときの感激を忘れることができない。中世そのもののような街並で車を捨て，鉄のグリルの門をくぐって細々と丘へ上ってゆくとき突然開ける緑の丘を水平に切る僧院の水平線，そしてその上に東南の尖った出隅の屋根が現われてきたときの感激，小高い丘一つを占領してその中に正しく位置するロンシャン，緑は萼の如く，教会は花びらのようである。南面に開けられた多くの窓はモデュロール割りによってアットランダムの如く，しかも秩序を保つ。天井との間に細く開けられたスリット，西南より西北へと廻る壁との間を切断するように造られた彼自身のデッサンによる琺瑯画の大扉，ここは儀式のとき行列の出入りする口である。西南角より西北へと廻る壁，それはこの構造物の花軸に当り，南より東へと大庇を開げた壁が花弁に当る。軸部には懺悔室（西壁下部に小さくふくれたところ）や洗礼所（塔の下部），聖歌台（東北）などが配置され，東正面にマリアの像，南の深い多くの窓からはコルビュジェのデッサンによる絵硝子を通してさし



⑥ 野外祭礼の状況。人の群によつて建物は生々とする。



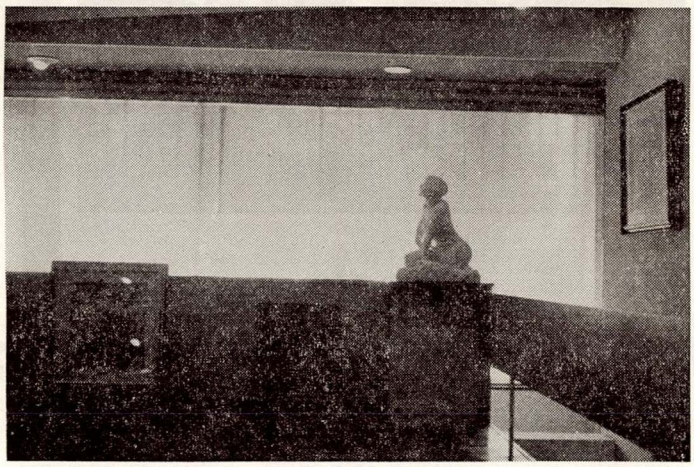
⑦ 西側，雨水受，モルタルの素面と打放しの見事な材質感。丸くふくれているのは懺悔室のニツチ。

こむ光，東および南天井際に設けられたスリットにより打放しの懸垂屋根は天幕のように中空に浮かび上る。これらの諸要素の中にあって床だけが実にきっちりと石で畳れてあってほのかに微光を発し，それがえもいわれぬ空間の静謐を造りだしている。

自然に調和する外部と外界を完全に遮断した内部空間の神聖さとの巧みな使いわけは実に見事であり，何でもかんでも外部と内部を結びつけたがる現代建築家によい規範を示してくれている。外部と内部を繋ぐものは，正面のマリア像（これは硝子窓をバックにしてニッチの中に入っており，東側祭壇からはその背後を拝むようになっており，東側のテレスで野外の祭礼が催される。この窓にも新しい空間感がある），南面に一ぱい開けられたモデュロール窓（ステンドグラスに代るべき新しい試みとして見事な成功をみせている），東および南天井際に設けられた光のスリット，真赤に塗られた洗礼堂上部のトップライトの塔（赤い硝子を用いず，塔内を赤く塗るだけで効果をだしただけでなく，超自然的な現代的光の在り方を指し示す）の四つだけである。それを包む壁と屋根は蟹の甲羅のように造られた二重構造の厚い皮膜であり，いままでになかった新しい構造的試みである。ここには柱は一本も存在せず，壁と屋根だけで一つの完璧な建築空間が出現したのである。ここには先述した床石を除いては何も立派な材料はない，しかも打放しもモルタルの粗な壁面も，いままでのみすぼらしい材料感を脱して自然材料—石の見事さにまで高められているのである。それは画家であり，彫刻家であり，建築家であり，都市計画家であるコルビュジェの全身をぶっつけた仕事であり，あたかもガウディの作品をみるような職人的な嗅いさえ感じるほどである。職人的という言葉が最近とりあげられてきた所以は，あまりにも観念的創造に対するアンティテーゼであろう。ガウディがとりあげられたこと自身もあくなき職人根性の見事さと造型感覚の確かさによるのであって，ガウディを賞讃する人々が，彼の構造の把み方の確かさをどれだけ把握して観賞しているであろうか。職人であることももちろん必要であるが，それよりさきに建築家であることの大切さをしみじみと思わねばならない。ロンシャンのノートルダム・デュ・オーは今日の建築の進むべき方向を指し示すものであり建築が如何にあるべきか，建築家が如何にあるべきかを明瞭に示してくれる。しかもそれは使う建物であり，使われている状態においてもっとも美しいということを忘れてはならない。



〔Photo 1〕梅田画廊
ファサードの一部：傾斜した外壁とデザインされた外灯



〔Photo 2〕梅田画廊
2階展示場の一部：カーテンにより外光は乱反射されて入ってくる

Possitiveな「街の建築空間」

—大阪市内の画廊みてある記—

大成建設KK大阪支店設計課　高田　威

爽やかな秋風とともに美術のシーズンが訪れ「建築と社会」においても「建築と芸術」特集が企画されたことは，まことに当を得ている。ところがこの意図に対して私がペンをとること自体はなはだ生意気なような気がするが，あえて我慢願って建築と美術の交流の場といえる「画廊」のもつ雰囲気をとりあげてみたいと思う。

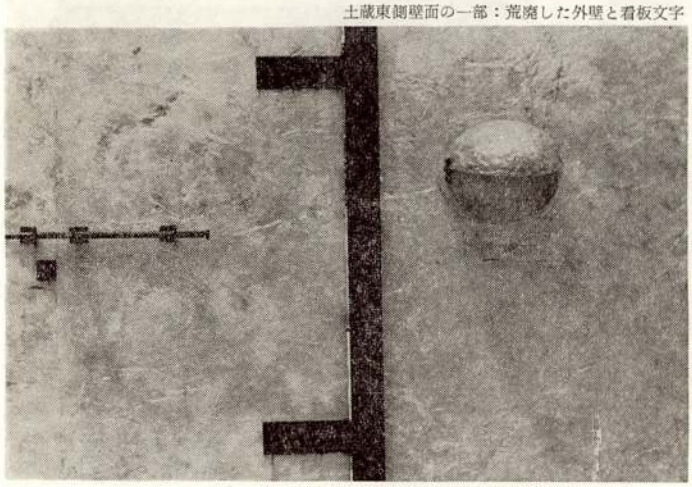
毎日の煩雑な生活の中で人は無暗に神経をすり減らし，その反動としてレジャーとバカンスに貴重な時と金を費している。街にいて街の中で健全でかつ豊かな建築空間が求められるとすれば，あわただしい生活の中にもうるおいが生れ，なごやかな生活が生みだせるかも知れない。重なり合った灰色のビルの谷間にもときどき，ささやかな密度高い建築空間をみつけだすことができる。「画廊」もその一つであろう。とくに美術品を鑑賞するという雰囲気を構成する積極的な意味をもつ建築空間を形成している「画廊」。そういった空間を二，三ピックアップしてみることにする。

◆梅田画廊

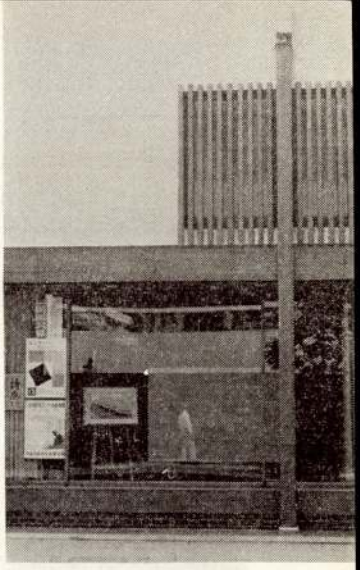
梅田大映の南の狭い通りに面して全体がデザインディスプレイの如き瀟洒な建物がある。彦谷邦一氏設計の梅田画廊である。前面道路巾による高度斜線制限のためにバックセットしたファサードを急勾配のスレート貼壁面であざやかに処理して周囲の喧噪な街並から建物をくっきり浮き立たせている。1階は小展示と事務応接に当てられ，2，3階の主要部をメインの展示に開放している。北側からの昼光を自然にとり入れ，高度制限による低い階高も天井面のラフな仕上でうまくカバーして適度の展示スペースを明るくかつ落着いた雰囲気にもってきている。外壁スレート面の切り込みの扱いや門前の長いパイプにとりつけられた外灯の変化ある意匠にも設計者独特のデザインセンスの横溢している画廊である。



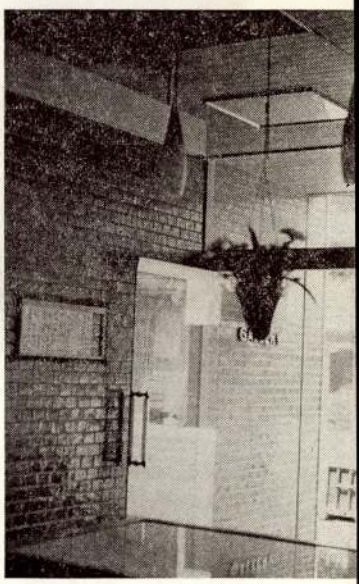
〔Photo 3〕GUTAI-PINACOTHECA
土蔵東側壁面の一部：荒廃した外壁と看板文字



〔Photo 4〕GUTAI-PINACOTHECA
中庭に面した意匠的な門扉：右突起は郵便受



〔Photo 5〕 →
辻梅GALLERY
ファサードの一部：竪格子，木柱，外灯がみえる



〔Photo 6〕 →
辻梅 GALLERY
玄関部分：タイル壁面と変化ある天井の一部

◆ GUTAI-PINACOTHECA （具体絵画館）

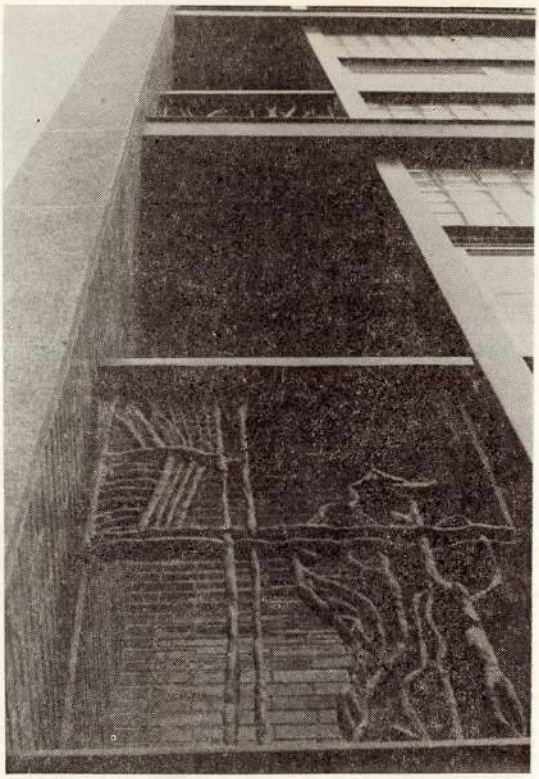
中之島関電ビルの南の道路を少し西へいったところに，外見荒廃したままの大きな土蔵がある。これがグタイ美術本拠の GUTAI-PINACOTHECA である。画廊というより小美術館といった方がよいかも知れない。吉原製油の元倉庫であったらしい。かなり前衛的な作風をうけ入れるにふさわしく，内部は昔のままの黒づんだ木材を基調として壁面は径3寸程度の丸太の連続として構成されている。天井の高い室内は中央通路をはさんで両側1，2階とも展示場に当てられ充分な展示面積を誇っている。土蔵そのままの改装であるため，自然光のとり入れはほとんどなく，すべて人工照明に頼っているようだが，これは外部と隔離された非写実の空間を構成するのに役立っている。土蔵の東側の空地は太陽をまともにうける屋外展示場となっており，荒れた土蔵の壁面と変化あるファイバープラスチック系ボードによる門扉によって囲まれている。室内の閉鎖的な暗さに比して明るいむきだしの外部空間は砂漠さながらに進歩的な彫刻や粗野なテクスチャーをもつオブジェによくマッチしてゆきそうである。全体として建物のラフな構成はかなり生々しく，それだけにここにのべている他の画廊―梅田，辻梅，フジカワなど―に比してその性格が異なり，グループ独自の空間として個性ある雰囲気を醸成しているようである。

◆ 辻梅 GALLARY

御堂筋から平野町を少し東へ入ったところにある。梅田画廊同様彦谷氏の設計で，昔の大阪の面影を幾分か残している街並に落着いたたたずまいを示している。2階建の小画廊である。白い外壁と淡褐色の木部のコントラストをもって手際よくまとめられたファサードは木製竪格子とデザインされた木柱の上の外灯に素材を生かした密度ある意匠がうかがわれる。道路面から数段高くなった展示場は奥の小さな中庭の扱いで空間の狭さをカバー



〔Photo 7〕フジカワ画廊ファサード：グラスブロック，バルコニーによる構成



〔Photo 8〕フジカワ画廊バルコニーグリル：グリル背面はネオタイル貼

し，刺激的にならない建築空間のとり入れが巧みに行なわれている。入口右手のタイルの壁面と照明にはもう一工夫あってもよかったように思われる。しかし美術の鑑賞にこの小画廊に立寄った人々はこの空間に身をゆだね建築に何ら威圧をうけることなしに画面に溶け込んでゆけるような気がする。

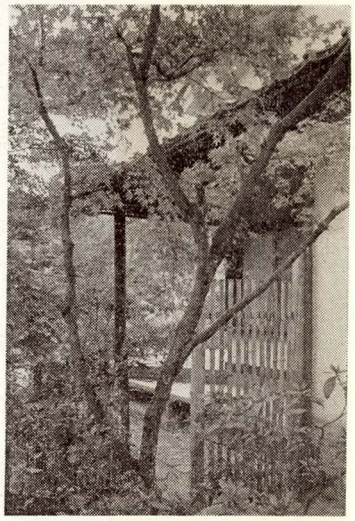
◆ フジカワ画廊

堺筋の三越と本町のほぼ中間に鉄筋コンクリート造の小ビルがある。1階と中2階を常設の画廊として市民に開放している。衆知の如く村野藤吾氏設計のフジカワ画廊である。1階壁面の縁の大理石，小松石系の凝石，それにファサードを特徴づけているグラスブロックとバルコニーグリル，それらの意匠的な複合体によって，このビルに一般のオフィスビルと異なった雰囲気をもたせることに成功している。歩道面と同じ高さからドアを押してすぐに1階のメイン展示場になっているが，道路面の騒音をさえぎるにはアプローチに難があるようである。しかし建築面積の小さいビルで，かつ上階への階段，エレベーターなどいわゆるビル玄関スペースを除いた面積を展示に使用しているので，立地条件上致し方ないことであろう。場所柄サラリーマンや BG の格好の安息場所といえる。中2階は1階展示場のフキヌキより見通せるが，展示規模が大きいと床をかけて展示面積を増大できるようである。インテリヤの扱いによって小規模の展示には好適の空間を生みだせる画廊であろう。

その他，小画廊は市内あちこちに散在しているが，ここでは目についた主なものをとりあげてみた。この種の建物は構造的には小規模であまりみるべきものはないが建築内外のデザインに設計者の意欲がうかがわれるものが多い。このような画廊という場は，建築があらゆる芸術の母体であった古代にかえって芸術を暖かく包含する空間を創りだしてゆかねばならない。これら謙虚な「街の Possitive な空間」はむやみやたらにとりつけられた大建築の壁画や彫刻に対して静かに人の心を慰めているようである。―以上―

村野藤吾のクラフト的魅力

倉敷建築研究所長　浦辺鎮太郎



村野藤吾邸

この課題は一見妥当のようだが，私には無理難題(？)というものです。作品のクラフト的魅力ということを主眼にして作家を特長づけたり評価しようとするのであれば，むしろ大阪では平田雅哉棟梁にご登場いただいた方が，そのものズバリとゆくのではありませんか？

村野邸の草堂はこのお二人の合作で完全なクラフトであり，クラフト的魅力にあふれた住宅です。一体クラフト，クラフトとさわぐのはやはり日本が急テンポで工業化していった半面，失ってはならない民族の誇りであったクラフトを見失ってしまったという誤算があるように思います。遺産を浪費してしまって始めて，その大切なことに目がさめた——もっと上手な使い方もあったのだがという気持が感じられます。クラフト的魅力もクラフト以外からは生まれるものではありません。

私はあの草堂を眺めて巨匠と名人出会いの名勝負の場などというジャーナリスト的感慨もあることは否定しませんが，やはり人間性のはてしない深さ，面白さ，そしてはかなさを感じます。お二人は中山悦治といって匹夫より身を起こしついに巨富を積んだはなはだ人間的面白味のある事業家を共通のクライアントとしてもたれていました。いつかも村野先生は「生きるか死ぬかの仕事をやってきた人には魅かれる。先生のお好きなようにといわれればね。それが私には殺し文句ですよ」とこの故人のことを語られた。建築の仕事を頼む人，頼まれる人，第三の立場から眺める人——この間に職業，職能，社会的地位の枠がはずれて，心底に通うものが存在するからこそ建築芸術の花が開くのであって，この花の香りがクラフト的魅力になるか，そうでないかは個性と場合によると思います。

村野藤吾という作家の personality の一面には名人気質，巨匠の風格が共存しているようです。その人間性の分身ともみられる作品にクラフト的魅力を発見することは容易でありますが——そこにだけ目がとまってしまっては仕方がない。お茶の席でみて「村野先生は茶人だな」ゴルフ場でみて「ゴルフに熱中されている」達筆の文字をみて「先生は書家だよ」資本論を熟読されたと聞いて「フーン，あれでマルクス派かな」和服姿をみて「先生は本当は日本趣味だということを発見した」洋食を賞味される姿をみて「ヨーロッパを深く理解している」……こういう見方に限りがなくて，私にいわせれば一知半解でいけないです。人なみ優ぐれた巾もあり，深みもあり，高さも，重さもあるといった人間性は人なみのところからはわかりにくい——その人間性が時と所を得れば八方にでてくるので「鬼もあり姫もまたある百合の花」ということになります。

昭和初期の森五ビルと大阪パンション，今日の日生劇場と大津レストハウスの対照的な実証をあげるまでもありません。森五と日生では村野作品のトレードマークの如くいわれるクラフト的魅力を堪能することができますしかしそれだけではない。第三者に村野芸術の高潮にぶつかり，タンゲイすべからざる作家だと感じる。その高潮は力量ある人をも押し流すぐらい激しく厳しい。

同じ作家が前後してパンションやレストハウスを作っている——この作家をあるいは作品を一視同塵にクラフト的魅力で片づけようとしてもできることでしょうか？私は村野作品に共通したプリンシプルが三則あると解釈しております。その詳しいことは他日異時，世に問いたい気持でおります。

書　評

ペーター・ブレイク著
田中正雄・奥平耕造　共訳

「現代建築の巨匠」—20世紀の空間を創造した人びと—

（1963年　8月　彰国社発行　3,900円）

最近，浜口隆一著「**現代デザインをになう人々**」（工作社刊：580円）や，神代雄一郎著「**近代建築の黎明**」（美術出版社刊：580 円）など，内外建築家の評伝が発行され，作家の人間像を通して，歴史を語り建築作品の背景を見直そうとする方向が深まってきた。そうした中で，1960年発行のPeter Blake 著 **"The Master Builders"** の訳本がでた。楽しいよみものである。

題名の示すとおり，ル・コルビュジェ，ミース・ファン・デル・ローエ，フランク・ロイド・ライトという現代建築を開拓しリードしつづけてきた三つの最高峰の作家論である。

今日，すぐれた建築家は沢山輩出しているが「巨匠」の名に値する建築家ということになると，天才的なひらめきと創造力，活動のスケールと影響力の大きさなどからして，むやみには得がたい。向井正也氏も指摘しているように「巨匠であるためには，天賦の才に加えて，ある程度以上長期にわたるすぐれた作品の蓄積と盛りあがりが必要である」幸い現代はその巨匠の名にふさわしいコル，ミース，ライトの三大建築家を擁した。彼らの20世紀初頭から現在に至る長年月にわたる豊かな建築活動は，たえず建築界をゆさぶりつづけてきた。だからこの三大ピークの伝記は，興味深い現代建築史でもある。

著者はル・コルビュジェをフォルムのマスターとして，ペレーやベーレンス，ライトの作品集，立体派，そして地中海の伝統の質量感を土壌として発展していった過程を追求している。そして機械美への信頼から彫塑的フォルムへの興味，都市計画のイメージの積み重ね，モデュロールの探求などの多様なひろがりを浮彫りし，多くの建築建設のエピソード，国際コンペのいきさつなどたくみな筆致で読ませてくれる。機能主義のキャッチフレーズにまでなった「住宅は住むための機械である」という主張の解説も「家は機械と同様美しくあらねばならない」というコルの言葉で，いままでの一般の単純な理解を否定している。コルの洞察力の深さ，変貌の激しさの中にひそむ筋金を著者はよく引き出している。

ミース・ファン・デル・ローエについては，ストラクチュアのマスターとして，煉瓦や石などの伝統的材料のトレーニングから，鉄・ガラス，コンクリートなどの新材料の十分な理解，現代の時代要求の把握，空間の自由性の考察などから，ミースの本領を観察している。ベーレンスやベルラーヘなどから得た建築概念，古典的伝統への深い理解，ガラスの大量使用とディテールの単純化から，美しいプロポーションに細かい神経を働かせ，構造に忠実な，また構造の率直な表現を心がけ，正しい合理的精神をふまえた活動の定着をよくとらえている。材料，機能，創造の三つの軸を通して着実な歩みを示したというミースの「一つ一つの決定を積み重ねることによって始めて固有の秩序ができあがるのだ」とか「合理的

エマルション壁塗料
日本ペイント
ビニレックス
5000級スーパー
外部用・内部用
ビニール壁塗料
ビニレックス5000
大阪・東京・名古屋
福岡・広島・仙台
札幌・小倉・神戸
金沢・浜松・静岡
藤沢・群馬・新潟

な前進は昔の宗教的秩序からでたきびしい規律の過程に似ている」という言葉が，それを裏づけて印象的である。また「建築は躍動し変化する空間に投影された時代の意思である」とか「ギリシャ寺院，ローマのバジリカ，中世の大伽藍などはすべて，個人的建築家の作品というよりその時代の創造として意味がある。これらの建築の建設者の名をだれが問題にするであろうか」と語る中にミースの広量な精神をくみとることができるし，将来の建築のアノニマスな方向の暗示が得られる。

フランク・ロイド・ライトについては，スペースのマスターとして，アメリカの風土に立った根強い個性の展開が描かれている。サリバン事務所での仕事，草原住宅の水平に流動する空間処理から，連続性と造形性，立体的な方向，日本建築への愛着，円形のパターン，壁面装飾や空間構成の複雑さ，国際建築様式への抵抗など，彼の執拗な追求を著者は掘り起こした。「若い頃に，私は正直な傲慢さか，偽善的な謙遜かどちらかを選ばなければならなかった。私は正直な傲慢さを選んだ。そしてそれを変える必要はなかった」と本書に引用されているライトの言葉からも，ライトの孤立の中にも自信と独立性をもって不屈に押し通したねばりをあらためて感ずる。著者はライトの私生活的な面にも紙数を割いて，彼の巾広い人間像を浮かびあがらせている。

本書は三巨匠の各々の歩んだ道をたどった上で，最後の数頁に総括して「展望」として，今後の方向に軽くふくれている。そして「第一に新しい建築の基本的な原則は上記三人の偉大な立法者によってその基を定められたこと，第二に個人的な英雄の時代は終ったのであること，第三に将来の英雄は都市自体である，ということである。この三つの原則を受け入れることから偉大な芸術家が成長するであろう」と結論している。

現代，この三巨匠を乗り越えようといろいろな動きがみられるが，まだ明確な新しい大道は拓けていない。

巨匠たちがたどった道が如何に多難であり，如何に偉大な足跡を残してきたかを，本書を通じて再確認させられる。しかし，これからのより一層困難な道程には，新しい巨匠の誕生を待たねばならないのだろうか。すぐれた創造や開拓は確かに大切であるが，反面それは無数のエピゴーネンを生む。その上現代の建築は個性やオーダーメードの限界を越えたアノニマスなもののもつ意味を十分考えておく必要があろう。そういう点では現代はもう「巨匠の時代はすでに去った」ともいえるかも知れない。新しい定形化や様式化や標準化の動き，そして使用者層の観察などが過去や巨匠を振り返ってみることとともに重要な課題になろう。

ところで，本書に述べられている巨匠たちの探求が，現在すべて実現されてしまったわけではない。まだまだ今後も引き続いて追求すべき問題も数多く蔵されている。われわれは巨匠たちから受け継ぐものを追随者としてではなく現代の時点に立って展開の道を拓き，また新しい課題にも立ち向ってゆかねばならない。そのためには「建築と芸術」とか「建築芸術」という作家意識や個性的表現の狭いひびきからわれわれはまず抜け出さねばならないのではなかろうか。

本書では，そういう将来への期待や見通しを巨匠たちを通じてみようとしたものではなく，あくまでもコル，ミース，ライトの三人の生涯の活動状況を，豊富な資料やエピソードをおりまぜながら鋭く観察し，彼らの偉大さを語っている。一般史では得られない発想から計画や建設の周辺や背景が描かれ，当時のおかれていた立場をよく理解させてくれるのでありがたい。また作家を通して過去を生きた過去として見直すきっかけを新たに作ってくれた著者ブレイクの筆の力と資料駆使のうまさと巨匠への暖かい目は，一層よみものにしている。訳文も生硬さがなく，よむ抵抗をあまり感じさせなかった。

ただ欲をいえば，よみものとしては一般書より豪華な訳本になって原書より高価なこと，そしてこれを手掛りとしてもっと深く突っ込みたい人々のために，年表とか文献とか，引用出所などがつけ加えられていたら便利なものになったろう。また著者ブレイクの巨匠の分析を通した今後の展望方向をもっと浮彫りしてほしかった。

とまれ，簡潔な文章でやや断片的なセクションがならんでいるが，恰好の興味あるよみものになっており，親しみやすい現代建築史の入門書ともなろう。よい本をだしてくれた。

（神戸大学　島田勝次）

特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
CERAMIC SKIN
建造物の外壁面に!!陶器の壁紙
セラクロス
CERAMIC CLOTH
山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL(371)4851～3
関東地区取扱店・小林窯業株式会社
東京都太田区新井宿2－1500TEL (771) 6347

会員の頁

どしどしご投稿下さい。テーマ自由。掲載の分には粗品呈上。8月号，10月号に振込のハガキをご利用下さい

☆　★　☆

□綜合建築センターの夢□

こと建築に従事する人に会うたびに多忙であるという。それぞれの仕事を全うすることがはなはだむづかしい状態にそれぞれがおかれているらしい。このような状態で熟され，にえつまった建築物が一体いくつ建てられているのであろうか。一例を材料にとってみても，つぎからつぎに新しいものがでてくるその中にはいつともしれず消えゆくものもある。新材料がでても信用度に疑問をもつ，ためらううちにときが経つ，研究は追いつかない。大規模な建材センターを容し建築家のための調査機関を備え，貴重な文献を蔵しこと建築に関与するすべての人々の利用できる“綜合建築センター”が少なくとも大都市に一つ位はできればと思う。これは建築界のみならず，国家的見地からでも建築家はそれぞれの分野にスピード時代を乗切り雑用から解放され，得策となって返ってくるのではないだろうか。

（西宮市宮前町50・設計事務所チーフ
関　　鎮）

■ご趣旨の綜合建築センターの構想と少しちがうかもしれませんが，目下「日本建築綜合試験所」を大阪に設立すべく，本会や関係団体が運動中です。　——編集——

☆　★　☆

□詩の感ぜられる地下街を□

「建築と社会」10月号「地下街」特集はなかなか充実していて味わいのある文献となった。地下街のはしりといわれる北大阪の国鉄駅，地下鉄，新阪神，阪急ビル相互間や名古屋の国鉄駅と毎日ビル，トヨタビル相互間など，一番人出が多い夕刻などを歩いてみると名店街や飲み屋街からの雑多な匂いや埃りなどが，これでよいのかと思わせるくらいの胸くそ悪さを感ぜさせられる。換気装置も完全だし文句はないのだが，問題は通行者だ。交通整理や信号機がほしいくらいの混雑だ。この原因はあまりにも店舗の連続であろう。地下街にも散歩気分になれる並木道がほしい。青空は覗けないが広告灯の美しい，あるいは何もない詩を感ぜる歩道がほしい。京都四条地下街や大阪京阪電車地下通路など，そういう意味ですがすがしい無店舗地帯なのがよい。

（滋賀県草津市渋川町・国鉄勤務
久保　和知）

☆　★　☆

□教会見学とエチケット□

機関誌「建築と社会」8月号P.77において，近代建築調査委員会報告として，下山手教会聖ヘンリコ聖堂を紹介してありましたので，先日の日曜日友人とともに見学にゆき，おおいに勉強してまいりました。ちょうど神父さんが玄関におられ，大歓迎をしていただき，僕たちはとても嬉しく思いました。柱にさわり，天井を見上げ，戦後の若い僕たちの眼でみてきました。

しかし，さびしく思ったのは，神父さんがこの本に紹介されたことをご存知なかったことです。原稿を集めるばかりでなく，本に掲載したら，ここに掲載しましたからと，一冊の本を送るのが，教会に対するエチケットと思います。建築家はスマートな人が多いと思います。週刊誌のように無責任でなく，建築協会は馬鹿丁寧で礼儀正しく責任感をもってはいかがでしょうか。そうなると誇りをもって見学にゆけます。

（大阪市城東区放出町174
アローKK内・近畿大学 生
田村　征司）

■さつそく同教会のノーエル・オンス神父さん宛贈呈申しあげました。いつもは筆者より関係者へ寄贈しております。——編集——

☆　★　☆

□墨　出　し□

設計図書によって実物を造るための基本寸法という重要な割に，その方法たるや原始的なように思う。墨出しは簡単な方法が正確にできるということから考えれば，原始方法も近代方法といえるかも知れない。五重塔と近代ビルとは，その規格においては比較するまでもないだろうが墨出し方法は，現代私たちがやっている方法とあまり変わらないのでしょう。墨出しは非常に楽しい。その理由はいろいろあるが，構造体がどの程度の精度にできたか，あるいはこの墨によって職人が仕上げてゆくのだと思うと，不安と誇りとが自然とわいてくる。

基礎工法は革命的な進歩をとげ，種々な器械によって墨出しに代る測定がなされている。しかし建築件数からいえば特種に属するでしょう。コンクリートを打つ墨出しをする，このとき「よし」というとき，「ウーン」というとき，悲喜交々。また割付けを考えた墨から仕上ってゆく楽しさは施工技術者でないと味わえない。この経験は一人前の施工技術者の出発でもある。近代建築技術の傑作も地球にさからはないサゲフリという原始的な測定器にお世話になって竣功する。

（京都市中京区西京内畑町中部
国鉄宿舎8号・工事監督
柳本　正治）

☆　★　☆

□建設労働賃金の在り方□

建設労働組合が大工賃金2,200 円

実施を発表した。それについて，高過ぎる，200 円以上の値上げは何事か。労賃が20%上がれば，工事費も20%上がるなどと批判まちまち。工事費は労賃が全部ではないから，同じ割合の値上りになるの批評は目茶な話。私は果して建設労賃の値上りが是か非かではなく，この賃金は何を標準にして値上がるべきものかを考えるもので，200 円値上げが是非でもない。現在大臣様は100%に近い値上げをした。少なくとも30%以上はやった。しかしだれも驚かない。

賃金は需要と供給関係で定まるのが原則だ。だから，大工賃金はこの値上発表前に 2,000 円を超過して町屋では支払われていた。ところが大工事場はそうはゆかない。下請と元請の微妙な関係機構があるからである。それなれば，それらの従業大工が他の組合のやる定期の賃上げ，それが入れられなければ，ストライキの実力行使はできない。組合もない，金力もないからだろうと思う。賃金は勝ちとる。すなわち労務者の団結と金力がものをいうわけである。黙して自然に値上りも待てないと思う。その点，今回の大阪の建設労働組合は明瞭な手段にでたとみたい。それには，現在の大工その他の労務者の団結，そして貯えられた金資金を準備したからであろう。私は設計者だが，どうも労務者に学ぶべきかと思う。賃金は勝ちとるものだから，その万一の斗争のため資金の貯えと団結力の強化を考えたい。

（大阪市浪速区元町１—76・建築設計
鈴木忠五郎）

☆　★　☆

□雑誌のおくれ□

今月（10月）の「建築と社会」は今日10月23日に届いた。こんな調子では見学会，講演会すら出席できぬ筈だ。

見学会の締切は10月20日，雑誌の届くのが10月23日。こんなことが続くのでは何が楽しみで１ヵ月遅れの機関誌を読むことができよう。少なくとも郵送が遅れるならば，11月の予定を10月の機関誌に入れてもらいたい。

（神戸市東灘区魚崎町・川重浜横尾寮
宮代　隆司）

■大変申しわけありません。予定が一週間遅れてしまいました。おわびいたします。見学会などの案内が会告で間にあわないときは近畿在住の方にはハガキで通知しております。
——編集——

☆　★　☆

□お　願　い□

会員になってもう30年以上になりますが，いつも愛読させてもらっています。10月号の「建築の眼」の「設計図書の合理化」「建築家と新官庁都市」など同感の発言であり，よりよく実現されるよう希望します。なお本号に久しぶりに東京の「池袋地下道・地下駐車場」の詳細が載せられ，東京に住む者には何か身近なものに接する感じで読むことができました。今後も関西のことにかかわらずどしどし東京方面の建築物についても発表してほしいものです。

（東京都世田谷区上馬町１—875・参事
浅川　忠夫）

■できるだけ東京の建物もとりあげたいと思いますが，いまのところ東京の建物は東京の雑誌にまかせて，こちらは関西のユニークな姿を浮きぼりにしたいという線が強いです。しかしいずれは東京の方へも手をつけたいと思っています。——編集——

☆　★　☆

□立体感と透視図□

立体を表現する方法として，透視図法を用いる。しかし，図面にかかれたものが，立体を感覚的に表わしているだろうか。距離の遠近は両眼の“ピント合わせ”で感じるものとすれば，視点の異なる２枚の透視図を別々に両眼でみることによって得られる。

肉眼をレンズとみなせば，その遠近感にも被写体深度（下表）と同様な許容範囲があろう。したがって，外観透視図は別としても，室内透視図で遠近感のとぼしいものは，このような事情によるものらしい。

50mmレンズの被写体深度（m）

距　離	1m	3m	15m	∞
F 2	2.1	6.1	36.2	(38.1)
F 8	2.2	6.7	(5.8)	(9.5)
F16	2.2	9.9	(3.7)	(4.9)

（ ）は，∞なので，前方深度のみを示す。

さしあたっては，透視図法は画角の制限とともにあまり奥行きのない室内には不向きであるということになろう。

（金谷　英一）

☆　★　☆

□非科学的管理の建設業界□

トナリノ花ハ赤イ。新聞紙上デハ週休制ヨリモ，週二日休日ノ話ガアル。フリカエリミテ，ワレワレニハ三週一日休ミスラ不自由スル職場ニツトメテイル。三週トイウト大変長イデス。ソノ上日夜トモニ仕事ト同居，一日実働11時間，ソシテ月，々，火，水，木，金，金。ソノ代リ残業手当ガ月ニ50時間分デル。シカシ日曜日ハ無料奉仕。

昔カラノ人ハコレデ当リ前トイウ。

コマカク計算スルト，無料奉仕分デワガ社ノ半期ノ純益ニナル。ナニオカイワン。

経費ノ節約オオイニ結構。カミ一枚，エンピツ一本ノ節約ヨリモ毎晩ノ一杯ヲヤメルトイインダガ，イカガ。ワガ社ハ資本力，施工高トモニ業界一位トカ。

ソレハワレラノ無料奉仕ノ賜物ト思ウ。

デモ週ニ一回ハ休メルヨウニシタイモノデスネ。諸君。　（ST）

第11回・塗装工



秋山沢市さん（64才）
（竹林塗装工業KK）

住友ビルの地下，奈落の奥の「ネタ場」にこの人を訪ねたのは晩秋の台風の余波が冷たく雨を降らす夕方だったが，秋山さんのシワ深い顔を久し振りにみて二言三言交わすうちに私は一寸うんざりした。案に相違してなかなか喋ってくれそうもなかったからである。3年ほど前，ビル工事の現場員だった私とは，日夜仕事場をともにしてザックバランな付き合いだったが，やはり記事になってでるとなるとやや用心するのだろうか。ご自分の会社の役員をしている人を，と紹介されかけたが実際現場で仕事をされている方を，と強いてたのみ，薄寒い螢光灯の下で「わいらの生活なんてヒドイもんや」といい始めたときはヤレヤレだった。

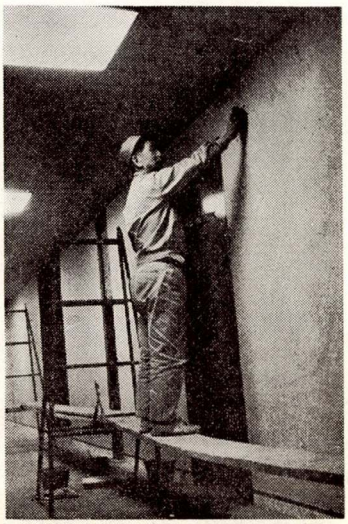
大正の初め高等小学校をでてその4月にペンキ屋になった。以来50有余年刷毛一本もってやってきた。曰く，新住友ビル，北陸銀行本店，東邦商事本町ビル，福助足袋本社ビルなど一流のビルばかり手がけている昨今である。私が訪れて，この「職人シリーズ」に紹介した人は，いわゆる現場の「世話役」の地位にある人で職人からたたきあげ，自分の職人をもち，請負仕事をやっている人が多いが，この人の場合はちがう。いわゆる「月給世話役」で経理面をすべて自分で握っているとは限らない。だから仕事にも徹底できるわけである。もともと塗装関係ではこの形式でやっている場合が多く（もちろん請負形式の場合もあるが）職人もその塗装会社の直傭となっているから，いわば生活が比較的安定しているといえようか。塗装工は他の鳶土工，大工，左官などに比べて，身なりもよく「職人」と呼ぶのに相応しくないように思えるのはこんなところに原因があるのであろうが，秋山さんにいわせれば，このようにはなっていても，平均の給料も少なく退職金もなく，せっかく募集した若い人も3分の1も残らぬという。

秋山さんはいまでも若い職人さんたちと一緒にペンキ塗下地を作り，塗料を調合し黙然と仕事をしてゆく

ただちがうのは多数の職人さんを手待ちなく，円滑に仕事がしてゆけるように設計者や現場員と打合せたり材料を段取りしてゆくことだ。「オヤジさん，見本きまった？」とか「残業するから飯くってくる」とか「もう学校（夜学）へゆく時間だから」とか，若い人たちがかわるがわる入ってきては指示をうけたり，飯代を貰ったりしている。若い人たちの教育ということにも余念がないらしく，ペンキの缶の蔭の壁のあちこちに技能者養成所開設の新聞切抜や「何々心得」というようなものが貼ってある。曰く「身なりの汚いものは仕事も汚い」曰く「金のとれる仕事をせよ」等々，なかなか卓抜な表現もある。塗装工事で若い人たちへの注意の要点をきいてみると「キレイに仕事をする」ことだそうである。塗装工事は建物のいわば最後のお化粧。これで全体のできばえが左右される。美しく飾るべきものが汚ならしくては意味がないのはもちろん。まづ身なりを整え，ペンキなどゴテゴテついたものは着ない。仕事場の周囲は清潔にしておき，ホコリの舞いあがるというようなことがない。塗下地はチリ一つ残さず，またきれいに手入れされた道具を使う……等々。これらに注意してこそ美しい仕上げができるので，守らないものは必ず悪い仕上げになっているという説明である。

もう一つ，左官などに比べて，塗装工は比較的材料も少なくてすみ，ペンキ缶一つ下げて歩く。だが，材料の種類が多い。この小さな「ネタ場」に数十種類の塗料がある。同じ内容でも名前がちがいメーカーが勝手に商品名としてつけているのでまことに憶えにくい。それに以前は鉛白を油で練ってペンキを作っていただけだったが，この頃は調合もなかなかむずかしい。刷毛を使う技術はみようみまねでも習ってゆくが，調合の技術はその気でやらないと習えない。「毎日毎日が勉強です」と，この老職人さんは悠然と笑っていた。

（篠田駿二記）



最近の軽量鉄骨建築

工博・神戸大学助教授　椋代仁朗

「技術の頁」というにしては，表題のテーマは漠然とした感があるが，従来軽量鉄骨建築骨組の主体となってきた軽量形鋼がわが国においてここの声をあげてよりすでに十年一昔近くなるので，最初よりその育成に参加させていただいている者として，成長しつつある現在の軽量鉄骨建築をみてみよう。

軽量鉄骨構造とは，これまでの熱間山形鋼などのような重量形鋼（Heavy gage steel section）に対し軽量形鋼（Light gage steel section）のような断面を使用して，合理的に軽量化を計った鉄骨構造という意味がそもそもの出発点であったように記憶するが，現今では断面の如何を問わず鋼構造の軽量化を計るという広い意味に拡張さるべきものと考える。すなわち，薄板を冷間加工で折り曲げた断面を骨組の主体と考える手法のみならず，現今のヌーベルバーグ的存在のパイプあるいはワイドフランヂ（H形鋼など）等々，を用いた軽量鋼構造およびそれらの組合せにおいて考えられるべきものであり，また最近の話題の中心たる高層建築の軽量化とも関連してその一翼を負うべく，その範囲は非常に広くなりつつある。建築物の軽量化ということは規模の大小を問わず今後ますます研究されるべき全般的な課題であり，またせっかく出現した各種の鋼断面はもてるそれぞれの長所を生かして軽構造より重構造に至るまで適材適所に切れ目なく，スムースなつながりをもち，かつ合理的，経済的に使用してゆきたいものである。このことは使用者の自覚によりかなり実行されており，また製造者側においても大型軽量形鋼の製造計画があるなど結構なことであるが，まだまだなお一層の研究が必要である。（簡単なことながら結構むずかしいことである）このような意味において，軽量形鋼の出現はわが国鋼構造発展の上に一つの大きな意義を有する。

つぎに構造計画，構造設計に関しては建築学会の規準書を始めとして多くの機会を通じて十分熟知のはずであり，またここで紙数をさくことはやめよう。が，とくに強調したいのは，前述のように，軽量鉄骨構造は軽量形鋼のみで構成されるものという量見は早く取除いてもらいたい。こういう考え方の責任は最初のすべりだしのPRにもあるように思われるが……。たとえば雪国の軽量鉄骨建築の柱にネジレに強くかつ断面性能に方向性のないパイプを使用すれば，たとえ崩壊時においても，開形断面柱のネジレにみられるような腰折れもなく十分な靱性が期待できることは，今年の雪害状況をみても明らかに推測される。また上下弦材にC形鋼を使用し，細かい割りの丸鋼ラチスをもつだけの低いハブマイヤー形式の小梁など，むしろ小寸法のH形鋼に置換えた方が強度上，剛性上よりまた加工費の上よりみても有利であると思うし，また外観上すっきりするものである。今後ともますます加工費の値上りが予測される現在，できるだけ加工は簡単明瞭な手法により工場で行ない，現場での作業は最小限にとめて工期を縮小するよう工夫すべきである。このためには現場接合をどのようにするかも重要なことであり，接合法は簡単にして信頼性の高いものが要求される。この線に沿い，時代の要求に応えて頭角を現わしたのがプレハブ化である。軽量鉄骨建築はその規模といい，用途といい，プレハブ化に手頃のものともいえる。

上述のように現場接合は，単純，迅速，確実に行なわれるべきであるが，この点よりみて曲面をもつパイプと平面をもつ形鋼の接合は，断面選択の他に研究すべき課題

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(40)四一三一～四

＝特許＝
氣光式通風器 製造販売
南閉式レヂスター
特許第一五一三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀(44)7437－9

を残している。現在軽量鉄骨建築に使用されている接合工法は，溶接，リベット，普通ボルト（建築規模制限あり）の他にハイテンションボルト，ドライブリベット接合，さらにはハックボルト接合もその使用が認められようとしており，工法は多種多様にわたってきた。このうち現場溶接は，その不完全さと施工速度の上より，できるだけ避ける方がよい。かくして使用断面も接合工法もかなり豊富となり材料は揃ったわけであるから，これらを如何に上手に調理するかが将来に期待される。このような状勢下において，近頃軽量鉄骨建築は至るところに見受けられるが，しかし，いまなお梁の節点をはずれて支柱が接合され束立てのないもの，壁面ブレースの端が柱の中途に取付くもの，あるいはブレース端の接合そのものが不完全なもの，溶接が拙劣で母材をとかしているもの，二重ナットのゆるみどめナットがゆっくり遊んでいるもの等々，細部にわたってはまだまだ粗悪なものが数多く目にとまる。これらの中には，単に鉄骨構造のみの問題でなく構造理論そのものも含まれているので，設計者，施工者ともに十分検討されることを望みたい。

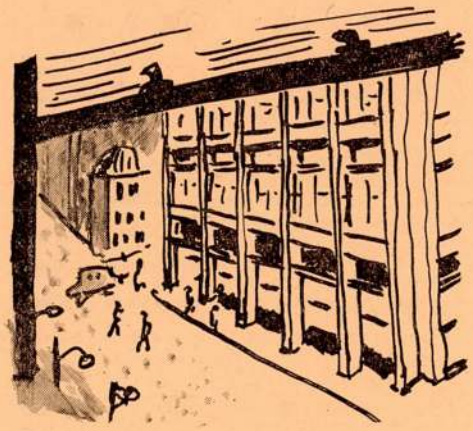
いまの話題の中心は，さきほども一寸触れたプレハブ化と高層建築の問題であろう。このうちプレハブ化はまづ住宅問題に始まり，現在見受けられるような多種のプレハブ住宅が出現した。これらは一応量産化を意図して分割された個々の乾式パネルを組立てて，屋根，壁などの面を構成するパネル式構造を採っているのが普通であり，各社，そのパネルと組立方法に力を注いでいる現状である。初期の軽量鉄骨住宅ではせっかくの乾式骨組に対し，防火雨仕舞，材料費などの関係で湿式壁体が多数を占めていたように思う。しかし住宅の量産化をねらうには湿式工法は不適当であり，乾式にまづ切換えなければならない。世はまさにインスタント時代であり，スピーディであることが要求される。材料費に比較して手間代の増加はいちじるしいものがあり，工期のスピード・アップは工費の低減となる。このためにはあらかじめ綿密に準備された各部分が簡単に，まちがいなく十分な精度をもって，強靱にだれにでも組立てられるように計画されることが理想である。したがってパネルは重量が軽く，運搬が便利であること，防火的であること，遮音，断熱効果のよいこと，雨仕舞が完全であることなど必要なことはもちろんである。組立てに際してはその接合法はできるだけ簡単でかつ容易であり，無理なく正確な寸法に組立てることが大切である。ややもすれば建築の分野において，寸法の精度観念が粗雑であり“寸法精度をあげれば加工費があがる”というなげ槍な言葉をよく耳にするが，これは木造で長すぎればすぐに切り落し，またおさまりのまずさを壁土で塗りあげてごまかす寸法に対する甘い習慣の名残りと私は思う。量産化，プレハブ化を考える現代では，この考えは放棄すべきであり，かりに溶接すれば当然のこととして歪を極力少なくするよう，よく順序，治具を考え，また歪取りをするなど精度の高い部材を作るよう常に心がけよう。そうすれば現場で無理押しにボルトを締めつけて部材を歪ますこともなくなろう。組立ての容易さあるいは単価の切り下げのため，鉄骨骨組の部材および接合部にシワ寄せを生じやすいので，これまた注意する必要がある。締めつけ器具の一寸した工夫で完全なボルト接合部が得られることもある。まだまだ建築分野におけるこの方面のセンスは車輛電気製品のようなものに比較してたち遅れているといわざるを得ない。しかし将来ますますプレハブ化にふさわしい材料がでてくるであろうし，すでにマスプロの流れに乗った車輛などの部門と交流して，あるいは高層建築の軽量化に伴うカーテンウォール工法などに関連刺激されて，その礎となりますます広範囲に発展をとげるにちがいない。

一昔のときが流れたいま，過去を振り返って反省し，将来発展の基礎を固める時期であると思う。

宇部波型スレート
宇部コンクリートブロック
—法定不燃材料—
（平板・軟質板・フレキシブル板）
（軽量・パーライト・防水・ブロック）
宇部スレート工業K.K.大阪営業所
大阪市南区鰻谷西之町25　川西ビル　大阪（271）4700・3434～5・7676～9
本社 宇部　営業所 宇部・名古屋・福岡　出張所 東京・岡山・徳山・小倉・熊本・新居浜　工場 大阪・宇部

新しい建築材料紹介欄

昭和38年11月号



（順不同）

ボンタイル……ボンタイルＫＫ……II
成型合板パネル……ＫＫ天童木工製作所……III
ケニテックス……三井金属鉱業ＫＫ……IV
ニッサンテレス……日本油脂ＫＫ大阪支社……V
トリコン……神戸製鋼所……VI
アルカラー……神戸製鋼所……VII
三星Ｐ・Ｉ・Ｂシート……田島応用化工ＫＫ……VIII
マチコＶ……東洋リノリュームＫＫ……IX
ベルシート防水・ゴーレックスＰコーキング……日本ゴーレックスＰコーキング……X
マノール剝離剤・金属用マノール剝雑剤……ＫＫ油脂化工社……XII
ナブコ・ドアーオペレーター……日本エヤーブレーキＫＫ……XIII
カラーマイト……ＫＫ大阪アルミニューム製作所……XIV

ボンタイルについて

ボンタイルは，西独クノール社との技術提携によって生まれた無機質原材料による外壁，内壁用の美術新建材であります。コンクリート板，ブロック，スレート板などに常温で磁器状の化粧を施すことができ，しかもその表面の状態は加工の方法によって凸凹もふくめて自由なパターンが得られるという特徴をもっております。この製品は，いまから約40年前にドイツで，焼かずに常温の状態で磁器性タイルと同等の性質をもつ結晶体が完成され，その商品化に成功したものであり「DURELIT」の名で発売されております。

米国でもこの新しい商品に着目し，1955年に米国での販売権を獲得し「パーマグレーズ」の名で売られております。このように西独あるいは米国などでは多くの使用例がありますが，わが国ではようやく昭和36年10月に通産省の認可を得てその研究に着手しました。その後約2年近くの試作段階を経て38年6月より商品名を「ボンタイル」として各種規格のタイル板を市場にだすことになったものであります。

○特　　性

ボンタイルはコンクリート，モルタル表面の防水塗装というものでなく，半永久的な下地保護および建築物に必要な美粧の役割をも併せて十分考慮されているものといえます。従来使われてきた油性系および合成樹脂系塗料では解決されなかった耐候性，耐熱性，耐火性，耐薬品性などの点で，とくにすぐれた性質を示しております。

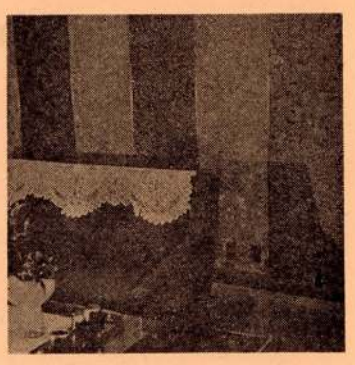
（イ）防水性　特殊工法および輸入原材料により，完全な防水性を保持するよう加工を施してあります。そのすぐれた防水性は米国マイアミ地方のプールに多く使用された例によって立証されます。

（ロ）耐火性　原材料のすべてが無機物質による製品で完全不燃焼建材です。

（ハ）耐候性　温度，湿度の変化が厳しいところでも，物理的，化学的安定性から製品の変化は起こりません。大阪市立工業研究所，米国メロインステチュードにおいても試験済であります。

（ニ）耐久性　年月とともに天然石と同等まで硬化し，半永久的に硬度を保持いたします。

（ホ）その他　大型タイル，美術多色タイル，大理石模様，紋模様その他日本調豊かな各種タイルができ，外壁，内壁を問わず使用箇所が豊富です。



○規　　格

現在生産している規格品は下記に示すとおりですが，プレハブ形式によるコンクリート板，あるいはシポレックスなどの軽量板による大型特殊タイル板も販売する予定であります。

225mm×450mm（厚み15mm）
300mm×450mm（厚み15mm）
300mm×600mm（厚み15mm～18mm）
450mm×450mm（厚み15mm～18mm）
450mm×600mm（厚み15mm～18mm）

○価　　格

現在のところ官公庁および大手建築請負業者，各設計事務所などに公表している設計単価は，材料のみで1m²当り3,300円（タイル板）で，特別注文の場合，若干それを上廻る程度であります。またシポレックスなどの特別板材の表面加工を行なう場合は，表面加工のみ1m²当り2,500円としております。

○使　用　例

西独ではニユールンベルグ地方の労働者厚生協会の管理するミンベルク養護院の壁面，Vathtngen市のOstmark Schoolの玄関，便所などの壁，あるいはCrallsheim市体育館の浴室など約40年の実績をもつものもあります。

わが国での大規模な使用例はまだありませんが，現在まで学校（佐賀県立武雄高校），公団（浜甲子園団地中央集会所），会社々屋（大阪市片山鉄工所），映画館（大阪新世界大映），喫茶店（毎日新聞社前）などに使用されており，さらに近日中に大阪市梅田地下街の店舗に使用される予定であります。

ボンタイル株式会社

本　社　東京都中央区京橋3—4　電話㈹1357
大阪工場　大阪市此花区高見町1の77
営業部　大阪市大淀区豊崎西通3の56　電話㈹9220（代表）

新しい建材　天童木工の成型合板パネル

□ハイクラスの新しい建材として，成型合板による化粧パネルを開発いたしました。このパネルはその断面や力はそれぞれ規格として決めてありますが，長さ（高さ）や表面化粧材料（チーク，ウオルナットなど）の塗装の色などは，室内の計画に応じて希望にあわせて製作するいわばオーダーメードであります。

□現在製作しているタイプは断面表で示しているとおりです。巾の寸法が記入してあるので，これによって割込をやっていただければよろしいわけです。パネルの長さは3ｍまで可能ですが，化粧材の木目が床面に平行の場合，つなぎあわせることができるので，6ｍのものも製作できます。

□取付けが簡単である

パネルの接合部にはタテの胴ブチに相当するものがつけてあり，さらにミゾが切ってあるのでやといざね兼用の目地棒を介して釘を使い簡単に取付けができます。

下地もタテ，ヨコの胴ブチを多少省略できるので，比較的簡単ですみます。

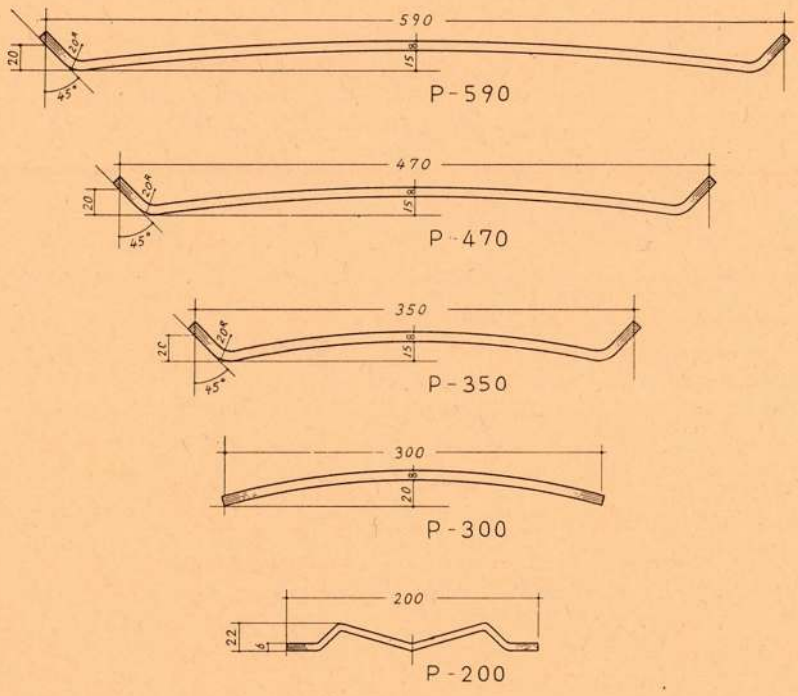
□曲面の箇所なども無理なく施工でき，柱型，出隅，入隅にも寸法さえ合致すれば応用することができます。

□同一のタイプについてご注文の枚数が多い場合，規格以外の断面のものの製作についてもご相談させていただきます。

□価格

価格は表面の化粧材料や数量，その他によってちがってまいりますので，その都度見積をさせていただきますが，大体の見当として，チーク，ウオルナット，クラスの材料を使用した場合，下地と取付費を含まないで，平方メートル当り約10,000円程度です。

パネル断面表



株式会社
天童木工製作所

本社・工場　山形県天童市　電話 天童（代表）3121
東京支店　東京都港区芝浜松町2の11　電話 芝 (431) 7943
大阪出張所　大阪市西区北堀江御池通　電話 大阪 (531) 1177

ケニテックスについて



①成分，製法

米国より輸入の「Kenplay 6 -10」を主体とする特殊樹脂にマイカ，アスベスト，パーライト，その他10種にわたる諸材料を特殊機械を用いて製造される。

②用　途

1．下　地　別　モルタル，コンクリート，ブロック，レンガ，木材，ベニヤ，亜鉛引鉄板，スレート，ガラス，ビニール板など。

2．使用箇所別　一般建築内外装仕上

3．目　的　別　汚損建家の更生改装，下地モルタルの毛状亀裂，防止および亀裂隠蔽，外装防水，美観。

③性質，性能，特徴

1．付　着　性　10年間の保証。

2．可撓伸縮性　塗膜面は半径2.5cmまで曲げても亀裂，剝離などの異状はまったくない。

3．防　水　性　1.9mm厚ケニテックス塗膜は落差75cmの水圧下において塗膜透過水量は1 cm^2当り0.022g/時に過ぎない。

4．耐透湿性　1.9mm厚ケニテックス塗膜は相対湿度50%の室内に放置した場合，吸湿量は1 cm^2当り0.00002g/時である。

5．耐　候　性　Atlas Twin Arc Weather-O-Meterにて，3,000時間継続曝露の結果，剝離，亀裂などの異状はまったく認められない。

④物理的性状

比重　約1（3.7kg/gallon）

粘度　強粘性半糊状，Krebs-Stomer-Viscosimeter使用重錘1,000gで100回転の所要時間2分以上。

標準吹付面積　1.1～1.4坪/gallon

塗膜重量（乾燥時）　355g/m^2（吹付面積1.4坪/gallonの場合）

乾燥時間　指触8時間，完全2～3週間。ただし，乾燥剤混入により自由に調節可能。

色調　標準色10色

標準単価　設計仕様価格，材工一式，480円/m^2（ただし，機器保管場所（東京，大阪，福岡，名古屋）より30km以内，施工面積500m^2規準，足場養生を除く。上記範囲外については実費加算）

⑤使用上の注意事項

ケニテックスは三井金属製造，三金建材責任施工で製品のみの販売は行なわない。

コンプレッサー15～20HP，特殊ポンプおよびガンを用いて吹付ける。ほとんどあらゆる建材に吹付けることができる。ただし，下地が常に乾燥していること。既塗膜物，油類の清掃は充分に行なはねばならない。

⑥参考事項

ケニテックスはアメリカのケニテックス・ケミカル社との技術提携により，今春わが国における独占販売，施工を開始したものである。船橋に製造工場を有し，年間20万ガロンの製造能力をもつ。

連　絡　先

三井金属鉱業株式会社
大阪市北区中之島3の5（三井ビル）㈹3731

三金建材工事株式会社
大阪市北区中之島3の5（三井ビル）㈹3731

製造元　三井金属鉱業株式会社
東京都中央区日本橋室町2の1　㈹4101～9

施工先　三金建材工事株式会社
東京都中央区日本橋室町2の1　㈹4101～9

特殊合成樹脂多彩色塗料（特許 No. 277012）

ニッサン テレスについて

特　　徴

1. 塗装が簡単です　テレスは在来の多彩塗料用スプレーガンで吹きつけ塗装すれば，一回塗りで多彩模様の仕上りが得られますから，作業が簡単です。

2. 塗膜が高性能です　（a）物理性にすぐれています。テレスは密着性にすぐれ，その上高度の耐摩耗性耐衝撃性も兼ね備えています。　（b）難燃性です。テレスは難燃性の塗膜を形成しますので，火災予防上の効果もあります。　（c）耐薬品性，耐油性にすぐれています。テレスは耐酸，耐アルカリなどの耐薬品性にすぐれているばかりでなく，耐水，耐油，耐溶剤の諸性能にすぐれておりますので，安心して石鹸洗いやガソリン拭きができます。

3. 色彩量感が豊富です　テレスは比較的大柄な多彩模様で立体的に仕上りますから，壁面に豊かな量感を与え豪華なムードを作ります。

4. 不平滑素地の補正が可能です　テレス仕上げ面の浮きでた多彩模様は，凸凹のある不調整な素地の欠陥を補い，平滑化された面の上に塗装したような感じを与えます。

5. 吸音効果を発揮します　模様の立体的な滴粒が作りだす塗面は，吸音の効果を発揮しますので，会議室講堂，図書館などの壁面塗装に最適です。

取扱い上の注意

1. テレスは一般塗料に比べると多少貯蔵安定性が劣つており，長くおくと模様が変わるおそれがありますので，なるべく3ヵ月以内にご使用下さい。

2. テレスは開缶し，シンナーで希釈したまま長時間放置しておくと，見本の模様と異なった仕上りになることがありますので，できるだけその日のうちに全量ご使用下さい。

3. テレスの塗装に際しては，シンナー類が蒸発しますので，その臭気が塗装している場所にこもらないよう十分に換気を行なって下さい。　（以下省略）

標準塗装仕様

1. 新しいモルタル・プラスター・スレートなどの面に塗る場合

	工　程	塗　料　名	塗布量 (ℓ/m²)
1	素地調整		
2	アルカリ止め，吸い込み止め	建築用シーラー	0.09～0.12
3	パテつけ（拾い）		
4	下塗り一回目	テレスアンダーコート	0.08～0.10
5	下塗り二回目	テレスアンダーコート	0.07～0.09
6	上塗り	テレス	0.3～0.4

2. 塗りかえ（特ににじみの出る場合）を行なう場合

	工　程	塗　料　名	塗布量 (ℓ/m²)
1	素地調整		
2	にじみ止め	テレスラツク	0.09～0.10
3	パテつけ（拾い）		
4	下塗り一回目	テレスアンダーコート	0.08～0.10
5	下塗り二回目	テレスアンダーコート	0.07～0.09
6	上塗り	テレス	0.3～0.4

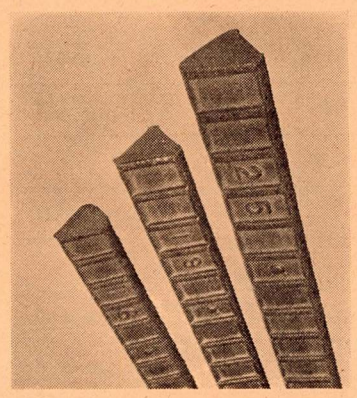
3. 木材・繊維板面に塗る場合

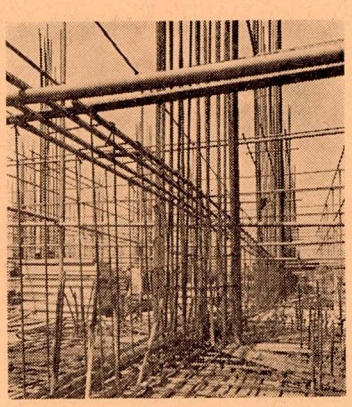
	工　程	塗　料　名	塗布量 (ℓ/m²)
1	素地調整		
2	節止め吸い込み止め	テレスラツク	0.09～0.10
3	下塗り一回目	テレスアンダーコート	0.12～0.15
4	下塗り二回目	テレスアンダーコート	0.08～0.10
5	上塗り	テレス	0.3～0.4

（注）　鉄釘頭には，さび止め（テレスラツク）でタッチアップして下さい。

日本油脂株式会社大阪支社
大阪市東淀川区新高北通2の105
電話　大阪（391）0325（代表）

高張力異形三角鉄筋　トリコン





鉄筋コンクリート構造物に使用される鉄筋は，近年構造物の高性能化，経済性に加えて製造技術の進歩にともなって高い許容応力度で使用される傾向を示してきました。この場合，重要なのは鉄筋の引張り強さが高いことは当然必要であるが，それに相応して鉄筋のコンクリートに対する付着力が大きくなければ，その効果が発揮できないことであります。トリコンはこの点に着目して鉄筋断面を円形から三角形にすることにより，同一断面積で鉄筋の周長を20%以上増大さし，その表面に特有の突起を付してきわめて強力な付着力を維持し，さらに鋼材の成分調整により高い強度と強い靱性を確保した高張力異形三角鉄筋であります。その高い許容力度およびすぐれた許容付着応力度について建設大臣の特別認定を得ております。また各地の大学研究所における確性試験，あまたの使用実績により，施工上丸鋼同様に取扱い得てトリコンの高性能と経済性にすぐれていることが立証されております。

トリコンの特長

■付着力がすぐれている

独特の断面形状と有効なフシをつけておりますので，コンクリートとの付着性が異形丸鋼より20%すぐれています。（建設大臣認定）

■強度が高い

吟味された成分の調整により高い強度を確保しています（建設大臣認定）ので靱性，溶接性，耐寒性にすぐれております。

■疲労強度が高い

高張力鋼であり，かつ三角の縦リブに凸凹がないので疲労強度は従来の異形丸鋼の1.5倍であります。

■設計施工が容易である

断面が三角形でありますが，材質はきわめて強靱で曲げ加工などは丸鋼同様に扱うことができ，継手，定着部の鉄筋量を減らすことができますので，これらの部分の配筋が簡単になり，コンクリート打ちなど鉄筋施工上非常に有利であります。

■経済性にすぐれている

高い付着性と材料強度により，使用鉄筋量が大幅に節減できます。

建設大臣認定の許容応力度ならびに許容付着応力度

（1）許容応力度

記号	長期応力に対する許容応力度 (kg/cm²)			短期応力に対する許容応力度 (kg/cm²)		
	せん断補強に使用する場合	前項以外の箇所に使用する場合		せん断補強に使用する場合	前項以外の箇所に使用する場合	
		圧縮	引張り		圧縮	引張り
TRICON55	2,000	2,000	2,000	3,000	3,300	3,300
TRICON60	2,000	2,200	2,200	3,000	3,600	3,600

（2）許容付着応力度

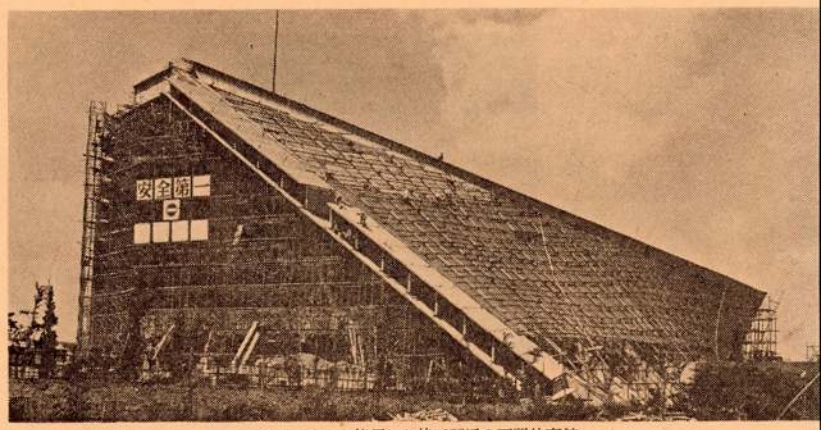
材料＼応力種別		長期応力に対する許容応力度 (kg/cm²)			短期応力に対する許容応力度 (kg/cm²)
		曲げ材上端	曲げ材一般	定着継手	
TRICON	公称直径が28ミリ以上	7/100FC	10/100FC	7/100FC	長期の2倍
	公称直径が25ミリ以下	8.4/100FC	12/100FC	8.4/100FC	上欄の数値と同じ

株式會社
神戸製鋼所

本　　社　神戸市葺合区脇浜町1の36　電　話（大代表）神　戸　㉒4101
東京支社　東京都千代田区丸の内1の1（鉄鋼ビル）電話（大代表）東京㉑7411
大阪事務所　大阪市東区北浜3の5（大阪神鋼ビル）電話（大代表）㉑2221

新製品　「アルカラー」

当社はかねてより，欧米で普及してきましたアルミおよび耐酸アルミ合金板に特殊塗料を塗装した化粧板を研究，開発してきましたが，このたび，初めて建築材として納入しました下関体育館が近く完成の運びになりますので，これを機会に新製品「アルカラー」として市販することにいたしました。当体育館は東大生産研究所および日本不燃建築研究所の共同設計（施工大成建設）による最新の体育施設でアルカラーは主に屋根用に2350 m² (3769kg) 使われています。アルカラーの概要はつぎのとおりです。



アルカラーを使用した竣工間近の下関体育館

1. 特　徴　密着性，加工性，耐候性，耐蝕性のすぐれた特殊塗料をコーティングしたもので
   - i　種々の成形加工が可能で使用者における加工工程が短縮できる
   - ii　耐候性，耐蝕性が従来のものに比してすぐれている
   - iii　高い硬度値のものもできる
   - iv　使用途によりもっとも適した型を選定でき，好みの色が得られる
   - v　他の化粧板に比し廉価である

2. 種　類

型	特　徴	光沢度	備　考
A型	加工性 耐候性 耐蝕性	エナメル 光沢度90 以下	屋内，屋外の使用途 絞り加工，密着曲げ加工（ただし光沢度70以下の場合C型を使用）如何なる色調も可能
B型	高い硬度 非加工性 耐候性 耐蝕性	エナメル	屋内，屋外の使用途，加工性よりも硬さを必要とする用途，軽度の曲げは可能，如何なる色調も可能
C型	A型と同じ低光沢度の加工性が大	エナメル （特殊顔料添加） 光沢度50 以下	屋内，屋外の使用途 主として建材に適する 高明度を除く各色
D型	加工性AL素地を産かす耐候性耐蝕性はエナメル型より劣る	着色クリヤー	屋内の使用途 器物，装飾，建材内装材 如何なる色調も可能
E型	同　上	着色クリヤー	同　上

3. 用　途
   - i　建築用　外装（屋根板，側壁，雨樋，日覆い　ドアー・内装（天井，側壁，装飾）
   - ii　車輌用　外装，内装
   - iii　器物用　電気製品，配電盤，家具類，家庭器具，文房具
   - iv　缶詰用
   - v　装飾用

4. 価　格　（需要家渡し）標準寸法

	アルカラー			アルミ板			アルミ
材　質	2S	3S	52S	2S	3S	52S	平瓦
厚さ0.5mm・m²当り	¥6.46	¥6.74	¥7.29	¥4.68	¥4.22	¥4.56	¥6.43

つぎの場合は増値があります。
1. 標準色の内赤，スカイブルー
2. 軟質材
3. その他異寸法

5. 納　期　約45日
6. 生産能力　月産20トン

株式會社 神戸製鋼所

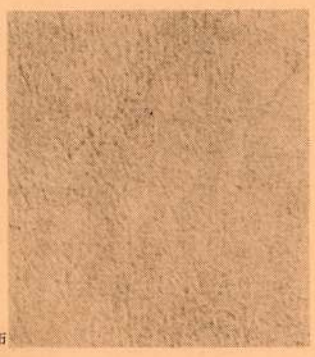
軽合金伸銅事業部

本　社　神戸市葺合区脇浜町1の36　電話大代表神戸㉒4101
東京支社　東京都千代田区丸の内1の1（鉄鋼ビル）　電話大代表東京(211)7411
大阪事務所　大阪市東区北浜3の5　（大阪神鋼ビル）　電話大代表(203)2221

三 星 P. I. B シ ー ト （仮称）



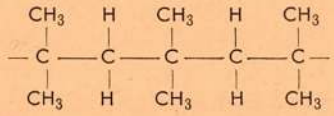
表 面



裏 面
合繊繊維不織布

① 特　　性

P. I. B シートの基材となる高重合度ポリイソブチレンラバーは，下図のような分子構造をもっており，分子内に不飽和結合をもたないため，酸素や紫外線に対して大きな抵抗性を有しており，耐薬品性である。また $-CH_3$ の分枝が密にしているので，耐透気性ならびに透水性を高くしている。



三星 P. I. B シートは，このようなゴム状物質を基材として，これに耐薬品性，耐候性の大きい充填剤を混入し，さらに光線を遮断するカーボンブラックなどを配合して，練合せシート状にし，合繊繊維の不織布を貼合せ加工した防水材である。

② 規　　格

長さ	（1巻）	10m
巾		1m
厚さ		1.0mm±0.05mm
重量	（1巻）	17kg± 1kg
包装		段ボール巻

③ 性　　質

	三星P.I.Bシート（不織布貼合せ）	A 品 不織布貼合せなし	B 品 不織布貼合せなし
比重	1.65	1.68	1.68～1.70
厚さ	1.3	1.5	1.5
抗張力	17.2	4.9	4.2
伸び	250	400	500
耐水圧	10kg/cm²1時間 良好	3kg/cm²6分 破れ	3kg/cm²5分 破れ
耐寒屈面試験	−30°C 良好	−10°C 2時間良好	−20°C 良好

④ 特　　徴

1. 引張っても切れない
2. 引裂が強い
3. ふくれによる伸びがない
4. 耐水性が強い

⑤ P. I. B シートの適用範囲

1. コンクリート建築の室内地下室防水：下地亀裂に対する防水層の不備を絶無にすることができる。とくに振動，その他で下地に亀裂が入ることが避けられないような建物に推奨されます。
2. 超高層ビル屋上防水：熱工法ができない都会地域或は超高層ビルの屋上防水には適当である。
3. 地下鉄，地下街の防水：エキスパンションジョイントや打継ぎが多く，また振動が大きい地下鉄，地下街ではこの P. I. B シート防水はまったくうってつけです。なお継目接着が簡単に冷工接着できるので，水気が多少あっても完全に防水施工が行なえます。
4. トンネルの防水および防蝕：圧縮強度が大きく，水圧に耐えられる。
5. 高架鉄道スラブおよび橋梁などの防水防蝕
6. 各種土木建築構造物の伸縮継手防水
7. 各種耐酸，耐アルカリライニング材として，化学工業，薬品工業，食品工業などの工場防蝕

田 島 応 用 化 工 株 式 会 社

東 京　東京都千代田区神田岩本町13　電話 (866) 6101 (代)
大 阪　大阪市西区京町堀1の74　電話 (441) 5951 (代)
名古屋　名古屋市西区桜木町3の8　電 話 (57) 2732
広 島　広島市鉄砲町108　電 話 (3) 2281
博 多　福岡市万行寺前町14　電 話 (3) 2807

マチコV

ビニールアスベストスタイル®

第1表 マチコVの一般性状

試験項目			試験方法	試験結果	L-T-00345 規格値
寸法 (cm)		タテ	ノギスにて測定	30.32～30.34	±0.04
		ヨコ	温度23±1.1°C，関係湿度50±4％以下同様	30.32～30.34	
厚さ (mm)			マイクロメーターにて測定	1.98～ 2.02	±0.13
比重 (23°C/23°C			ASTM D-792法による	2.10	—
凹み試験 mm	23°C 1分		マツクバーニー試験機による	0.20～0.25	0.18～0.38
	23°C10分			0.25～0.29	—
	60°C30秒			0.62 以下	0.81 以下
衝撃試験			F.S 落球式衝撃試験機による	2.0cm以下	—
撓み試験 cm	加熱前	タテ	F.S撓み試験機による	5 cm 以上	2.54cm以上
		ヨコ		〃	
	加熱後	タテ		〃	
		ヨコ		〃	
寸法安定性 (mm)		タテ	82±1.0°C で6時間処理後の寸法変化を求める	0.5 以下	0.6 以下
		ヨコ		0.2 以下	
耐薬品性 (傷巾 mm)	浸漬前		左記薬品中に46時間浸漬後テーバー引掻試験機にかけ，浸漬前の傷巾と比べて侵蝕程度を調べる	1.2	1.1～1.4
	95％エチルアルコール			1.4	3.0 以下
	牛脂			1.3	
	マシン油			〃	
	綿実油			〃	
	5％苛性ソーダ			1.6	
反り試験 (mm			F.S反り試験機で測定	0.05以下	0.76以下
揮発量 (％)			99±1.1°C で6時間処理後の加熱減量	0.17以下	0.5以下
摩耗試験 (cc)			テーバー摩耗試験機による1,000 回転時の摩耗損失容積で示す。S-33，S-32	0.85～0.92	—

第2表 マチコVの地色マンセル表示

製品色番号	マンセル表示	製品色番号	マンセル表示
No. 3101	5GY 8/0.5	No. 3111	10YR 5/1.5
No. 3102	N−2	No. 3112	1.5Y 4/1
No. 3103	6R4.5/8	No. 3113	4.5Y 7/2
No. 3104	7.5G3.5/4.5	No. 3114	N−6
No. 3105	N−8	No. 3115	2.5GY 6/1
No. 3106	10YR6.5/2	No. 3116	N−5
No. 3107	0.5Y6.5/2	No. 3117	10Y 8/1
No. 3108	5YR5.5/3.5	No. 3118	10R6.5/2.5
No. 3109	8GY 8/1	No. 3119	1.5B 5/2
No. 3110	7.5YR 7/1	No. 3120	1.5G 4/3

バランスのとれた性状

マチコVは米国連邦規格 L-T-00345 (Flooring; Vinyl Asbestos) に準拠するもので，この規格によってマチコVの性状試験結果を示したものが第1表です。

この表でわかりますことは，試験結果がすべて規格に合格していますが，中でも耐衝撃性，耐薬品性はとくに良好となっています。さらにご注目いただきたいことは凹みが他のビニールアスベストス系に比較して小さいにもかかわらず非常に柔軟性があり，凹みが小さいものは硬いという常識を破っております。

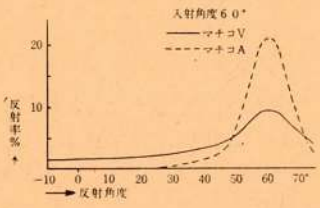
マチコVの材質が，このようにすぐれているのは変性した特殊塩化ビニール樹脂を十分使用するとともに性状を向上させるための工夫を加えた原料を使用しているためで，耐水性，耐摩耗性などもよく，ビニールアスベストス系タイルとしては非常にバランスのとれた性状をもっているといえます。

はじめての多色模様

マチコVの色彩はいままでのこの種のタイルとちがったものにするため，色彩調節に必要な明度と彩度をもたせ，明るい暖色系の落ちついた色彩を豊富に採用し，環境色として快適な感じを与え，目を疲労させず，圧迫感を与えないよう特別の考慮を払っております。（第2表はマチコVの基本色をマンセル記号で表わしたものです。）そして地色に配合した模様色についても十分検討し，配色の調和をはかって特殊装置により多色模様を作りだすのに成功しました。また表面の光沢についてもこれを管理面にとり入れ，床材として適当な光沢をもたせるようにしております。（グラフ参照）

マチコVは品質や色彩のよさ，価格の手頃さ，施工が容易（AC ペースト使用）であるなど，全体のバランスがほどよい製品で，どんなところにも使用できる便利な弾性床材ということができます。

光沢度測定グラフ



東洋リノリューム株式会社

大阪市南区順慶町通り4丁目（三和ビル） 電話大阪(06)2921 (代)
東京都中央区銀座4丁目（三和ビル） 電話東京(561)1701・2564
名古屋市中区菅原町2丁目（名古屋センタービル） 電話名古屋(23) 5380

合成ゴムによる完全防水と恒久コーキング

ベルシート防水

ゴーレックスPコーキング

ベルシート防水工事

（ブチールゴムによるシート工法および塗工法）

1. ビルディングの地下，各階，屋上防水工事
2. 地下鉄，地下街，地下発電所，トンネルなどの地下構造物防水工事
3. 上・下水道，ダム，浄水槽，水泳プール，貯槽灌漑水路の防水工事
4. 高架鉄道，高架道などの軌道敷スラブの防水工事
5. 各種土木，建築構造物の伸縮継手の防水工事
6. 各種施設の耐酸，耐アルカリ，耐油食保護および工場排水路工事
7. 各種食品用醗酵槽，反応槽，貯槽，および液体コンテナー工事
8. 穀類倉庫，サイロなどの気密工事

ゴーレックスP（1,000・1,500・2,000）

ブチールゴムを主体とする加硫および未加硫コーキング材。

1. スチール，アルミニューム，ステンレスサッシュ用
2. 各種建造物のジョイント用
3. カーテンウォール用
4. 蒸気パイプ，熱水ドレン廻りコーキング用

ダイナミックに躍進しつつある近代土木建築界において，完全防水は重要な課題でありながら，解決されていない現状にある。旧来のアスファルトおよびモルタル防水は耐クラック性および耐久性に乏しく恒久性ある完全防水には程遠く，また最近西独より移入されたポリイソブチレンシートによるアスファルト併用防水工法は加硫できないため，温度による強伸度低下および圧縮変形が大きく，また接着目的に使用されたアスファルトの欠陥がみられ，なお不充分な点が考えられる。

石油化学基盤の確立した米国，カナダにおいては早くより合成ゴムの土木建築面への旺盛なる研究開発が続けられ，優秀なる成果を収めた。

その中でとくにイソプレン，イソブチレンポリマー（ブチルゴム）は適度の特殊加硫により耐候，耐蝕，耐亀裂など防水材料として完璧の性能を発揮し各種構造物の防水施工材として実用化され，米国ユタ州で15年間屋外曝露された結果はなんら異状を示さなかったことを認知した。

当社はこの輝かしい成果に着目しかねてより精密なる海外調査を行ない，鐘紡と協力して防水工法全般に応用すべく鋭意研究し実用試験を重ねてきた。

遂に昭和37年8月本邦最初の国際規準のブチールゴムシート「ベルシート」の創製ならびに最適接着剤およびコーキング材を完成し，独創的完全施工法を確立した。（実績45,000m²）

この革新的メンブレン方式による恒久完全防水工法は近代建築の技術革新，ことに軽量・高層・強靱化に対応する工法として，土木建築業界に多大な貢献をなし得るものと確信するものである。

（1）ベルシートの特性

適度に特殊加硫したブチールゴムメンブレンは物理的に

イ，引裂き屈曲磨耗に強い

ロ，亀裂膨張収縮に抵抗性大

ハ，−40°Cから150°Cまで性質変化軽微

ニ，吸水，透水性が非常に低い

吸水70°　48時間　1％以下

透水性　0.119％　すなわちアスファルトの22分の1，塩化ビニールの60分の1，ポリエチレンの2分の1

化学的には

イ，日光，オゾンによく耐える。15年間日光曝露，天然現装下において物性低下を認めない

ロ，酸，アルカリ，動植物油，ケトン，エステル，アルコール類によく耐える

ハ，バクテリヤ，虫類に侵されない

なお食品用としては衛生無害の特殊ブチルシート（白色）特殊薬品耐油用としては別に特殊合成ゴムシートを使用する。

（2）ベルシート（積層）の規格

厚さ0.8～3.0mm,　巾1,200mm

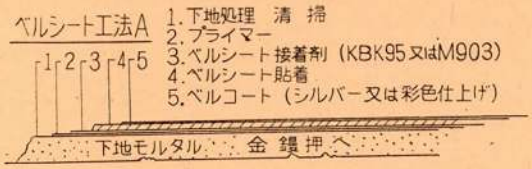
比重	硬度	引張強度kg/cm²
1.20±0.3	55±5	65～85

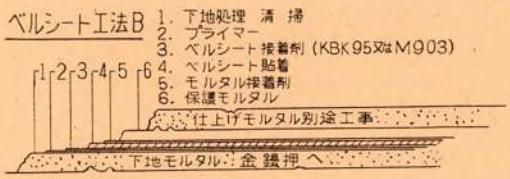
伸度%	引裂強度kg/cm²
500～600	25～30

（3）施工法の概要

（A）シート工法

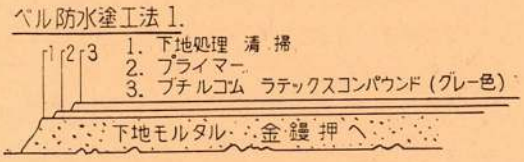
国際規格のシートを以って現場施工する。

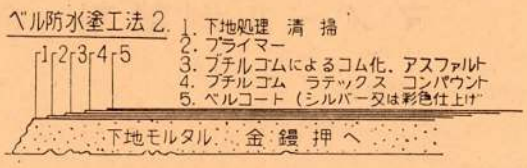




（B）塗工法（ブチールゴムラテックスの自然加硫法）

すなわち塗装し自然加硫せしめ，ベルシートと同等の物性を有する防水層を形成せしめる。外壁防水にも適当である。下地として湿ったコンクリートおよび木材面にブチールゴムにて改質したアスファルト，エマルジョンを塗装し，つぎにブチールゴムを水中分散したラテックスに特殊な加硫剤，加熱速進剤，最適補強材を配合したラテックスコンパウンドを塗装する。





（4）塗装仕上げ

1.　彩色仕上げ

曝露されるメンブレンはシート工法，塗工法ともに既述の如く十分なる耐久防水性を有するが，美的感覚を要求される場合は，メンブレンと同様な動的挙動を示し，かつ耐候性優秀なる特殊弾性塗料（ベルコート）をもって彩色仕上げを行なう。

2.　軽量化の目的に沿う歩行屋根の場合は特殊耐磨耗性コンパウンド仕上げを行ない押モルタルは不必要

ゴーレックス P

(1,000・1,500・2,000)

軽量・高層・強靱に向って急激に近代化しつつある建築物の技術革新に継目接続の問題は重大な課題である。しかるに現在のコーキング，シーリング材は植物乾性油アルキッド樹脂が主体となり，一部ポリブテンなどを混和改質した程度の物質が使用されている。最近チオコールゴム，シリコンゴム系製品がカーテンウォールを始め各所に使用され始めたが，あまりにも高価である。大部分を占める製品の主体である乾性油，アルキッド樹脂はモルタル，コンクリート接面にてセメントアルカリによる鹸化などの化学変化により硬化剝離したり，体質自体も経時弾性を失う根本的な欠陥がある。

当社はブチールゴムあるいはハロゲン化ブチールゴムの卓越せる耐候，耐食，永久弾性に着目し恒久性あるコーキング材としての性能を満足せしめる製品を日本において創製し，現場工事に使用し確信を得た。

対照物質としてコンクリート，モルタル，石材，金属木材相互のジョインティグに革新的用途が期待される。

日本ゴーレックス工業株式会社

本　部	東京都港区芝新橋5の32（仲井ビル）	㈱5453・4458・8558
大阪支店	大阪市西区靱本町2の118（ナニワビル）	㈱8631～3・㈱3931～5　直通㈱7928・8219
名古屋支店	名古屋市中区広小路通4の17（東　ビ　ル）	㉓4872・1682

マノール剝離剤・金属用マノール剝離剤

★マノール剝離剤

（コンクリート型枠剝離塗料）

セメント工事の際，型枠として木材が使用されますがこのパネルを多量に揃えること，また破損の多いことなど，かなりの経費を要します。それで優秀な剝離剤を用い，なるべく破損の防止や剝離の能率を高めることが望まれております。剝離剤としては，従来重油，樹脂，クレオソートなど用いられておりましたが，経費や効果の点では種々の欠点をもち，その改良を叫ばれておりました。マノール剝離剤は，パネルを傷めず完全に美しくはがれ，重油，クレオソートより一段と扱いやすく，人体に害がありません。

■特徴と効果

1. 人体，衣服に対して無害。揮発や腐敗することもありません。
2. マノール剝離剤を塗布したパネルは，セメント中に含まれるアルカリ性分と化学的に反応して，被膜を形成するので，非常に容易に楽にはがれ，コンクリート面は理想的美しさです。
3. 木材の防腐剤としても，マノール剝離剤を利用できます。したがって木質のパネルも腐蝕しません。
4. 塗布乾燥後，雨に打たれても剝離の効力は変わりません。

■使用法

1. ハケ，またはスプレーでパネルに塗布します。
2. 展着は良好で非常によく伸びます。
3. 溶解法はマノール剝離剤1に対し，水9の割合でうすめます。
4. 水は清水を用い，よくかきまぜながら除々にうすめてゆきます。
5. マノール剝離剤（石油缶入）16kg 詰で，約400面坪使用できます。
6. すでに鉱物性油のしみこんだパネルには，マノール剝離剤を塗っても，はじいてうけつけません。

■容器および容量

ドラム缶　160kg詰　　石油缶　16kg詰
¼石油缶　4kg詰

★金属用マノール剝離剤

最近の建築土木工事においては，金属製型枠（メタルフォームなど）が広く普及し，また各種セメント二次製品の成型用にも金枠が使用されております。従来剝離用として主に鉱油類が用いられておりましたが，剝離効果，その他いろいろの欠点がみられます。金属用マノール剝離剤はこれらの欠点を完全にとり除き優秀な剝離作用を発揮する理想的金属用剝離剤です。

■特徴と効果

1. 金属面に塗布しますと，極性により強靱なうすい塗膜を形成し，摩擦に対する抵抗性も強くコンクリート打ち込み時に被膜がとられることなく脱型に当ってはきれいにはがすことができます。
2. 剝離後コンクリート面を汚染することなく，また仕上材料の接着性を害しません。
3. 防錆，防蝕力が強く型枠の発錆を防止するので，型枠の保存にも最適です。
4. 展着は良好で非常によくのび，揮発や腐敗することなく人体にも無害です。
5. 各種混和剤を用いても，剝離効力になんら影響はありません。
6. 早期脱型を計る場合は硬化促進増強剤マノールA号を併せてご使用下さい。
7. 16kg詰石油缶で約1,000m²（300面坪）塗布できますので経済的です。

■使用法

1. 原液のまま布切れで拭くようにうすく塗布します。
2. 金枠の型により隅々まで塗布できない場合はスプレーなどで吹付けます。

■容器および容量

ドラム缶　160kg詰　　石油缶　16kg詰

★マノール製品

モルタル・コンクリート用	特許マノール防水剤
モルタル・コンクリート用	特許粉末マノール防水剤
セメント耐寒急硬用	特許マノール急結剤
セメント硬化促進防凍増強用	特製マノールA号
コンクリート型枠剝離塗料	特製マノール剝離剤
モルタル・コンクリート上塗密着用	特許マノール接着剤
セメント防水塗料	特許マノールエキストラコート
目地亀裂充填剤	特製マノールブラックコーク
セメント石灰着色剤	天然顔料山富貴酸化黄

株式会社　油脂化工社

東京営業所　東京都品川区大井権現町3771　電話 東京 ㈹0195—8
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2の48　電話大阪㈹0063・4765

ナブコ・ドアーオペレーターについて

建設の近代化，設備の能率化とともに，自動扉の必要性が増大してきました。日本エヤーブレーキ株式会社（略してナブコ）では，40年来鉄道のエヤーブレーキを製作してきた精密技術を利用し，建築用のドアーオペレーターを開発し，多数の代表的建物について施工してきました。今後とも自動扉の専門デパートとして，あらゆる扉の自動開閉を目指し，不断の研究を行なっておりますから，自動扉に関しましてはお気軽にご相談下さい。

1. 特　　徴

① 油圧あるいは空気圧を使用しているので，作動が円滑であり，任意の速度に調節することができます。

② 小さな扉から間口 6 m，重量 2,000kg を越す超大型扉まで，あらゆる種類の扉を自動開閉するドアーオペレーターを準備しています。

③ 踏板スイッチ，光電スイッチ，静電スイッチ，ゴムマットスイッチなど数多くの制御装置を準備し，各扉に最適の開閉方式を選定いたします。

④ 全国のアフターサービス網を整備して，その徹底を期し，満足した状態で使用していただくようにしております。

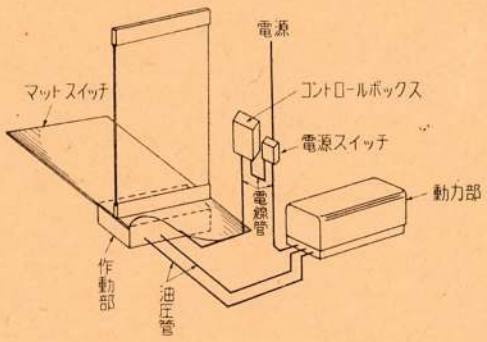
2. ドアーエンジンの種類

ドアーエンジンの種類は下記の図表のとおりです。

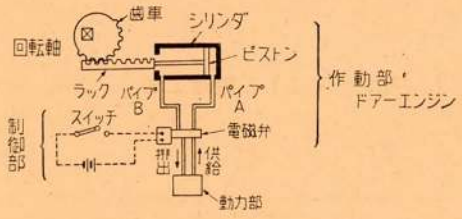
動力	適用扉 開閉勝手		大きさ	間口	扉重量	ドアーエンジン型式 構造	型式	出力	取付位置	記事
油圧式	開扉	片作動	小型扉	0.1m	30kg	アーム式	MD	120 kg/cm	頭上	動力部を含む
			中型扉	1.1m	100kg	直接	L F	450 kg/cm	埋込	〃
				1.3m	120kg	〃	LSD	680 kg/cm	〃	〃
		両作動	中型扉	1.1m	100kg	〃	LW	450 kg/cm	〃	〃
	引戸	片引	中型扉	1.0m	100kg	アーム式	LDR	450 kg/cm	頭上床上	〃
				1.2m	120kg	〃	LSD-K	680 kg/cm	〃	〃
空気圧	開扉	片作動	小型扉	1.0m	50kg	〃	SR-7	480 kg/cm	頭上	〃
			中型扉	1.2m	60kg	〃	SR-95	850 kg/cm	〃	〃

（1）ドアーエンジン部

制御部から信号をうけて扉を開閉するドアーエンジン部で，油圧式のものと空気式のものとあります。各扉に適応して，前記の表に示すようなドアーエンジンを準備しています。



第1図　ドアーオペレーターの構成



第2図　作動原理図

（2）動力部

ドアーエンジンを作動させる油圧，あるいは空気圧を作りだし，貯えておく部分で，中型扉で 1 台約200Wの動力が必要です。

（3）制御部

扉の開閉を制御する部分で，スイッチ部とコントロールボックス部とにわかれています。スイッチとしては，第2図のように，マットスイッチ，踏板スイッチ，光電スイッチ，静電スイッチなど各種のものを準備しております。

日本エヤーブレーキ株式会社

神戸市葺合区脇浜町3の2058

電話神戸㉒代表1451・1515・3121　夜間専用㉒1515

新建材カラーマイトについて

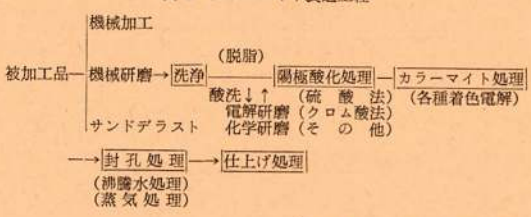
アルミニュームは，建築材料としてさかんに利用されているが，その耐蝕性を十分発揮させるため，通常表面処理が行なわれる。とくに最近では，着色したものが要求されてきている。

アルミニュームの着色方法には，陽極酸化皮膜処理をして着色する方法，塗装，ほうろう加工など種々の方法があるが，このうちアルミニュームの特色をもっとも生かした方法が，陽極酸化皮膜着色法といえる。

カラーマイトは，この陽極酸化皮膜着色法の一つであり，神戸商大浅田教授の発明にかかり，当社で工業化された表面処理製品の名称で従来の陽極酸化着色法が，たとえば染色法は，有機染料使用のため建築外装として耐候性の点で不向きであり，43S系などの自然発色電解，あるいはカルカラーなどの特殊電解法も色調の単一なこと，色合せの困難性などの問題点をもつのに対し，優雅な中間色，均一な色調，完全な耐候性などすぐれた特徴をもっており，建築内外装その他として広範囲な用途をもつものである。

（1）カラーマイトの製造工程

表-1 カラーマイト製造工程



カラーマイトはその製造工程は表-1からみられるように，通常の陽極酸化処理を行なった製品を，金属塩を含む特殊の電解液中で交流電解し，金属塩を酸化物，または水酸化物の形で，皮膜中に吸着させ発色したものである。

この内陽極酸化処理としては従来は専らクロム酸皮膜を採用されていたが，最近硫酸皮膜カラーマイトも開発され，実用段階に入っている。

（2）カラーマイトの色調および皮膜性質

色調：実験的には濃い青および緑を除いてほとんどあらゆる色が得られているが，現在標準色として製造されているものは，表-2のとおりである。

表-2 カラーマイト色調の種類（標準色）

記号	吸着される金属	色調		備考
		クロム酸皮膜	硫酸皮膜	
B	Cu-Se	褐色（カバ色）	黄金色	色調の濃淡可能
C	Cu	赤茶色（アズキ色）	銅色ないし暗赤茶色	硫酸皮膜に着色の場合は電解条件により色調を変え得る
D	Cu	紫灰色	—	
E	Ni	茶黒褐色	—	
F	Cu	緑灰色	—	
G	Ag	—	黄茶色ないしこげ茶色	

皮膜性質：無機物による着色であるから，耐候性，耐熱性がすぐれ，とくにクロム酸皮膜に着色したものは，耐蝕性が優秀である。

表-3 カラーマイトの皮膜性質

記号色調	JIS試験方法			耐酸試験		耐アルカリ試験		耐塩水試験		1,500時間紫外線照射後の変褪色用グレースケール判定
	膜厚μ	耐蝕性sec	耐摩耗性sec	重量減 mg/dm²	表面状況	重量減 mg/dm²	表面状況	重量減 mg/dm²	表面状況	
B 褐色	6.6	311	415	34.9	一部僅か変化	0.6	変化なし	0.2	変化なし	5号（変色なし）
C 赤茶色	6.7	361	397	5.7	変化なし	0.5	変化なし	0.5	変化なし	5号（変色なし）
D 紫茶色	6.9	330	364	16.8	一部僅か変化	1.0	変化なし	0.4	変化なし	4号（極く僅か赤味）
E 茶黒褐色	6.1	308	397	31.3	僅か変化	0.6	変化なし	0.4	変化なし	4～5号（変色なし）
F 緑灰色	6.5	300	395	30.0	僅か変化	0.8	変化なし	0.5	変化なし	4号（極く僅か赤味）
A_2 蓚酸皮膜	7.2	120	170	49.4	一部変化	183.7	一部皮膜溶解	0.5	変化なし	43S 4～5号（変化なし）
B_2 硫酸皮膜	7.6	42	120	204.3	皮膜溶解	1,623.8	皮膜溶解	11.0	一部僅か変化	B1染色gold 2～3号(褐色)

（3）施工および価格

カラーマイトは，普通の硫酸または蓚酸皮膜とまったく同様に，純アルミニュームはもちろん，耐蝕性アルミ合金の板製品，押出製品など種々の形状のものに容易に加工ができ，さらにその皮膜は比較的可撓性にとみ，処理後多少の曲げ加工もできる。したがって，まったく他の内外装材と同様に取扱い施行することができる。現在すでに数十の建物に実用されているが，普通アクセントをつけるため，硫酸皮膜材料と組合せて使用されている例が多い。

カラーマイトの価格は，二回電解を行なう関係上やや高価になるが，43S系の自然発色材料よりは安く，さらに硫酸皮膜着色のカラーマイトはすぐれた色調にもかかわらず，通常の染色製品とほとんど変らない価格で，生産されようとしている。

株式会社 大阪アルミニューム製作所

本社・工場 堺市下田町26番地 電話堺㋐1321（代表）

京都・中京郵便局庁舎（本館）

1. はじめに

日本の郵便制度は古く大化改新から駅制が置かれていたが，近代的な郵便制度が整ったのは明治以後で，「郵便の父」といわれる前島密（1835—1919）の努力などによってようやく官営の制度が確立したのであった。京都の中京郵便局も日本の郵便制の中をたどってきたのであるが，明治38年（1906）に竣工，現存する庁舎は当時頗る著しい建築だったので，その頃出た観光案内・名所図絵などにはたいてい写真を掲げ，「京都府及滋賀県における通信事務を管理……」という解説がついている。この郵便局の沿革を同局所蔵の『沿革誌』から抄出表記すると次のようである。（年次は全部明治）

元年（1868）2月　出張駅逓司設置，同5月廃止
3年2月　京都駅逓出張所設置
5年1月24日　上の出張所を廃止，西京郵便役所設置
同年4月22日　西京郵便局設置
8年1月　西京郵便役所を京都駅逓寮出張郵便局と改称し，ついで京都郵便局と改称
10年1月16日　西京郵便局を京都電信分局と改称
16年7月　京都駅逓出張局を設置，京都郵便局を兼摂
19年7月1日　大阪逓信管理局を新設せられ，京都局はその所管に属し，逓一等局の班に列す
19年7月　京都電信分局も大阪逓信管理局の管理に移る
22年7月15日　地方逓信官官制を廃し，郵便および電信局官制制定と共に大阪逓信管理局を廃し当局において京都府および滋賀県下における局所の郵便および電信事務を監督
32年2月12日　失火により郵便および電信現業室全部焼失
32年11月18日　仮局舎に移転
33年1月8日　現局新築に着手
35年8月18日　現局竣工
同年9月9日　竣工の現局に移転
36年4月1日　京都電話交換局と合併し京都郵便局と称す
（以下省略）

大体このような経歴をもっているのであるが，さて現存局舎の建築当時の事情になると他の多くの官公建築の例と同じく資料がほとんどなく，当局にも残されていず，全くわからない。ただ現存の建築から見て設計者は当時の逓信所関係の人であり，



第1図　本館南西面（「京都府誌」下　所載写真複写）
新築当初の姿を伝えていると考えられる頃の写真。二階窓の手摺がなくなっているくらいで外観はよく旧型を伝えている。右の方が南側正面で，中央出入口（第3図）から左右対称形である。屋根は腰折型で，写真に見えている所は下方，鱗形天然スレート葺の部分。上方緩勾配部分は角形瓦棒付金属板葺である。左方（西側）の鉄柵も現存しない。全体から受ける感じは何となく「逓信省式」といったようなものを感ずる。



第2図　本館南面東寄（昭和38.10.18.撮）



第3図　本館南面中央出入口（昭和38.10.18.撮）
柱・屋根廻りなど皆花崗岩で，施工も入念にされている。



第4図　本館南面東端上部（昭和38.10.18.撮）



第5図　本館南面窓口旧影（局蔵写真複写）
一階公衆溜りの窓口とその前の室は種々な装飾が施されていたが，昭和24年2月に多く取除かれた。これは取除き直前，同2月1日の写真である。天井は模様打出しの金属板天井で，これは現在も同様である。

相当な人であったと想像されるに過ぎないのである。施工は安藤組という（『明治工業史』）が，同組は陸軍関係か郵便電信関係がほとんどであったらしい。

2.　現存庁舎について

上記のようで他の官庁建築同様本郵便局も現存庁舎については略平面のほかは数字的なものしか残されていないようである。平面図については最近郵便局における犯罪が多い時節なので，その公表を差控えてほしいとの希望があったので今回は出さないこととした。それで以下局蔵の『沿革誌』から数字を掲げておく。（『近代建築画譜』に出ている数値と多少異なるが，ここでは前記資料による。）



第6図　本館一階南面窓口前（昭和38.10.18.撮）
壁付のもの，構造的な柱，窓口下方の石造部などは旧姿を残すが，その他は取去られ，その部材も残っていない。

◎敷　地　935坪4合4勺
◎建　物　（本館：煉瓦造三階建，付属舎：煉瓦造二階建）
本館　一階 506坪，二階 506坪
三階 164坪，地中室 261坪6合4勺6才　（明治43年1月現在）
同上　一階 672坪，二階 542坪
三階 200坪，地中室（同上）（明治43年5月31日現在）
付属舎　一階，二階共48坪の煉瓦造，平家建木造，49坪6勺7才
本館増築および模様替
明治45年5月31日，大正11年3月31日
◎工事費
本館および付属舎　259,884円52銭4厘
同工付建物　17,119円62銭
敷地（地価）　2,434円12銭5厘
敷地付建物　3,747円39銭2厘

以上で大体のことが判るが，これによれば本館は明治末と大正時代に記録に残る変更があったようである。しかしこれは当初の姿に大きく影響することも少なく，外観は古い写真と較べてもよく保存されているのを知る。内部では階段・通路の変更，天井の変更などが著しく，また最も大きい変更は一階窓口の木造障壁が昭和24年に取り去られたことである。

（工博　**近藤　豊**記）

付記　本調査に際し当局の庶務課・会計課の方々に種々ご配慮を得たことを厚くお礼申しあげます。

関係資料：「京都府写真帖」明治41.11.
「京都大観」　〃 42.11.
「京都府誌」下　大正 4.10.
「近代建築画譜」昭和11. 9.
朝日新聞京都版　〃 30. 6.28
その他



近代建築の
要求に生まれた

伊奈のデヤータイル

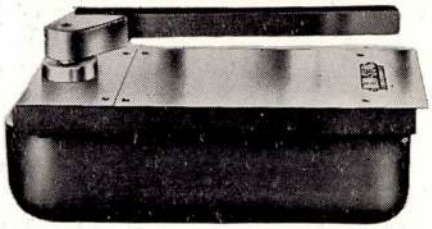
大阪神ビルにご採用
デヤータイル二丁掛

IS 伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電(5)2700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電(551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1—23　電(541)5484(代)
九州駐在所　福岡市鍛冶町1橋口ビル4階　電(74)9080(直)(76)1731(交)
札幌駐在所　札幌市大通西7丁目2番地　電(3)3806

ドア　を閉めるのは
ボクの役目です

NEW★STAR



●建築様式の著しい発達に伴いフロア　ヒンヂも、これに適応したものを要求されます。
創立40余年を誇る最古の経験と、最新の特殊専用機設備から次々と生れるニュースター・フロア　ヒンヂは、取扱いが簡単で、耐久力があり、建築設計業者の皆様から信頼ある理想的な製品として広範囲にご使用いただいています。



ニュースター製品

●フロア　ヒンジ	●ピボット　ヒンジ
●ドア　チェック横　型	●ラバトリ　ヒンジ
●　〃　壺　型	●押　板　メラミン樹脂
●　〃　隠蔽式	●押　板クリスタル硝子

日本ドアーチェック製造K・K

本社工場　大阪市生野区巽矢柄町222　電話(716) 2231～6
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話(291)1920・4920
福岡出張所　福岡市舷津町1番地　電話(74)3312・2372
名古屋出張所　名古屋市東区高岳町1丁目11　電話(94) 4627～8

世界に誇る驚異的建材！
ガスにも熱にもビクともしない！
40年の厂史と最新技術の産物

特許---耐酸.耐アルカリひふく鉄板
オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板
スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした
各種のカラー製品が有ります

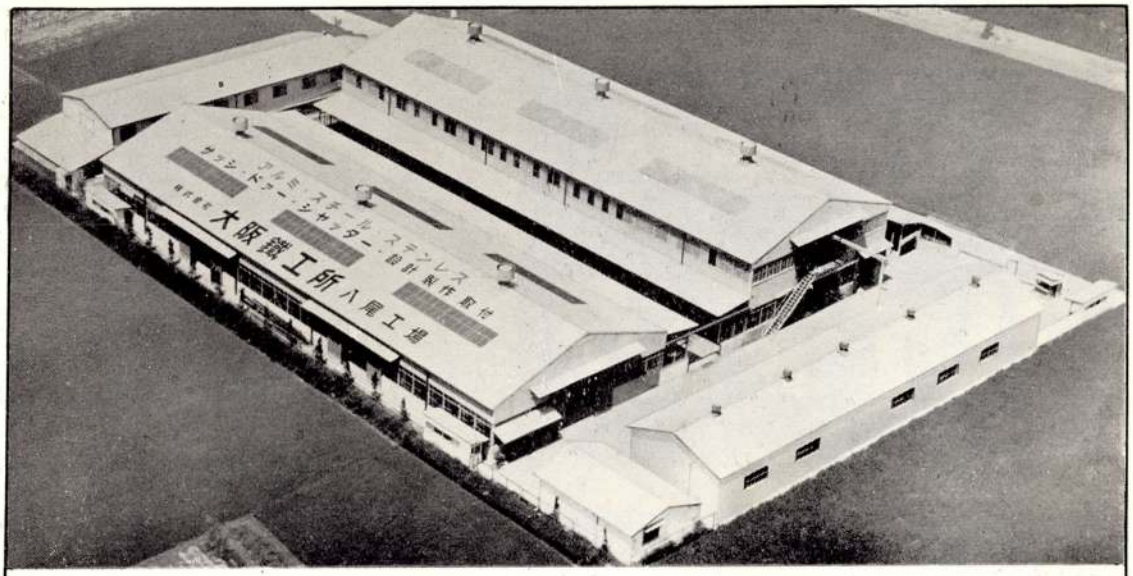
美しいアルミ箔ひふく鉄板
オリエンタル　アルシート

型錄送呈

責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場　尼崎市大物北口　電話大阪(481)4947～9
大阪支店　尼崎市北新町4-41(古川ビル)　電話大阪(401) 9745～6
東京支店並工場　埼玉県蕨市大字塚越1620　電話蕨(32) 3115～7
支店・出張所　郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敦賀・三原・徳島・徳山



●新装成る八尾工場

●本社事務所



■ 営 業 品 目

スチール・サッシュ　　ステンレス製品
ドアー
アルミ・シャッター　　美術金物
設計・製作・取付

株式会社 **大阪鉄工所**

取締役社長 富田豊松

本　社　大阪市西区本田町1丁目44番地　電話(531)1254・4615・3922
(541)0910・0919・7877・2645
八尾工場　八尾市八反地町19番地　電話(0729)②3293・7961
津守工場　大阪市西成区千本通7丁目34番地　1418・(651)6682

S マルエス

永久防水材
ハイダック

特　絶対に裂けない
　　永久に腐らない
長　冷工法で施工出来る

接着剤
ハイダックセメント
No. 1 ジョイント用
ハイダイン　No. 2 貼付用

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける技術的困難は殆んど解決されたと云つても過言ではありません

特許
ビニエス
タイル

お部屋のポイントは
床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪支店　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(531)5281～3
出張所　名古屋 TEL名古屋(54)9996・広島 TEL中(2)1019
　　九州 TEL福岡(5)0768・札幌 TEL (5)6885

ボンタイルの特性および試験結果について

ボンタイル株式会社事業部次長 鈴木照雪

ボンタイルは西独クノール社と技術提携を行なって，昭和36年10月より試作研究に着手し，約2年間を経てようやく市場にだすことになった無機質新建材であります。

ドイツにおいて当初，コンクリートモルタル，ブロックなどの新旧建築物の表面に，防水性，耐候性，耐火性，耐久性，耐熱性などを具備した塗膜を，無機質のもので形式されないだろうかという点に着目し，その研究が繰り返えされた結果，1920年に焼かずに常温の状態で，磁器製タイルと同等の性質をもつ結晶体が完成されその商品化に成功したものであります。

ボンタイルの製造方法は，シリカを主とする無機質の粉末剤（硅砂，石灰，色素など）と数種の化学薬品を調合した溶液とに大別され，粉末剤に溶液を加添したものが，次第に反応作用を起こし，常温で磁器状の被覆を形成するものであります。

現在生産されている規格品としては，特殊コンクリート板，タイルとしてつぎのようなものがある。

225mm×450mm（厚み13mm～15mm）
300mm×450mm（厚み13mm～15mm）
300mm×600mm（厚み13mm～15mm）
450mm×450mm（厚み13mm～15mm）
450mm×600mm（厚み15mm～18mm）

試験結果について

（1）米国メロン，インスチチュート試験所における試験結果

1．機械的な効果

項目	条件	結果	判定
Tabor 磨耗抵抗	16.6mg/1,000サイクル		良好標準として十分認められる
塩霧抵抗	120時間	無影響	〃
加速風化	120時間	〃	〃
熱湯中	30分	〃	〃
寒冷抵抗	40°F～200°Fの25サイクル	〃	

2．火焔抵抗　非可燃物～1,200F中で5分間加熱（加熱中）後欠点なし。

3．粘着　煉瓦，ブロック，漆喰，コンクリート，ボード，スレート，鉄板などその他の材料に対しては剝離しない。

4．表面抵抗　仕上げ面は10%塩酸，10%硫酸，10%酢酸，等々に対し無影響，無侵透，無汚染である。

（2）大阪市立工業研究所における耐候性試験結果

外観の変化をみとめない。（試験条件省略）

新しい建材 天童木工成型合板パネルについて

(株)天童木工製作所生産副部長 大山勝太郎

1．はじめに

ハイクラスの新しい建材として，成型合板による壁面パネルを開発いたしました。

2．その特徴

巾と型は規格として決めてありますが，表面の化粧材や仕上の方法は室内に合せてご指定通り，また寸法（長さ）は現場に合せてご指定通り製作いたします。要するに半概製品でオーダーメイドのものであります。

3．長さの限界

現在のところ長さ3mまでありますが，4mまで製作できるよう準備中であります。なお化粧材の木目が床面と平行の場合は重ねて取付けられますので，現在でも高さ6mまで可能であります。

4．割込の問題点

巾と型が，各種あるのでその範囲内で割付けを行なっていただくことになりますが，±2mm程度は自由になります。

5．使用場所

一般家庭に向くというわけにはまいりませんが，ビル内の高級個室，会議室，あるいはホテルなどのロビー，高級レストランなど，用途は広いと存じます。

6．耐久性について

成型合板でありますので，後日の狂いがほとんどなくいつまでも同じ形状を崩しません。

7．各タイプの明細

本誌「新しい建築材料紹介欄」（色頁Ⅲ）頁に図示してありますのでご参照下さい。

8．取付について

全部に縦胴縁が接着してあり，小穴ができておりますので釘打ちと「やといざね」兼用の目地棒で簡単に施工ができます。なお下地の工事縦胴縁を省略することもできます。

9．狂いと強度

成型合板の特性として弾力をもち狂いが少ない。

10．製作価格および期間

この種のものは前記の通りのオーダーメードであるため，数量および製作の難易により，価格も製作期間も一定いたしませんが，大体1m²について約¥10,000円位であり，期間は1ヵ月以上となります。

会　　報（9月分）

理　事　会

11日　4時――5時　於会館会議室
出席者　尾崎会長，東畑，竹中，塚本各副会長外
6理事，稲垣監事
議　事（1）国家褒章受賞候補者推薦の件
（2）事務局各係の係長任命の件
（3）会館ペンキ塗替えの件
（4）その他
（イ）京都大学建築学第二学科新設に関する要望書提出の件
（ロ）第1回日本建築祭実行委員会の件
（5）入退会者承認の件
（6）報告事項
（イ）建築試験所設置問題の件
（ロ）創立45年記念事業剰余金に関する件
（ハ）会計報告
（ニ）事業報告

運営審議会

11日　6時――7時半　於会館会議室
出席者　塚本委員長外7委員
議　事（1）会員カード整理状況の報告
（2）審議経過に関する総括的フリートーキング

事業委員会

小委員会（新建築見学会）
2日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　樫根主査外3委員
新建築見学会の企画協議
小委員会（若い会員の集い）
3日　正午――2時　於会館会議室
出席者　東主査外5委員
主査の交替，10月以降の事業企画について協議
委員会
9日　5時半――7時　於会館集会室
出席者　増井，岡本正副委員長外8委員
議　事（1）9月，10月の事業企画について
（2）第1回会員作品展について
（3）各小委員会の事業企画について
（4）大阪府建築士会より申出での本会と同会の事業正副委員長懇談に関する件
小委員会（展示会）
12日　4時――6時　於毎日ギャラリー
出席者　三品主査，駒委員
会員作品展の出品展示の準備調査
小委員会（古建築見学）
16日　5時半――7時　於会館会議室
出席者　佐孝主査外2委員，岡田孝男氏
10月，11月の古建築見学会の企画について協議
小委員会（講演と映画会）
19日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　井上主査，大久保委員
講演会の企画について協議
打合会（各種説明会）
23日　正午――1時半　於会館会議室
出席者　藤沢主査，薮内委員
出講会社2社
第5回の説明会実施について打合せ
小委員会（写真コンクール）
25日　5時半――7時半　於会館会議室
出席者　内藤主査，山本，白井各委員
第6回コンクール応募作品の検討とコンクールの今後

✳特許
小俣式
防火シャッター全般
●設計
●製作
●施工
小俣シャッター工業株式会社
大阪支店
大阪市北区若松町30　電話（341）9004．9016．4825
本社　東京都北区田端町　事務所及本工場　埼玉県与野市

の方針について協議

住宅委員会

4日　3時——7時　於建築士会々議室
出席者　海上，福永正副委員長外9委員
議　事（1）「住みよいアメリカの住宅」について紹介
（2）今後の実施事業について

編集委員会

委員会
13日　4時——6時　於会館会議室
出席者　大久保委員外5委員
議　事（1）経過報告
（イ）10月「地下街特集」号
（ロ）11月「建築と芸術特集」号
（ハ）12月「超高層特集」号
（2）正月号以降の特集計画について
（3）正月号，2月号の幹事会について

幹事会
26日　3時——5時　於会館会議室
出席者　生方幹事外4幹事
正月「建築と照明特集」号の企画について協議

建材委員会

20日　3時——5時　於会館集会室
出席者　委　員　岡本委員長外5委員
研究者　大阪大学鷲尾教授
使用者　大林組，清水建設3氏
メーカー　新日本鍛工K.K. 外5社12氏
鋼製足場に関する検討会第1回

名簿発行委員会

12日　3時——5時　於会館会議室
出席者　池田委員長外4委員
議　事（1）名簿表紙に関する件
（2）業者広告に関する件

近代建築調査委員会

17日　3時半——5時半　於会館会議室
出席者　滝沢委員長外9委員
議　事（1）今後の方針について
（2）大正時代リストの検討
（3）12月号発表建物の件
（4）次回委員会に資料持ち寄りの件

説　明　会

「新しい内外装建材と新合板パネル説明会」
1．と　き　9月27日　1時半——5時
1．ところ　千代田生命ビル9階ホール
1．講師および演題
新建材「ボンタイル」について
堂島K.K. 社長　久保　十郎氏
「ボンタイル」の使用例について
同社ボンタイル事業部次長　鈴木　照雪氏
「ボンタイル」の性質および試験結果について
同社ボンタイル事業部技術課長　久保　乾介氏
成型合板パネルについて
K.K. 天童木工製作所生産部副部長
大山勝太郎氏
アルミニューム建材の表面処理法「カラーマイト」について
K.K. 大阪アルミニューム製作所
開発部開発課長　川口　清氏
1．協　賛　堂島K.K.
K.K. 天童木工製作所
K.K. 大阪アルミニューム製作所
1．聴　衆　120名

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

座　談　会

「新しい空間創造への参加」座談会

3日　2時――5時　於大阪建設会館

出席者　司　会　大久保編集委員

建築家　太田氏，根津氏

彫刻家　福岡氏

画　家　田中氏，中西氏

会誌11月「建築と芸術特集」号企画として開催

建築写真コンクール（第6回）

1．課　題　「街」

1．締　切　9月20日

1．審査会　9月26日　4時――6時半　於会館会議室

出席者　審査員　大久保氏外5氏

増井事業委員長，内藤主査外2委員

応募作品37点を審査して入選作10点を決定

見　学　会

一休寺と秋篠寺見学会

22日　9時半――4時半　参加者30名

第2回古建築見学会として，藤原義一博士の解説によって実施

要望書提出

京都大学建築学第二学科新設に関する要望書

関係6団体の連署によって，9月10日付，大蔵大臣，文部大臣，衆議院文教委員長，参議院文教委員長宛に提出

陳情書提出

建築綜合試験所新設に伴う国庫補助金下付に関する陳情書

大阪に建築綜合試験所を新設するため，大阪府知事，大阪市長，大阪商工会議所会頭および関係6団体長が発起人となって，財団法人日本建築綜合試験所を設立することにして，発起人名により試験所新設に伴う国庫補助金下付の陳情書を，9月30日付内閣総理大臣，大蔵大臣，建設大臣宛に提出

編　集　後　記

「芸術の秋」にちなんで「建築と芸術」特集としたけれど，一体「建築と芸術」にするか「建築という芸術」にするか議論のわかれるところ結局「と」という点に重点をおいたが，そのねらいは，要するに機能主義を超克する総合運動はどういうものであり，またどうあるべきかということであつた。こういつた点からゴシツク建築の再評価，あるいは絵画や彫刻などとの結合を追求したが，企画にあつた「新しい空間創造への参加」という座談会にしろ，まだまだ不発に終つた感が強い。要するに，今後の問題として残されているわけである。なお，「小論随筆」のうち，「丹下健三と岡本太郎」というテーマで針生一郎氏より執筆承諾をえていたが筆者の都合で結局間に合わなかつた。企画にご協力いただいた幹事は，大久保昌一，神出津雄雄，前川道郎，高田威，島田勝次，小島将志の各氏である。誌してお礼申しあげます。

日本建築協会・出版図書案内

■建築物用途別　建築基準法および関係法規早見一覧表

附　録　消防法施行令及び大阪市予防条例早見表

会員　特価300円　定価350円　送料70円

■日本民家集　ふるさとのすまい　本会創立45年記念出版

第16回毎日出版文化賞受賞

会員特価800円　定価960円　送料150円

■鉄骨鉄筋コンクリート構造設計実例集

構造計算書B5版500頁

構造設計図B4版200頁　定価3,500円　送料200円

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

内外式電動ベンチレーター

電気扇付　屋上強制換気装置

内外式スカイライト

工場・プラットホーム・体育館・アーケードに最適

内外式

コンチニアスベンチレーター

筒型各種ベンチレーター

設計　施工

内外建材株式会社

旧名（株）内外土木建材社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）TEL（441）3983

工場　大阪市城東区天王田町1の141　TEL（981）1149

屋根浪板
谷樋には

大島化学のひふくてっぱんを

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931) 7071—3
支店 新居浜・名古屋・四日市・広島

田中式

スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK 田中工業株式会社大阪出張所

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2～89

TEL 大阪 (06) 6341 (代表)・(06) 6342

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1～25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4～122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3～43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区桜木町308
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2～93・吉田工務店

TEL 東京(623)代表0106—0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118～9
TEL 小倉(52) 2833・2834
TEL 川崎(2)7594～5
TEL 札幌(3) 6762・0515
TEL 盛岡(2) 7642
TEL 名古屋(57) 7641
TEL 米子(2) 4683

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

大阪市北区真砂町五番地
電話 大阪(三四一)二〇七～八・四八三六～七

株式会社久保商店

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話(441)代表2613・代表9431
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電話(911)3941
名古屋市中村区牧野町1の6　電話(54)0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(4)1778・4386
広島市中町2番地の4　電話(2)7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区富田町16　代表(341)7031
支店　東京都千代田区小川町2丁目1 桧ビル　(201)7751-3
福岡市養巴町22　(74)1158
出張所　名古屋市中区新栄町2丁目1　(97)1820
福井市宝永上町105　(2)1596
松江市東本町4丁目147　5098
広島市紙屋町8　(2)4537

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪371局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都56局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸4局5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 大阪電気商会
株式会社 大阪暖房商会

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話大阪㊶大代表8231番
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話大阪(443)3956～8番
本店　東京都中央区新富町3丁目5番地(菊栄ビル)
電話(551)7450～9番

金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井②2436
高松出張所　高松市二番丁九　電話高松②5195
岡山出張所　岡山市大供松ノ木三八〇ノ一　電話岡山③7047

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル714号
電話大阪(443)3361～5
札幌店　札幌市北四条西16丁目1番地　高田屋ビル二階
電話札幌②0010・0956・③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号
電話　中局㉔1766　㉕3042

建築設備・金属製建具
荷役運搬機械・環境衛生施設
化学・鉱山機械

三機工業株式会社 大阪支店

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　樋口勝栄

大阪市東区北浜2－33(三井信託ビル)　電話大阪(202)代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島・仙台・富山・金沢・静岡・高松
工場　相模・鶴見・六郷・中山・高槻

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話441—5171
支店—東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 建材社
大阪支店

大阪市北区中ノ島二丁目　(新朝日ビル5階)
電話大阪㉑6041・㉗7046(代)
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営業所　名古屋市中区菅原町2丁目
(センタービル)
連絡所　広島・北陸・浜松

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設計施工

髙砂熱学工業株式会社

大阪支店

大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話大阪（312）4521（代表）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工

東洋キヤリア工業株式会社

大阪支店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話大阪㊶局8356（代表）
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

暖冷房・水道衛生工事
設計施工

株式会社 **栄興商会**

取締役社長 中山敏正

本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊺3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話（351）2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
仙台出張所 仙台市東四番丁四五 電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工

株式会社 **朝日工業社**

大阪市北区中之島4—39 電㊶6671～5
東京支社 東京都港区芝浜松町2—7 電(431)7341～5
支店 北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

第一工業株式会社大阪支店

大阪市北区富田町30 電話大阪㊵ {(代表)0977 {0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内3—2(新東京ビル)
電話（(211)8511・8561（代）
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話 ⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

日本管工業株式会社

代表取締役 市川繁雄

本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工

日本熱学工業株式会社

社長 牛田正郎

本社 大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話大阪㊽8671
大阪事業本部 大阪市北区万才町50 北大阪ビル
電話大阪㊽8671
東京事業本部 東京都新宿区四ツ谷三条町18 日熱ビル
電話㊸4924～7
名古屋支店 名古屋市中区城代町7
電話㉓4690・3520
営業所・出張所 下関・金沢・藤沢・新潟・八幡・京都

暖・冷房、温湿度調整、衛生設備
設計・施工

大嘉熱工業株式会社

取締役社長 三木徳次郎

大阪 大阪市北区万才町四三浪速ビル六階
電話大阪㊽2530・2538～9・2085
（代）5725
東京 東京都千代田区西神田一ノ八
電話東京㉑8002～3
出張所 富山市衣服町十番地
電話富山②6623

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工

第一企業株式会社大阪支店

大阪市北区天満橋筋4—71
電話㉟2808・2809・2800・2134
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話（811）（代表）6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工

理研鋼機株式会社

大阪営業所 大阪市北区宗是町1（大ビル）
電大阪代㊶8621番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電東京代(901)3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電東京代(501)3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪㊙2891—5番
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・福岡・高松

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町2丁目22
電話 大阪(362)8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区永楽町8番地（日産生命館）
電話 大阪㊙代表 1234～9
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話 大阪代表㊙8131～7
東京支店 東京都港区芝金杉町二丁目十三番地
営業所 名古屋・神戸・新宮・御坊・松山・草津

電動機自動操作用配電盤・分電盤・受電盤
自動遠方操作盤・電動機単逆相運転防止装置
温湿度自動装置監視盤・遠方監視自動装置
各種フロントスイッチ・スペースヒーター及び
ウォータヒーター・其の他特殊電気機器設計製作

森井電業株式会社

東京本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)9611～5番
工場 東京都港区麻布新広尾町一丁目一三四番地
電話 東京(451)0535番
大阪支店 大阪市北区常安町十六番地
電話大阪(441)9516～8番夜間専用(441)502番
名古屋出張所 名古屋市中村区長戸井町三丁目四十一番地
電話(57)(代)7445～8
福岡出張所 福岡市東職人町二七番地
電話(4)7813番 3516番
広島出張所 広島市三川町二六番地電話(4)2449番

各種電気工事設計施工

株式会社 ヤマト電気商会

取締役社長 山本龍太郎

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京(541)7464
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話(312)1471(代)
支店 東京都中央区西八丁堀四丁目十（後関ビル三階）
電話(552)0591～4
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(99)5131～3
出張所 小松市符津町才四四ノ三
電話(栗津)237
出張所 堺市三宝町七丁目三六九

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話大阪局㉙9531（大代表）
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話大阪局㊾5201番(代表)～3
出張所 京都市中京区西ノ京中合町二十八ノ十一
電話京都局㊽3481番

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎

本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話(716)4035(代)～8
支社 東京・都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話大阪(931)代表7341～5
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話(931)2193

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 林 敏夫

本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊱ 3671（代）
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊾ 1478～1478
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大阪支社

支社長 姉川正男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番

佛

社寺数寄屋用瓦…大佛瓦
耐風雨緩勾配用瓦…大和瓦
美術建築内外装用タイル…大佛タイル

大佛組

本社 京都市東山区今熊野池田町(56)3555･3725
大阪営業所 大阪市東区内淡路町1～13 (941)0975
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目 (88) 2703

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）

八千代電設工業株式会社

取締役社長 梶本秀尾

大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊵ 6531（代）～6
支店 名古屋
出張所 東京・岡山・北九州

株式会社 矢橋大理石商店

大阪出張所

大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話大阪 ㉓ 4257－8番

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション

設計 ㊐ 製作

日本エレベータ工業株式會社

本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区長者町2－7（豊富ビル）
電話（831）7949直通（866）5276交換
名古屋営業所 名古屋市中区宮出町58
電話（24）8416

床・壁・天井
内装材一式

駒 丸駒建材株式会社

営業所 大阪市西区北堀江通1－10
電話(541)代6151・3947

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田ゼニト 井田商事株式会社

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物八号門前
電話 (562) 0800, 0808～9

特約販売・工事店

東洋キヤリア工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
(株)大阪パッキング製造所
大洋産業株式会社

販売 工事

各種保温保冷材料 冷暖房工事
各種冷暖房機器 防熱防音工事
冷凍機・石綿製品 各種配管工事
各種樹脂加工品 設計施工

日本冷熱工産株式会社

取締役社長 石川良興

本社及大阪営業所 大阪市西区土佐堀通1の16（石川ビル）
電話大阪（443）3661～5
九州支社及長崎営業所 長崎市茂里町13番地 電話（4）0092・0308
営業所及出張所 広島・福岡・小倉・大分・徳島・舞鶴・東京

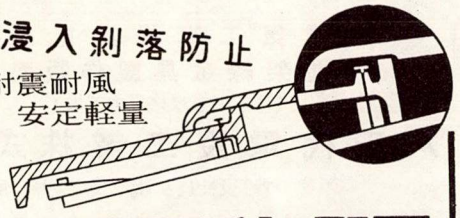
TKK

アルミニウム
ステンレス　　カーテンウオール
ブロンズ

東京カーテンオール工業株式会社
（旧社名東京鋼板工業株式会社）

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話（891）8131～8
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電話㊾9154～7
名古屋支店　名古屋市東区久屋町5の9（住商ビル）④2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）㉔8825

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付（空葺）瓦

ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目壱番地 電話(641)3555番

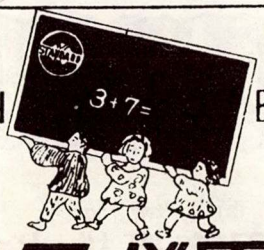
特許　**白蟻**

松平式白蟻殺滅予防所
奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話 奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639



陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・アンホール

株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話 大阪㊱4032



Standard Board & Slate

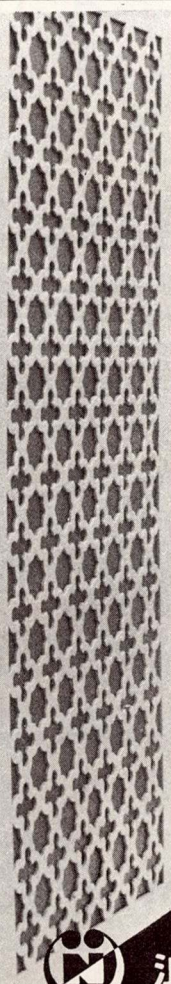
フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地電話 大阪（741）4692番

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪㉕1756—7・東京㉘1335



素晴らしい花格子!!
三次立体加工の決定盤

クトクランマー

クトク
の新建材

プリント合板
ビニオン
ビニライト
リズムウッド
美装パネル
九徳天井板
強力合成接着剤
ブルータイン

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通3の20　TEL（561）2201（代）
東京出張所　東京都荒川区日暮里町8の618　TEL（807）0250

鈴木式防火シヤタア

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33　電話㈹0098・5837・8729・6810・8555
北陸営業所　金沢市長田町119　電話②2287

奉仕感謝の店

タイル 衛生陶器

㈱川岸窯業商店

大阪市西区靱本町2丁目98　靱本町電停前
電話大阪・㈹8467～9番

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売



建築陶器の百貨店

株式会社 吉田芳雄商店

大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(341)2403・3904

特許植物性　型枠離剥塗料

サンヒット

メタルフォーム用特号

関西代理店　株式会社 金剛商会

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道　野里電停前
製造元　東京サンヒット商会　電 大阪㈹0417・4091

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

サンウェーブ
流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1
電話 (531)1003～5　(541)8731～3

内装新建材

天井から床まで！

販売並責任施工

商報　カタログ進呈

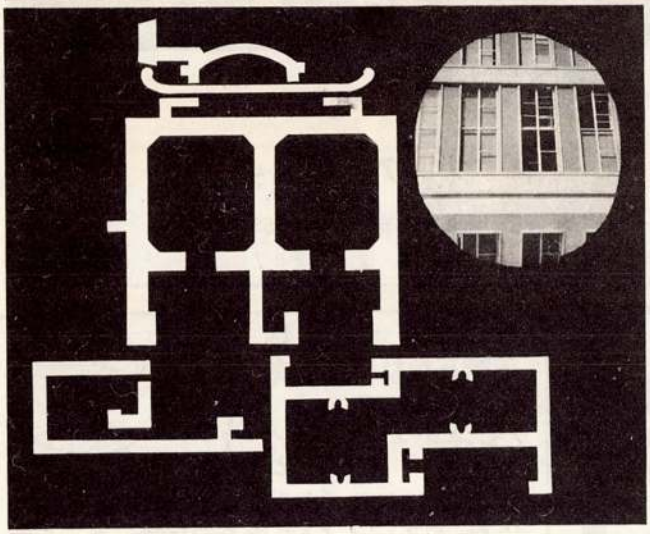
KK.室谷商店

本社　神戸市生田区北長狭通四ノ一
電話③0881－0883
支店　大阪市北区絹笠町五〇(堂ビル5階)
電話㉜2031－2034
出張所　岡山市内田京町一五八の二
電話②5189

つねなりすたじお

建築写真

大阪市東区北浜・電㉑0141



近代建築には

OKK アルミ・サッシ

■サッシ・ドア
■ルーバ
■カーテンウオール
■プレハブサッシ
〈其他　特殊設計と製作〉

OKK

大阪機工株式會社
サッシ事業部

本　社　大阪市大淀区豊崎西通1の4　電話(371)6644～5
工　場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所　電話 伊丹(大代)5121
（福知山線北伊丹駅前）

TIGER BRAND

■待望の世界の建材
ニュータイガーボード

■新時代の壁材
YNプラスター

■60年の歴史・最大の生産
吉野の耐火ボード

燃えない建築資材！
■準不燃材料・準不燃材料

■特性
長手の方向を表面の厚紙でヘリ折り被覆した強靱で美麗な新しい耐火ボード
カタログ進呈

石膏ラスボード
を下地にすれば
和洋壁が3－7
日で出来る

石膏ラスボード
タイガートーン
アートボード
秋田杉耐火ボード

吉野石膏株式会社大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大阪ビル）
電話(341)2557
本　社　東京都千代田区丸ノ内2の6
営業所　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・広島
工　場　東京・福岡・四日市
（菱化吉野石膏）秋田・高砂

何よりも安心できる　**年限仕様**

Ⓐ アスタイト防水

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	（株）久保商店	大阪市北区真砂町5	大阪（341）0207～8・4836～7
	（株）木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	大阪（441）5408・5486
	（株）井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	大阪（441）8531～5
	（株）大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	大阪（631）6221～4
	（株）石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	大阪（301）3340・3505
	内外工業株式会社	大阪市阿倍野区旭町1ノ51	大阪（641）3434～6
	旭化建工業株式会社	大阪市北区茶屋町38	大阪（371）6555～7
	日本瀝青工業（株）大阪支店	大阪市北区富田町40	大阪（361）5496～8
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	神戸 ⑤2140・2697
	（株）中出商会	神戸市兵庫区上沢通6ノ9	神戸 ⑤4630・4650
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	京都 ⑧0871～2
	田島応用化工（株）大阪出張所	大阪市西区京町堀1ノ74	大阪（441）5951代表
東海	岡田建材株式会社	名古屋市西区桜木町3ノ8	名古屋 ⑤7461～3
	（株）名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	名古屋 ㉔1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区材木町1ノ12	名古屋 ㉓3295
	日東物産株式会社	名古屋市中区東瓦町39	名古屋 ㉔6176～9
北陸	北川瀝青工業株式会社	金沢市西側町8	金沢 ④1131～5
	北川瀝青工業（株）富山出張所	富山市奥田新町23	富山 ②2218 ③1014
	北川瀝青工業（株）福井出張所	福井市大和中町70	福井 ③1134
	（株）小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ1	高岡 ③2463
中国・四国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	中 ㉑2281～7
	青盛建材（株）岡山営業所	岡山市東田町3	岡山 ③8285～7
	（有）小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山 ②4272
	（株）浜原豊商店	尾道市吉和町新浜	尾道 2760
	（株）浜原豊商店防府支店	防府市大林寺	防府 ②3611～2
	古市断熱工業株式会社	高松市宮脇町960	高松 ③5034
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山 ②8161～5
九州	青盛建材（株）福岡営業所	福岡市万行寺前町14	東 ②5566～8
	高稲工業株式会社	長崎市大橋町138	長崎 ④1726
	高稲工業（株）小倉営業所	小倉市西本町2	小倉 ⑯6177

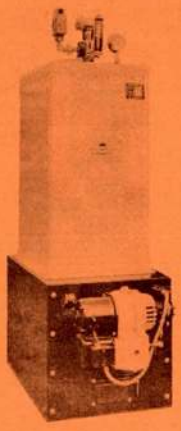
建設省阪建22号認可

三星

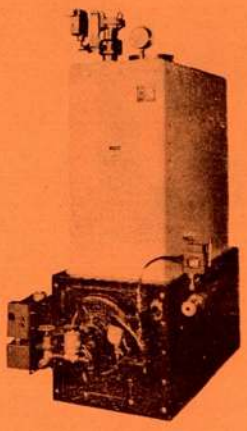
西日本アスファルト事業協同組合

大阪　大阪市西区京町堀1－74　TEL ㊵代表5951
東京　東京都千代田区神田岩本町13（田島応用内）　TEL（866）代表6101
東海　名古屋市西区桜木町3－8　TEL ㉗2732
博多　福岡市万行寺前町14　TEL ②2807
岡山　岡山市西古松299－5　TEL ④2692

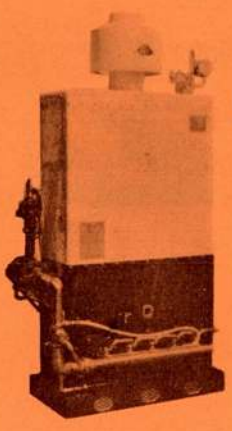
笠松式水管瓦斯重油温水ボイラ



軽油全自動ボイラ



重油全自動ボイラ



瓦斯ボイラ
NO.K200型

本邦最初
（84Sモリブデン
ステンレス製）
最高性能・経済的・安全な
（暖房・給湯）

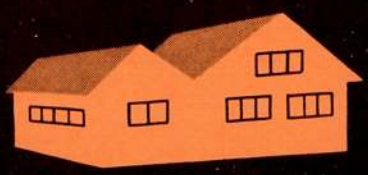
営業品目

オイルバーナー
瓦斯熱風暖房機
軽油ボイラ（銅水管製）
重油全自動ボイラ
（水管モリブデンステンレス製）
都市瓦斯ボイラ
プロパン
（銅水管製）
（型録贈呈）

笠松工業株式会社

取締役社長　笠松正治
本社工場　大阪市生野区大友町1－18　電話（716）8183（717）2706

住友の 押出し型材使用 アルミサッシ・ドア



アルミサッシ使用率
米国 70%
西独 26%
日本 6.5%

雨の多い日本には……
雨仕舞の良い気密な窓を
錆びない・軽るい・精度が高い



製造　取付

アルケン工業株式会社

大阪市西区新町通4－39　電話（541）0865 2905

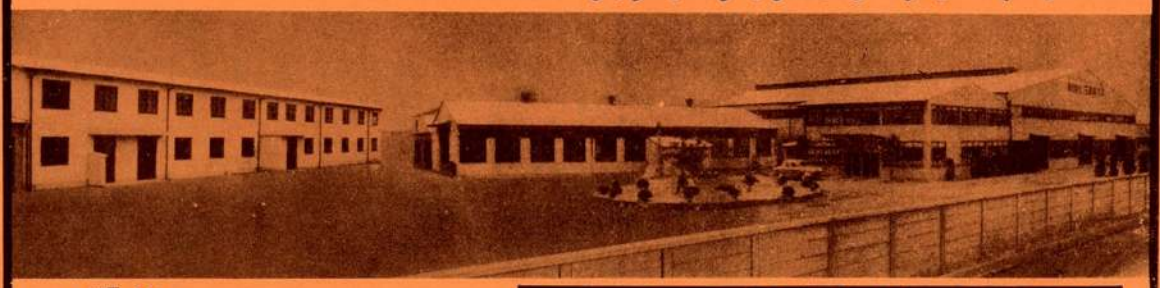
オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない●三高式

スチールサッシ・ドアー・シャッター

オペレーター・ドアーハンガー

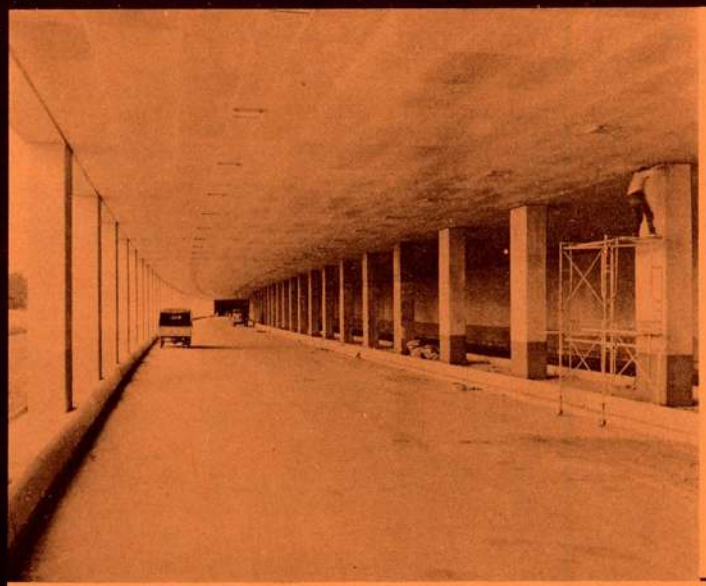
ステン・アルミサッシ・ドアー



TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社 三高製作所

本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280 電話 大阪 (401) 6158・6159



マンテンの金属建材

金属下地材の決定版、あらゆる貼上材にマッチする各種タイプ有

SK式金属下地ネールロック

組立簡単、移設自由、デラックスな感じがする間仕切システム

可動間仕切ムービーパネル

吸音効果満点、仕上げが美しい、取付けが簡単

アルミ建材パラボン・スパンドレル

発売元 住友商事株式会社 物資部

■名神高速道路千里山トンネル施工現場・ネールロックはビル、工場、体育館などの他に地下街、トンネルなどにも大いに使用されております■

製造元 株式会社 満点製作所

本　社　大阪市南区日本橋筋3丁目2番地 電話 大阪(632) 1151(代)
東京営業所　東京都江東区亀戸町2丁目114番地 電話 東京(682) 3241(代)

建築金物　ドア錠……モノロック公団用MR錠
軽量ドアチェック……アルペット、ミゼット
特製窓金具……モノトコ、ホッパー
その他高級建築金物一切

新家庭金物　ハンガーボート架金具
飾り棚付金庫チャームセイフ
ハニースクリーン、マイハンガー

サッシ・ドアの設計　施工は
伝統と信用のある下記協会員へ

西日本規格サッシ（株）
大阪市北区神山町26（富国信用ビル）（361）6501

朝日建材工業（株）
高松市木太町洲端２１６９　高松（３）　3181

旭サッシ工業（株）
大阪市城東区野江西之町１ノ４４　（931）３５６１

尼鉄建材（株）
尼崎市西向島町２７０　（401）６３０１

（株）石居工業所大阪営業所
大阪市北区老松町３ノ23（新老松ビル）（361）5965

岩住サッシ（株）
尼崎市守部字下河原１５　（401）６７５１

栄進鋼業（株）
大阪市城東区野江西之町２ノ２　（931）８２６１

（株）栄進社大阪営業所
大阪市大正区南恩加島１　（551）１７１８

大阪機工（株）
大阪市大淀区豊崎西通１ノ４　（371）０６６４

大阪建材工業（株）
堺市松屋町１ノ６　（0722）（３）　5241

（株）大阪鉄工所
大阪市西区本田町１ノ４４　（531）１２５４

大阪理研工業（株）
豊中市大字洲到止３５９　（391）０６６１

加地シャッター工業（株）
大阪市生野区中川町３ノ１５　（731）１０２０

川鉄建材工業（株）
神戸市東灘区魚崎町魚崎　神戸（85）4343

（株）関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町２ノ５　（931）６０４５

（株）建鋼社
広島市中広町１００２　広島（31）7293

三機工業（株）大阪支店
大阪市東区北浜２ノ22（三井信託ビル）（202）3071

昭和工業（株）
大阪市城東区茨田横提町３９　（931）８９０３

昭和鋼機（株）大阪支店
大阪市西淀川区佃町３ノ１５５　（471）６０５１

田中工業株式会社大阪出張所
尼崎市南竹谷町２ノ８９　（401）６３４１

（株）高橋サッシュ製作所
新居浜市中村字西松木２２３　新居浜５１１１

大建サッシ工業（株）
大阪市城東区野江東１ノ１２　（931）３３５１

谷山鋼機（株）
大阪市城東区茨田横提町２３０　（931）７１９１

中国金属（株）
広島市舟入川口町５９４　広島（31）9476

中国理研サッシュ（株）
広島市舟入幸町６１２ノ１　広島（31）2081

東京カーテンオール工業（株）大阪支店
大阪市北区絹笠町18（聚嘖ビル）（361）９１５４

（株）中本鉄工所
大阪市福島区海老江下２ノ７４　（458）０９３１

浪速建材工業（株）
大阪市城東区茨田横堤町４１　（931）１１７１

日本建業（株）
大阪市北区南森町11（第一ビル）（351）２５３１

日本建材工業（株）
尼崎市久々知字山の口９　（401）５７９４

日本建鉄（株）大阪営業所
大阪市北区堂島上2ノ36（毎日産業ビル）（361）6758

日本スピンドル製造（株）
大阪市東区備後町３（綿業会館）（202）７９９１

（株）汎建製作所
大阪市此花区西島町３ノ１５　（461）２９０３

不二サッシ工業（株）大阪支店
大阪市西淀川区御幣島中３ノ４　（471）７６５１

（株）三高製作所
尼崎市南竹谷町２ノ８９　（401）６１５８

理研鋼機（株）大阪営業所
大阪市北区宗是町１（大阪ビル）（441）8621

六甲工業（株）
大阪市西成区旭北通２ノ２　（632）２９２１

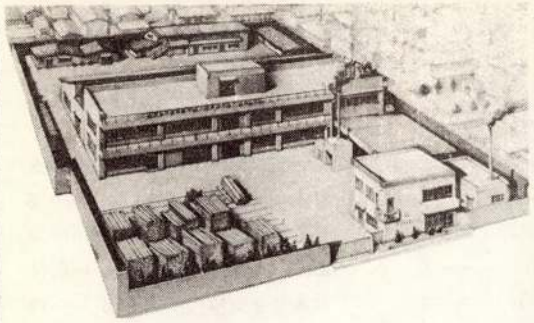
社団法人 **日本サッシ協会　関西支部**

支部長　福田好雄

大阪市北区神山町２６（富国信用ビル）（361）6501

広告目次 (50音順)

ア アサヒカラコンkk ……16
アスファルト同業会 ……中挟
アルケン工業kk ……10
浅海電気kk …… 4
kk朝日工業社 …… 3
朝日石綿工業kk …… 表4
伊奈製陶kk ……中挟
井田商事kk …… 5
岩元工業kk ……14
エポーkk ……14
kk栄興商会 …… 3
オリエンタルメタル製造kk……中挟
大阪機工kk …… 8
大阪建材工業kk ……20
大阪コンベス建材社 ……16
kk大阪城口研究所 …… 2
kk大阪電気暖房商会 …… 2
大阪耐酸工業所 ……15
大島応用化工業kk …… 1
小俣シャッターkk ……本文
kk奥村重兵衛商店 ……本文・20
奥山化工業kk ……18
織本建築事務所 ……16
カ 笠松工業kk ……10
亀井kk ……17
kk川岸窯業 …… 7
桂商会 ……前付
関西媛房工業kk ……15
関西三星タイル会 …… 表4
工藤電気kk …… 4
kk久保商店 …… 1
クマガイ工業kk ……前付
栗原工業kk …… 4
黒川化学工業所 ……17
kk建材社 …… 2
江東電気kk …… 4
神戸製鋼所 ……前付
合同特許建材工業kk ……15
kk金剛商会 …… 6
サ 斎久工業kk …… 2
kk斎藤省三商店 …… 2
三栄建材工業kk ……15
三機工業kk …… 2
kk三幸商会 …… 6
kk三晃商会 …… 3
kk三興社 …… 5
三宝電機kk …… 4
敷島金物kk ……前付
新鋼建設工業kk ……15
kk新興建材工業所 ……18
昭和鋼機kk ……17
須賀工業kk …… 2
鈴木シヤタア商会 …… 7
住友金属工業kk ……前付
石綿スレート同業会
関西事務所……19
タ 田島応用化工kk …… 表2
田中工業kk …… 1
kk田中風呂製作所 ……17
田辺工業kk ……本文
谷山製作所 ……前付
第一企業kk …… 3
第一工業kk …… 3
大嘉熱工業kk …… 3
大元工業kk ……本文
大日本硝子工業kk ……14
大仏組 …… 5
高砂熱学工業kk …… 2
kk武智工務所 ……本文
中央電気工業kk …… 4
朝陽電気kk …… 4
寺西金庫 ……前付
東光電気工事kk …… 5
東京カーテンオール工業kk … 6
東洋キヤリア工業kk …… 2
東洋シャッター ……前付
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
ナ ナニワ瓦kk …… 6
内外工業kk ……16
内外建材kk ……本文
中本電気kk …… 4
浪速合板 …… 6
浪速建材工業kk ……19
日本アスファルト
防水工業会関西事務所 ……前付
日新工業kk ……中挟
日本エレベータ工業kk …… 5
日本管工業kk …… 3
kk日本金具製作所 ……前付
日本サッシ協会関西支部 ……12
kk日本シヤッター製作所… 表3
日本スピンドル製造kk ……前付
日本セメント防水剤製造所…表3
日本綜合防水kk ……前付
日本ドアーチエツク製造kk……中挟
日本熱学工業kk …… 3
日本冷熱工産kk …… 5
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk西原衛生工業所 …… 2
ハ kk林塗装店 …… 6
kk平川鉄工所 ……前付
平田タイル …… 7
広瀬ハウス工業kk ……前付
フタバ黒板 …… 6
二葉屋装備工業kk ……14
平和工業kk ……17
マ 松平式白蟻殺滅予防所 …… 6
丸駒建材 …… 5
満点製作所 ……11
kk三高製作所 ……11
美素工業所 ……本文
水島商店 ……前付
水谷ペイントkk ……本文
kk室谷商店 …… 7
森井電業kk …… 4
ヤ 八千代電設工業kk …… 5
八橋大理石商店 …… 5
八幡製鉄 ……前付
kkヤマト電気商会 …… 4
山田工業kk …… 3
山本窯業kk ……本文
山本建材社 ……前付
kk油脂化工社 …… 表3
kk吉田芳雄商店 …… 7
吉野石膏kk …… 8
ラ 理研鋼機kk …… 3



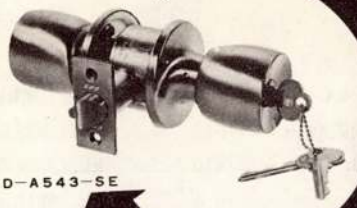
FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具建具・室内装飾工事 設計施工
内外装飾織物・敷物類一式

（創業大正7年）

二葉屋装備工業 株式会社

取締役社長　若　林　繁　吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・大阪 ㈹ 3321～3・3630



D-A543-SE

あらゆるドアに調和する！

エポロック

デラックス
1. 品種　住宅玄関・事務所用、間仕切用廊下通路用、連接せる間仕切用、倉庫用学校・病院用、出口専用、ビル玄関通路用、浴室・トイレット用、本締用、
2. 材質　ステンレス、磁金、
3. 形状　広角型・円垂型

スタンダード
1. 品種　住宅玄関、事務所用、間仕切用、廊下通路用
2. 材質　硬質アルミニューム
3. 形状　広角型

カタログ進呈・乞御氏名御職業御記入

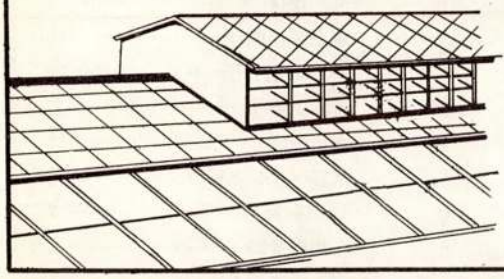
製造元　（旧社名　黒川金物株式会社）

エポー株式会社

本社・工場　大和高田市大谷381番地　TEL（大和高田）代表5381番
東京営業所　東京都江東区深川清澄町2丁目9番地　TEL（641）7250番
大阪営業所　大阪市南区高津町10番丁19番地　TEL（211）代表7483番
福岡営業所　福岡市甘棠町14番地（高木ビル）　TEL（2）5593番
札幌営業所　札幌市南二条東3丁目10番地

岩元式

スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工
カタログ進呈



岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）長サ 965㍉　1㍉

ダイニチ・アーモライト　波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波，寸法（長尺物有）

製造販売

大日本硝子工業株式会社

大阪支店　大阪市北区玉江町2ノ4（三菱倉庫ビル）電㊵1389・3389
本　社　神奈川県相模原市小山字久保224　電⑦3101～4

鉄　骨・加　工
設　計・施　工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武

本　社　大阪市西区立売堀北通 1—76
電　話　(531) 0609・6575・7418
(541) 8166・8349
夜間専用 (531) 2053
工　場　大阪府大東市三箇 425

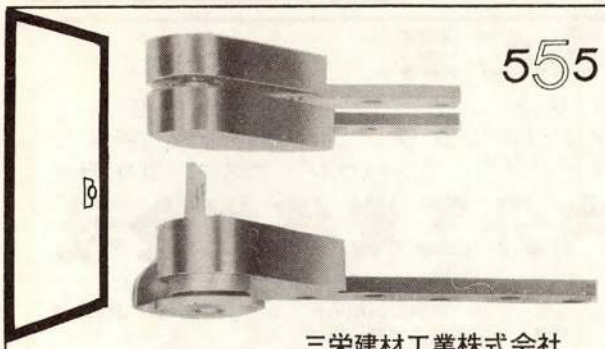
諸官庁御指定

吹付及び掻落ソリジットスタイン　製　造
床材（合同リグノイド）マグネシート　販　売
外壁シリコン防水・ゴーレジン樹脂防水　責任施工
マリヤール吹付機械代理店

合同特許建材工業株式会社

取締役社長　山下謙治

本　社　大阪市東住吉区東之町3—193　電　(621)　9086
営業所　大阪市東住吉区駒川町3—54　電　(791)7814～6　(51)4967
出張所　広島市比治山本町1180　電　広島　④4967
東京都新宿区花園通46　電東京(351)5298・5264



555　ナイロンベアリングで扉の開閉が軽快!!

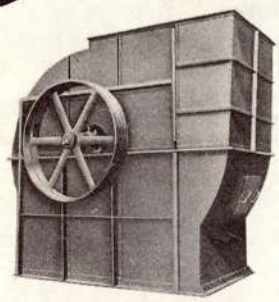
ピボットヒンヂ
フロアーヒンヂ

ネコマ印 ダストシュート

特徴
◆ボンデライジングに依る完全防錆加工品
◆回転軸部にナイロンベアリングを採用した耐久品

三栄建材工業株式会社
大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪 (741) 4655 (716) 0188・0189

KANDAN



煖冷房温湿度調整
設計　施工

各種送排風機
設計　製作

関西煖房工業株式会社

本　社　大阪市住吉区万代東6丁目3番地
電　話　大阪 (672) 1281 (大代表) ～ 9
堺工場　堺市浜寺石津町中2丁目200番地
電　話　堺 ③ 7301 (代表) ～ 3
出張所　名古屋・福岡・徳島

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話大阪(371)1333番

減らず・滑らず・美しい
モルタル打と同時仕上る 美装床材

カラコン
ダイヤコン

超硬骨材に顔料、薬品等を配合した粉末剤でその儘水練り、金鏝仕上げの為特に技術を要せず、色ムラ、ノロ汚れ等の缺点がない耐磨耗性特に強大、表面滑らかで美しく清潔、耐水性に富み価格低廉であります。（坪当り材料代¥ 950）仕上り厚さ約2㎜程度学校、工場、病院、事務所、商店、ガレーヂ、ガソリンスタンド、住宅の玄関、流し、浴室、プール等に最適であります。

（カタログ進呈）

製造発売元

アサヒカラコン株式会社

大阪市此花区四貫島旭町1−3　TEL（461）3594
工場　大阪市此花区四貫島旭町1

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

N.G.インシュライト工事責任施工
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ．コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話（641）3434〜6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N．G．インシュライト断熱材製造発売元

経験と技術

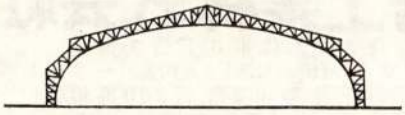
Y.C.コンベス（リグノイド）

ゴムタイル　　スポンヂシート
プラスチックラブ　　アスファルトタイル

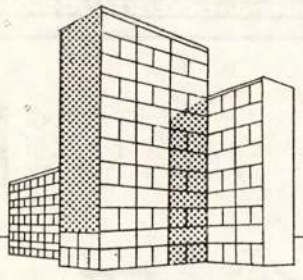
大阪コンベス建材社

大阪市北区浪花町三五　電話豊崎㈹6760・7063

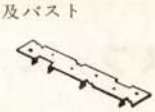
綜合建築設計への道

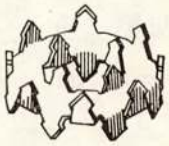


設計部　1．各種鉄骨・鉄筋コンクリート造建築の設計監理
2．ダイヤモンドトラス・ジグザグトラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

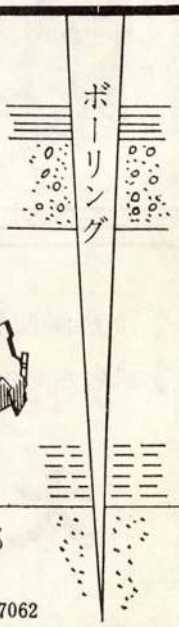


金物部　1．耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT．O式（織本式）ヂベル及クランプ
2．鉄筋の接手及末端定着金具
PAT．パコ及パスト





地質部　ボーリング・建築物基礎工事の為の土質調査



株式会社　**織本建築事務所**　所長織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2　電話（671）6443・7007・7062

製造発売元・責任施工

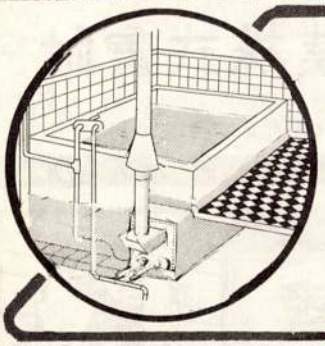
特許ニツポン防水液
ニツポン防水液B号
ニツポン急結液壱号
ニツポン耐寒剤
ニツポン防水目地材
ビルコート
標準セメント防水剤

特許 ニッポン セメント防水剤
国立大阪工業試験所御創製○強度増加○絶対防水○硬化促進

黒川化学のセメント防水

有限会社 黒川化学工業所
本店 工場 神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (86) 2723

窓掛、緞帳、日際、壁紙 室内装飾 絨毯、舗床材一般
東洋リノリユームの 東リカーペット 発売元
亀井株式会社
大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話 大阪(251)1353(代)～6



田中のガス風呂
ミリオンポリバス浴槽
清
各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵
大阪ガス会社指定
田中風呂鑵作所
大阪市浪速区元町1丁目742 但シ賑橋電停前 (641)5313・8128

シヤッター
重量シヤッター
電動シヤッター
軽量シヤッター
レヂメイドサッシ
アルミサッシ
スチールサッシ
ドアー
HEIWA KOGYO
平和工業株式会社
大阪市浪速区西関谷町1－72
ナンバスケート場前
施工迅速
親切丁寧
在庫豊富
信用を誇る
(乞御照会)
TEL (632) 5771～3
(641) 5750. 8836

特許
昭和A-15型
片引窓
突出装置付完全エアータイト
アルミサッシ
ステンレスサッシ
完璧の防錆
デュラボン加工デュラボン3S加工
スチールサッシ
昭和鋼機株式会社
工場・営業部 東京都板橋区志村前野町1105 電(961)6141－5
大阪支店・工場 大阪市西淀川区佃町3－155 電(471)6051－4

OKUYAMA-KAKOGYO TRADE・MARK OAM

陸屋根防水には

特許 絶縁工法を

カッパー防水帯

コーパータイト

特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西８の３　電話(571)2703～４・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町３３　電話（81）３６６０

●御申越次第カタログ進呈

・優美な繊維の京壁材 → 日本壁

新日本壁 ← ・繊維の床砂材……

・塗りつける織物壁材 → パピロン壁

錦上壁 ← ・パルプの日本座敷壁材

・近代的な趣味の壁材 → いすゞかべ

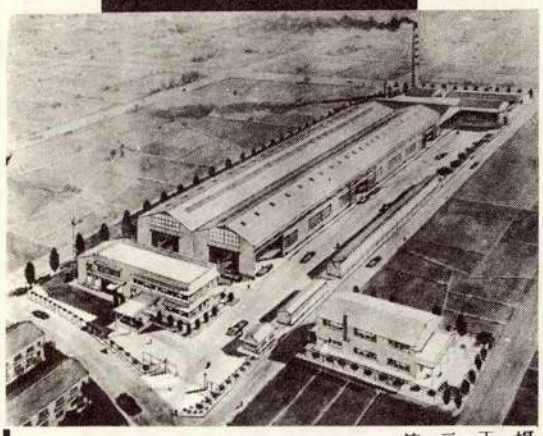
新いすゞかべ ← ・吹付のできる京砂壁材

・繊維の色土 …… → 大和壁

SK 近代的上塗壁材 繊維塗料製品

製造発売元　株式会社 新興建材工業所　■ 全国有名建材店にございます

本　社　大阪市西局区内四ツ橋　電話大阪(541)5756～9
営業所　明石市西王子町１丁目３９　電話　明石　５８５２
営業所　福岡市西唐人町１番地　電話 福岡 ㉕ ７３７３


第二工場

浪速式
アルミサッシュ・ドアー
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

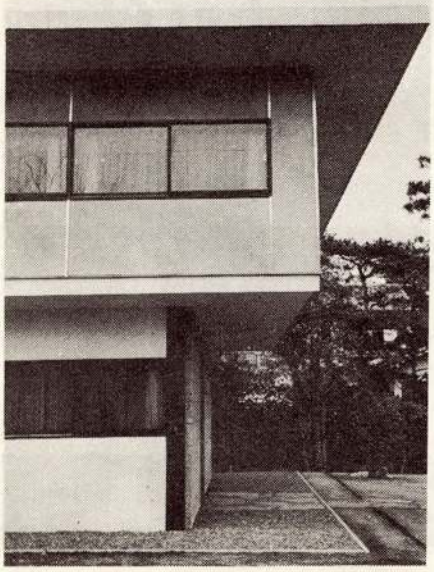
日満ゴムタイル
全国總代理店
責任施工

浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地電話大阪(931)1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地電話大阪(931)6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館 607号室 電話 東京(541)4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地(サンビル内)電話 福岡 ④ 8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地電話 大分 1366番

燃えない家で明るい暮し！

通商産業省認定工場 不燃 NO.



建築基準法定不燃材料

石綿スレート

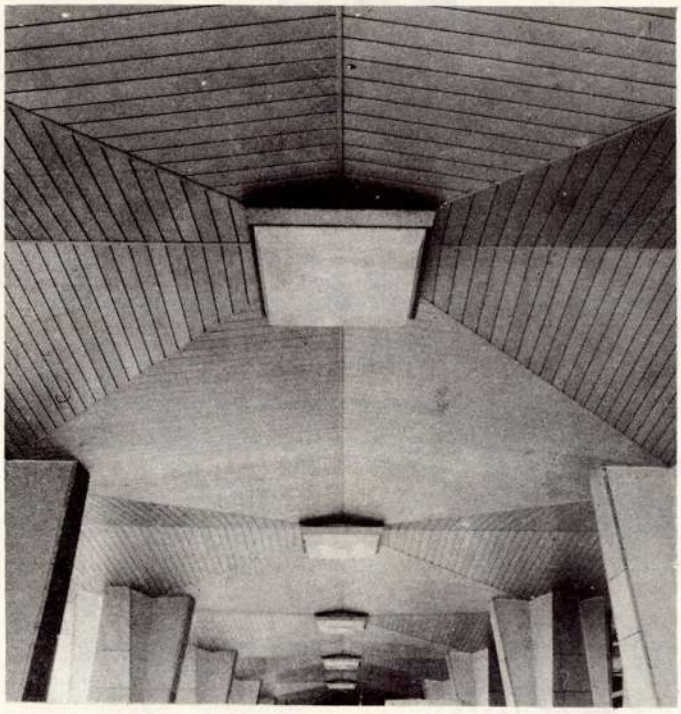
フレシキブル板
平板・軟質板
パーライト板
孔あき板
サンドイッチパネル
小波板・大波板
(着色・化粧板他 各種加工品あり)

美しいカタログお送りします

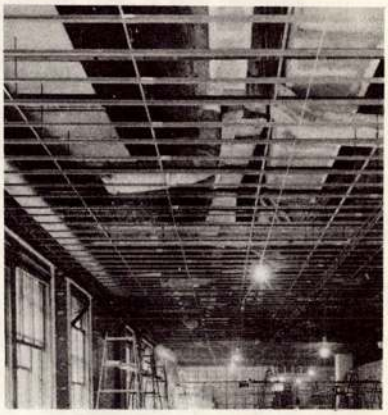
石綿セメントボード協会
波形石綿スレート協会

東京都中央区銀座7—3朝日石綿ビル
電話(571)1359・6914

アルミニウム天井　　鉄鋼会館



日進式ボード下地　　新阪急ビル



ボード下地や　アルミニウムの
仕事につきましては　何卒
奥村重兵衛商店に　ご照会下さい

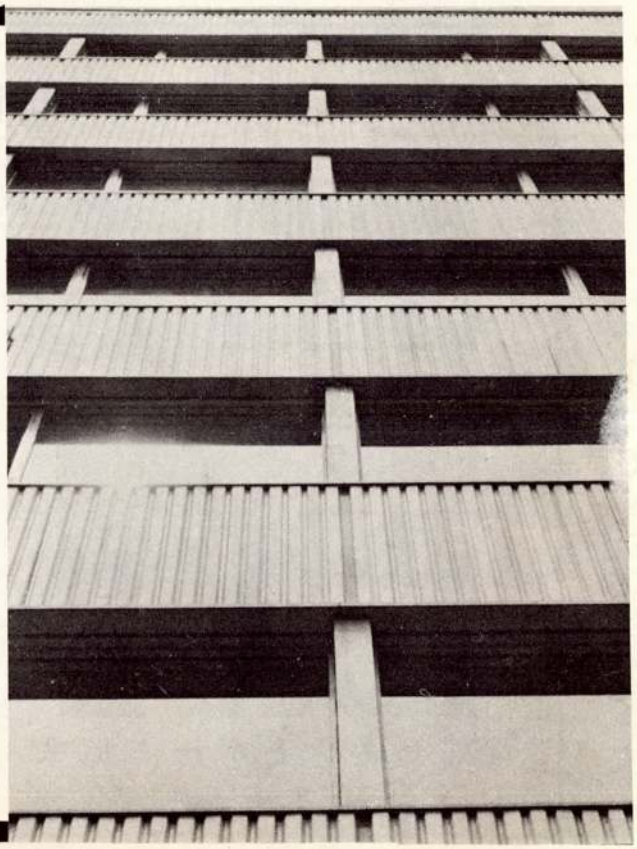
大阪市北区木幡町60番地
K.K.奥村重兵衛商店
電話　大阪㊾4131(代)
福岡出張所 電話 福岡②6460

超高層建築のエポック…

ダイケンの
カーテンウォール
▶住友軽金属工業(株)と提携

アルミ
ステンレス　サッシ/ドア
スチール

〈営業品目〉
アルミ　防潮パネル
　　スパンドレル
スチール シャッター



大阪建材工業株式会社

本　　社　堺市松屋町1－6　TEL (3) 5241～9
東京事務所　東京都千代田区平河町1－1　TEL (331) 6641
名古屋営業所　名古屋市東区東新町4（イースタンビル）　TEL (97) 7264 (94) 3911
金沢営業所　金沢市下新町13　TEL (3) 3427～8
長野代理店　長野市吉田東町1251　TEL (3) 2729

日本建築協会優良證明　セメント増強防水剤

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

ウォータイトB号

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）　48・名古屋（32）1331
ウォータイト式防水工事　仙台（23）0721・札幌（5）7171
代行店電話　大三工業高松（2）8697　安藤工事　福岡（3）5765
豊永建材　広島（6）6371

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社 油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話（971）4765・0063

防火シヤッター　甲種　乙種

パイプシヤッター

伸縮扉

電動式・手動式・バランス式

株式会社 日本シヤッター製作所

錆びない

八幡製鉄製亜鉛引
ボンデ帯鋼使用

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可
昭和三十八年十一月二十日印刷
昭和三十八年十一月廿五日発行（毎月廿五日発行）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

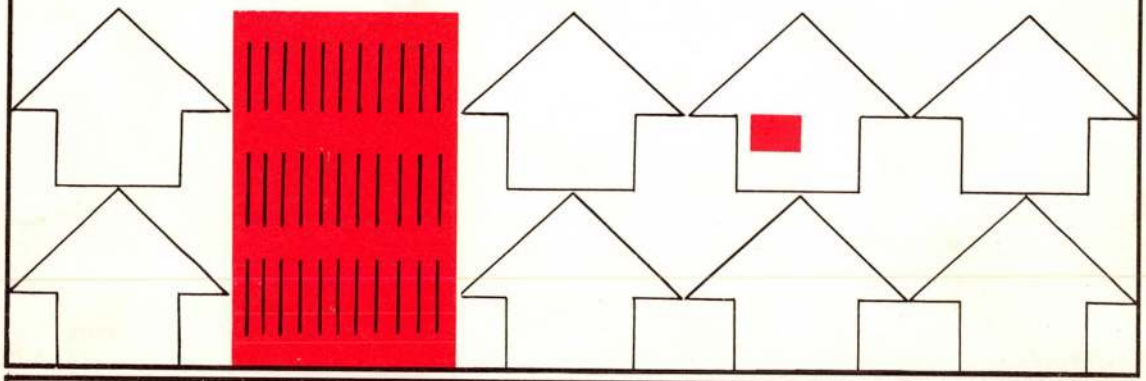
朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大浪7.5山・小浪

吹付石綿 **朝日プロベスト**

通産省認定 不燃 NO.3012

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話大阪(312)8521代表
本　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城



三星の床材
ソフトンタイル

株式会社　木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441)5408・5486

株式会社　久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341)0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19　電話(541)6161～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話(211)0571　4
京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話㉓3299

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632)0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話⑤2697・2140

タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話㉞4468・㉛0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8　電話㊼7461～3

株式会社　名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話㉔1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋市中区東瓦町39　電話㉔6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27　電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本　社・広島市鉄砲町108　電話㉑2281～7
岡　山・岡山市東田町3　電話③8285～7
福　岡・福岡市万行寺前町14　電話②5566
③1225～6

関西三星タイル会員

売価　一部　金百八十円（送料共）

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番